KENWOOD

コンパクト ハイファイ コンポーネントシステム

UD-E77WSD

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、製品を安全に正しくお使いいただくため、取扱説明書の
「安全上のご注意」、本文をよくお読みのうえ、説明の通りお使いください。
取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
Kenwood Corporation

© B60-5754-10/04 (JW)

こんなことができます

CDのタイトル自動取得

AMGデータベースからアルバム、曲、アーティストのタイトル情報を取得して再生時に表示したり、録音時にタグ情報としてファイルに付加します。

▶▶ 26ページ

ワンタッチエディット録音

ボタンを押すだけで、CDからSD、USBに4倍速または等倍速で録音できます。

▶▶ 54ページ

CDをはじめSDカードやデジタルオーディオプレーヤーなど多彩なメデイアに対応した再生ができます。

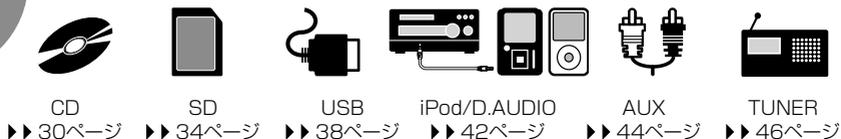
CD
▸▸ 30ページ

SD
▸▸ 34ページ

USB
▸▸ 38ページ

iPod/D.AUDIO
▸▸ 42ページ

AUX
▸▸ 44ページ

TUNER
▸▸ 46ページ

録る

CD、ラジオ放送、外部接続したさまざまな音源をパソコンを使わずにSDカードやデジタルオーディオプレーヤーへ録音できます。

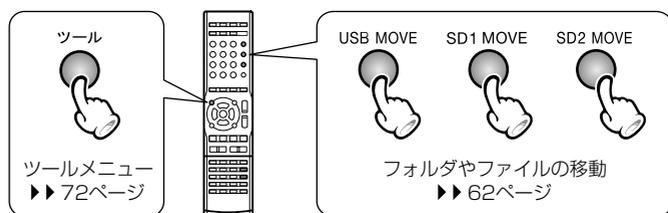
SDへの録音
▸▸ 54ページ

USBへの録音
▸▸ 54ページ

編集する

SDやUSBのフォルダやファイルを移動、削除、タイトル入力などの編集ができます。**[ツール]**ボタンで音源ごとの編集項目メニューを表示させることもできます。

ツールメニュー
▸▸ 72ページ

フォルダやファイルの移動
▸▸ 62ページ

5系統のプログラムタイマー

ラジオ放送の録音やリスニングに便利なウィークリータイマーをセットできます。

▸▸ 80ページ

[セットアップ]ボタンで自分好みのスタイルに

本機のシステム設定、録音速度やレベルなどの録音設定、音域ごとに好みの音を楽しめるサウンド設定で、自分流に簡単アレンジ！

▸▸ 74、86、94ページ

もくじ

録音の設定をする

好みの音を作るために

メンテナンス

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。記載している表示・図記号についての内容を良く理解してから本文をお読みになり、必ずお守りください。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、本文での説明と重複する内容もあります）

⚠警告

異常のときは

異常が起きた場合は電源プラグを抜く

内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いや音がした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

電源コード・プラグについて

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定しない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）販売店または当社サービス窓口に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して、火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると、感電の原因となります。電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントの場合には、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

設置について

交流 100 ボルトの電圧で接続する

この機器は、交流 100 ボルト専用です。指定の電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。火災・感電の原因となります。

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かない

水がこぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の上にろうそくやランプなど火のついたものを置かない

本機のカバーやパネルにはプラスチックが使われており、燃え移ると火災の原因となります。

使用について

水をかけたりぬらしたりしない

火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

雷が鳴り始めたらアンテナ線や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

お手入れ

電源プラグを定期的に清掃する

電源プラグにほこりなどが付着していると、湿気等により絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。

⚠注意

異常のときは

落下した機器は電源プラグを抜く

機器を落としたり、カバーやケースが壊れたりした場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災･感電の原因となることがあります。

電源コード・プラグについて

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない

電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近づけない。
コードの被覆が溶けて、火災･感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災･感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

設置について

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

設置について

湿気やほこりの多い場所に置かない

油煙や湿気の当たる調理台や加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。火災･感電の原因となることがあります。

温度の高い場所に置かない

窓を閉め切った自動車の中や直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

機器に乗らない

機器に乗ったり、ぶら下がったりしない。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

移動させるときは電源プラグを抜く

移動させるときは、電源スイッチを切り､電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、スピーカーコード、その他接続コード類を全て外す。コードを抜かずに移動するとコードが傷つき、火災･感電の原因となることがあります。

機器の接続は取扱説明書に従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。あやまった接続､指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

⚠注意

使用について

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

旅行などで長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。火災の原因となることがあります。

機器の内部に異物を入れない

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。火災・感電の原因となることがあります。

機器のケースを開けたり改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となることがあります。点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

ディスク挿入口に手を入れない

手がはさまれて、けがの原因となることがあります。特にお子さまにはご注意ください。

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない。ディスクは機器内で高速に回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

電池について

電池の取り扱いに注意する

次のことを、必ず守ってください。

・極性表示（プラス"＋"とマイナス"－"の向き）に注意し、表示どおりに入れる。
・指定の電池を使用する。
・使い切ったときや、長期間使用しないときは、取り出しておく。
・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
・違う種類の電池を混ぜて使用しない。
・充電池と乾電池を混ぜて使用しない。
・電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れたりしない。

電池は誤った使い方をすると、破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、けがややけどの原因となることがあります。
液がもれた場合は、点検、修理をご依頼ください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

電池は乳幼児の手の届かないところに置く

電池をあやまって飲み込むおそれがあります。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

音量について

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力傷害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聴かない

聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

お手入れ

お手入れの際は電源プラグを抜く

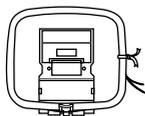
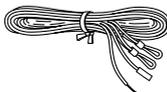
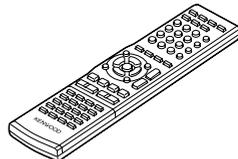
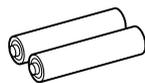
お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く。感電の原因となることがあります。

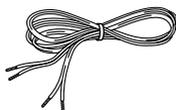
定期的に内部の点検、清掃をする

3 年に 1 度程度を目安に、機器内部の点検､清掃をお勧めします。販売店、または最寄のケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

付属品について

付属品

AMループアンテナ
（1個）

FM室内アンテナ
（1個）

リモコン
（RC-F0714：1個）

リモコン用乾電池
（単4形：２本）

乾電池は梱包材に差し込まれています。

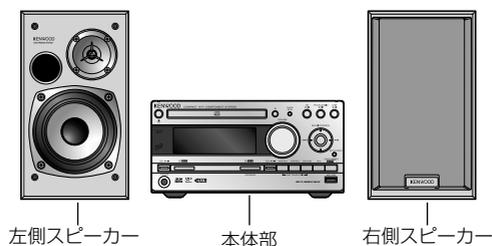
スピーカーコード
（2m：2本）

AMGデータベースCD
（1枚）

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

設置するときは

本機を設置するときのご注意

- 必ず水平で安定した場所に設置してください。台などの上に設置する場合は、必ず台の強度を確認してください。
- スピーカーの磁気により、テレビやパソコンの画面に色ムラが発生することがあります。テレビやパソコンから少し離して置いてください。

⚠ 注意

機器を設置するときは、以下のことをお守りください。放熱が十分でないと内部に熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

- 機器の上面に、放熱の妨げになるものを置かないでください。
- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しないでください。
- 布をかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。
- 風通しの悪い狭い所で使用しないでください。
- 機器の各面から、下記に示すスペースを空けてください。
  上面：50cm以上　側面：10cm以上　背面：10cm以上

機器はコンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

また、電源スイッチを切っただけでは機器は電源から完全に遮断されません。完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。

音響効果を楽しんでいただくために

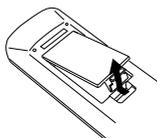
スピーカーの配置によって音は変化します。よりよい音質をお楽しみいただくために、下記を参考にしてください。

- 左右のスピーカーの周囲の環境をできるだけ同じにする。左右のスピーカーを壁から離れたところに設置し、窓に厚手のカーテンなどを掛けて、できるだけ音の反響を少なくする。
- 左右のスピーカーの間隔を広げる。
- 鑑賞時の耳の位置と同じ高さに設置する。

リモコンを準備する

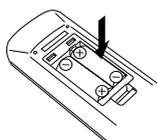
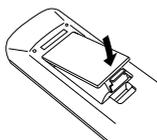
リモコンの準備

電池の入れかた

❶電池カバーを外します。

❷付属の単4形乾電池を入れます。

- 電池の極性に注意して入れてください。

❸電池カバーを閉じます。

- 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。
- 電池を交換するときは、2本とも新しい乾電池と交換してください。

操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの[⏻]を押すと、電源がONになります。電源をONしたら、操作したいボタンを押します。リモコンは本体のリモコン受光部に向けて使用してください。

約**6m**

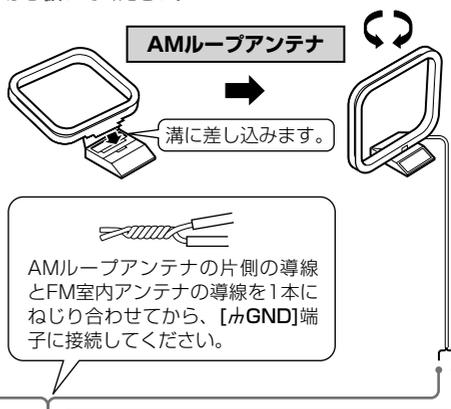
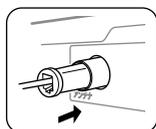
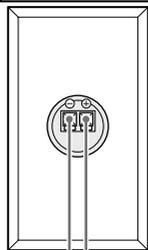
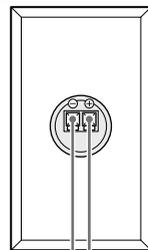
約**30°** 約**30°**

- リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。誤作動を避けるために設置場所を変えてください。

接続のしかた

基本接続

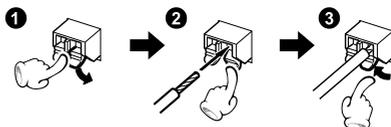
接続上のご注意

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントへ差し込まないでください。接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本機の誤作動について

正しく接続したのに正常に動作しない場合や、ディスプレイが誤った表示をする場合は本機をリセットしてください。（112ページ）

AMループアンテナの接続

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからできるだけ離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

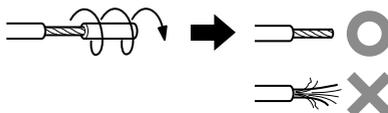
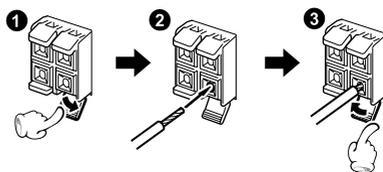
- **アンテナコードの取り付けかた**
  AMアンテナコードを右記のようにして、[AM]と[⏚GND]端子に接続します。

FM室内アンテナの接続

付属のアンテナは室内用の簡易アンテナです。安定した受信のためには、屋外アンテナ（市販品）の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続する場合には、簡易アンテナは取り外してください。

⚠ 屋外アンテナの設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。

スピーカーの接続

- **スピーカーコード先端の処理のしかた**
  コード先端のビニール部分は、ねじりながら抜き取ります。

- **本体へのスピーカーコードの取り付けかた**

- **スピーカーへのスピーカーコードの取り付けかた**

✓ ・スピーカーコードの＋と－は絶対にショートさせないでください（+と－のコードを接触させないでください）。極性＋と－を間違えて接続すると、楽器などの音源位置がはっきりしない不自然な音になります。

他の機器（市販品）との接続

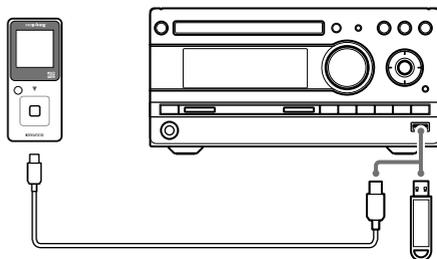
- 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。
- 接続コードはすべて確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。

接続上のご注意

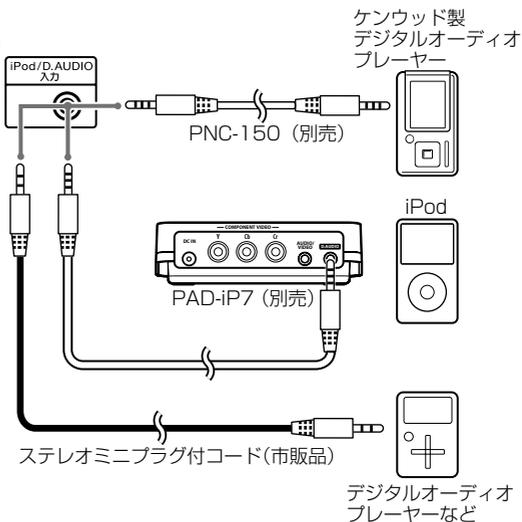
接続は必ずスタンバイ状態時に行い、接続が終了するまで電源をONにしないでください。接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず電源をOFFにしてから抜いてください。

USB

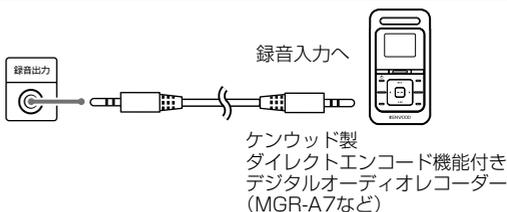
USBフラッシュメモリーやUSBマスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーを、本体前面部の[USB]端子に接続します。

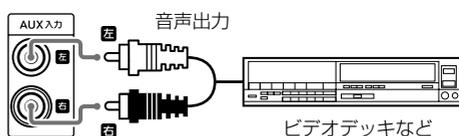
- 機器によっては、認識されるまでに時間がかかることがあります。
- USB接続モード選択画面が表示されるモデルがあります。「ストレージモード」を選んでください。

iPod/D.AUDIO入力

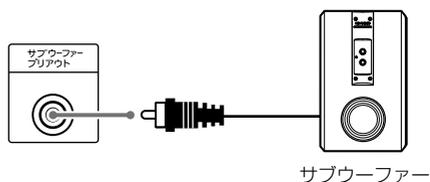
デジタルオーディオプレーヤーやiPodドック（PAD-iP7）を本体背面部の**[iPod/D.AUDIO入力]**端子に接続します。

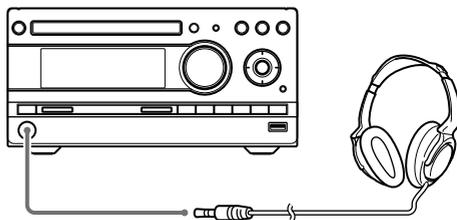
- デジタルオーディオリンク対応プレーヤー（ケンウッド製）を専用ケーブルPNC-150（別売）で接続すると、本機やリモコンを使って操作できます。また、iPodは専用アダプター PAD-iP7（別売）で接続するとiPodを操作できます。（42ページ）
- その他のデジタルオーディオプレーヤーは、ステレオミニプラグケーブル（市販品）を使って接続できます。
- お使いにならないときは、ケーブルを本体から抜いてください。

録音出力

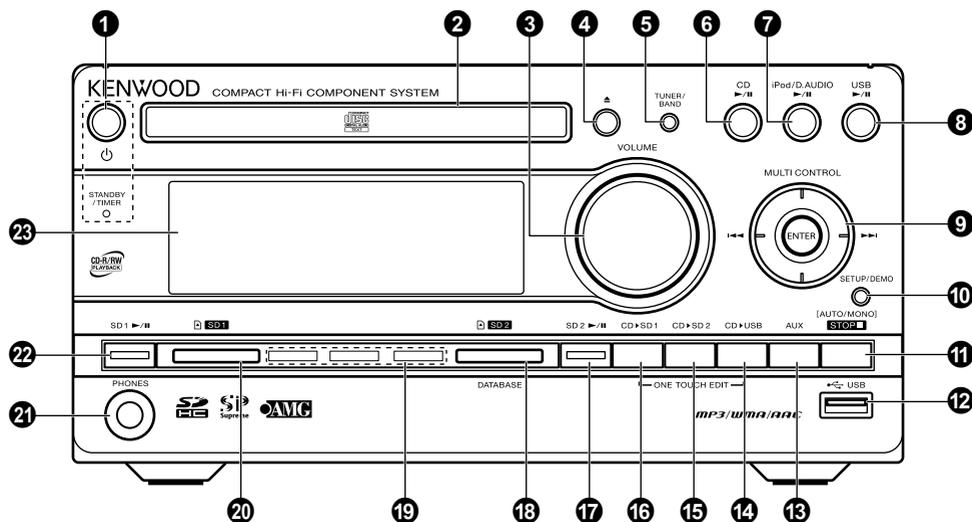
ケンウッド製ダイレクトエンコード機能付きデジタルオーディオプレーヤー /レコーダーを本体背面部の**[録音出力]**端子に接続します。

- **[録音出力]**端子からはアナログ音声信号が出力されます。

AUX入力

ビデオデッキなどの音声出力端子を本体背面部の**[AUX入力]**端子に接続します。

サブウーファープリアウト

サブウーファー [アンプ内蔵型:SW-40HT(別売) など] を本体背面部の**[サブウーファープリアウト]**端子に接続します。

PHONES

ステレオミニプラグつきのヘッドフォンを本体前面部の**[PHONES]**端子に接続します。

各部のなまえと働き

本体部

本体とリモコンの統一名称について

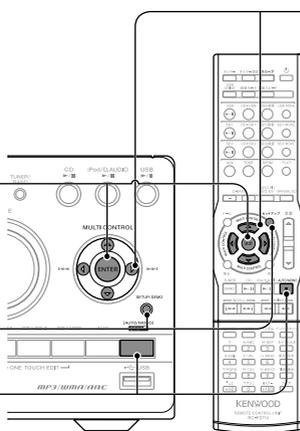
本書の操作説明においては、本体とリモコンの名称を次のとおり表します。

マルチ　コントロール
[MULTI CONTROL]

- 全方向の操作が必要な場合は [MULTI CONTROL]
- 上下のみの操作の場合は [MULTI CONTROL ▲/▼]
- 左右のみの操作の場合は [MULTI CONTROL ◀/▶]

[決定]

[セットアップ]

[STOP■]

❶ **⏻ 電源（25ページ）**
電源のON/OFF（スタンバイ）を切り替えます。
STANDBY/TIMERインジケーター
赤色：通常のスタンバイ状態
オレンジ色：タイマースタンバイ状態

❷ **CDトレイ（25ページ）**

❸ **VOLUME（音量）（24ページ）**
回して音量を調整します。

❹ **⏏（25ページ）**
CDトレイの開閉を行います。

❺ **TUNER（チューナー）（46ページ）**
受信するバンド（FM/AM）を切り替えます。

❻ **CD►/❚❚（30ページ）**
CDの再生/一時停止をします。

❼ **iPod/D.AUDIO►/❚❚（42ページ）**
iPod/D.AUDIOの再生/一時停止をします。

❽ **USB►/❚❚（38ページ）**
USB機器の再生/一時停止をします。

❾ **MULTI CONTROL（マルチコントロール）**
曲やファイル、放送局を選びます。
早送り、早戻しします。
項目を選択します。
ENTER（決定）
項目を決定します。

❿ **SETUP/DEMO（セットアップ）**
各種機能設定の選択モードに切り替えます。
（74ページ〜）
デモンストレーション機能のON/OFFを切り替えます。

⓫ **STOP■（ストップ）**
再生、録音を停止します。
TUNER選択時はオート選局とマニュアル選局を切り替えます。
各種設定を途中で中止します。

⓬ **USB端子（16ページ）**

⓭ **AUX（44ページ）**
AUXに切り替えます。

⓮ **CD▶USB（54ページ）**
CDをUSBにワンタッチエディット録音します。

⓯ **CD▶SD2（54ページ）**
CDをSD2にワンタッチエディット録音します。

⓰ **CD▶SD1（54ページ）**
CDをSD1にワンタッチエディット録音します。

⓱ **SD2►/❚❚（34ページ）**
SD2の再生/一時停止をします。

⓲ **SD2スロット（25ページ）**
SDカードを挿入します。CD再生の時はAMGデータベーススロットとして使用します。

⓳ **SDカードイルミネーション**
SDの再生/録音/MOVE（移動）によってイルミネーションが変化します。
再生/一時停止時：青色（一時停止中は点滅します。）
録音/録音一時停止時：赤色（一時停止中は点滅します。）
MOVE動作時：赤色イルミネーションが移動

⓴ **SD1スロット（25ページ）**
SDカードを挿入します。

㉑ **PHONES端子（17ページ）**

㉒ **SD1►/❚❚（34ページ）**
SD1の再生/一時停止をします。

㉓ **ディスプレイ部（20ページ）**

スタンバイ状態について

本機の[STANDBY/TIMER]インジケーターが点灯中は、マイコン動作のため、微弱な通電が行われています。これをスタンバイ状態といいます。この状態のとき、リモコンで本機の電源をONにできます。

ワンタッチオペレーション機能について

本機は便利なワンタッチオペレーション機能を備えています。スタンバイ状態のとき、[TUNER]、[CD►/❚❚]、[iPod/D.AUDIO►/❚❚]、[USB►/❚❚]、[AUX]または[SD1►/❚❚]、[SD2►/❚❚]を押すと本機の電源がONになります。CD/SD/USBは、自動的に再生が始まります。

デモンストレーション機能について

本機にはデモンストレーション機能（表示のみ）があります。各動作を示す表示部などが順に変化していきますが音は変わりません。

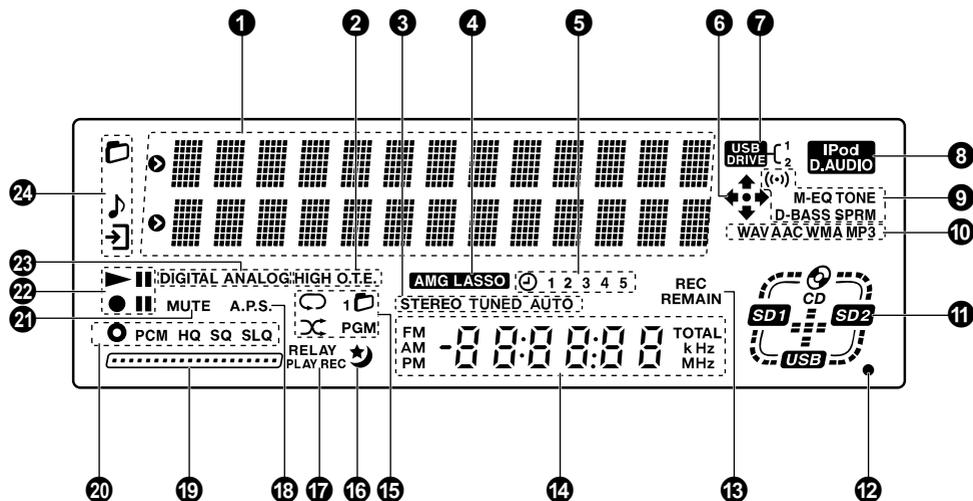
■ **解除するには**

デモンストレーション中に本体の[セットアップ]❿を押します。

■ **設定するには**

電源がONのときに本体の[セットアップ]❿を2秒以上押します。

- 電源がONのとき、停電があったり電源プラグを抜き差しすると、デモンストレーション機能は自動的にONになります。

ディスプレイ部

❶ 数字および文字情報を表示します。❯は選んでいる文字情報を示します。

❷ **O.T.E.（54ページ）**
ワンタッチエディット録音中に点灯します。
HIGH（89ページ）
ワンタッチエディット録音スピードが倍速設定のとき点灯します。

❸ **STEREO（47ページ）**
ステレオ放送を受信すると点灯します。
TUNED（47ページ）
放送局を受信すると点灯します。
AUTO（47ページ）
オート選局時に点灯します。マニュアル選局時は消灯します。

❹ **AMG LASSO（26ページ）**
AMGデータベースをコピーしたSDカードをSD2スロットに挿入すると点灯します。

❺ プログラムタイマーを設定すると点灯します。

❻ 選曲、設定、編集中に**[MULTI CONTROL]**で操作可能な方向が点灯します。

❼ ケンウッド製のデジタルオーディオレコーダーMGR-A7など、接続したUSB機器に内蔵メモリーやSDカードなど2つのドライブがある場合に点灯します。数字は選んでいるUSB機器のドライブを示します。

❽ iPodやケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーが接続されると点灯します。（42ページ）

❾ 各音質設定を選択すると点灯します。（94ページ～）

❿ 再生しているオーディオファイルの種類によって点灯します。

⓫ 各メディアの接続、録音状態に応じて点灯または点滅します。
CD：ディスクを入れると点灯します。
SD1：SD1スロットにSDカードを挿入すると点灯します。
SD2：SD2スロットにSDカードを挿入すると点灯します。
USB：USB機器を接続すると点灯します。

⓬ HR SOUNDを設定すると点灯します。（101ページ）

⑬ **REC REMAIN（68ページ）**
録音残量時間表示中に点灯します。

⑭ 時計、時間、ラジオ受信の周波数を表示します。
FM（46ページ）
FM受信モードのときに点灯します。

AM（46ページ）/PM
AM受信モードのときに点灯します。
時計表示のときに点灯します。
TOTAL（84ページ）
CD再生中、ディスク全体の経過時間および残り時間を表示するときに点灯します。
kHz
AM受信周波数を表示します。
MHz
FM受信周波数を表示します。

⑮ 再生モードを設定すると点灯します。
1：リピート再生モード（1は1曲リピート）
：ランダム再生モード
：フォルダ再生モード
PGM：プログラム再生モード

⑯ スリープタイマーを設定すると点灯します。

⑰ **RELAY PLAY**：リレー再生を設定すると点灯します。（37ページ）
RELAY REC：リレー録音を設定すると点灯します。（93ページ）

⑱ **A.P.S.（78ページ）**
オートパワーセーブを設定すると点灯します。

⑲ 録音の進行状況を表示します。

⑳ SD、USBの録音モードを表示します。
：録音中に他の音源を聞いているときに点灯します。（60ページ）
PCM HQ SQ SLQ：録音モードを表示します。（88ページ）

㉑ **MUTE（24ページ）**
ミュート（消音）中に点滅します。

㉒ ►：再生中に点灯します。
❚❚：一時停止中に点灯します。
●：録音中に点灯します。

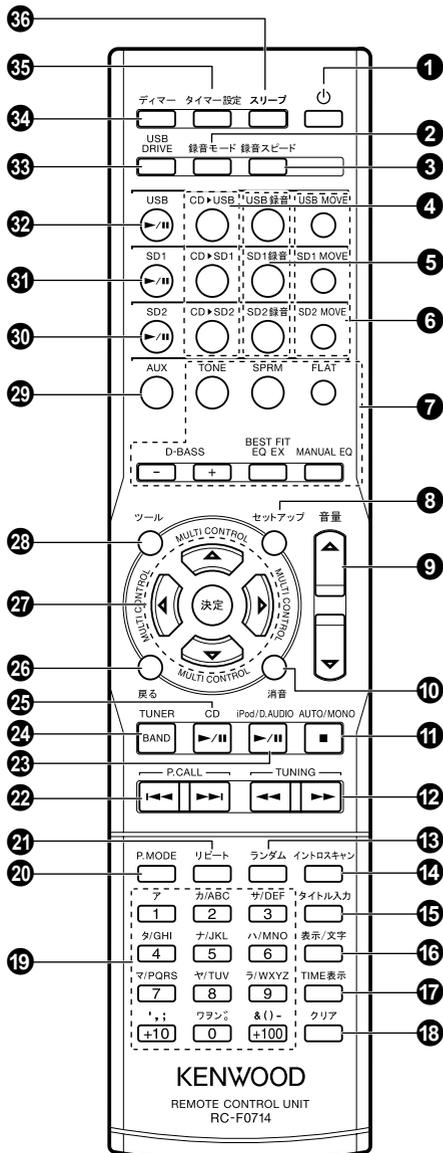
㉓ 録音方式の設定を表示します。（90ページ）

㉔ ：フォルダを選ぶと点灯します。
♪：ファイルを選ぶと点灯します。
：セットアップまたはツール操作中に点灯します。

・本文中のディスプレイ表示は実際の表示と異なる場合もあります。

リジューム機能について

CD-ROM、SD、USBなどのファイルを再生中に他の音源に切り替えた後、再度**[CD►/❚❚]**、**[SD►/❚❚]**、**[USB►/❚❚]**を押すと、切り替える前に再生していたところから再開します。

リモコン部

❶ **⏻ 電源（25ページ）**
電源のON/OFF（スタンバイ）を切り替えます。

❷ **録音モード（88ページ）**
録音時の録音モードを設定します。

❸ **録音スピード（89ページ）**
ワンタッチエディット録音時の録音速度を設定します。

❹ CDからSD1/SD2/USBへワンタッチエディットで録音します。

❺ SD1/SD2/USBに録音します。

❻ SD1/SD2/USBの間でフォルダやファイルを移動します。
SD1 MOVE：SD1へ移動します。
SD2 MOVE：SD2へ移動します。
USB MOVE：USBへ移動します。

❼ **TONE**、**SPRM**、**FLAT**、**D-BASS +/−**、**BEST FIT EQ EX**、**MANUAL EQ**の設定をします。**（94ページ～）**

❽ **セットアップ（74、86、94ページ）**
本機の各種設定を行います。

❾ **音量 ▲/▼（24ページ）**
音量を調整します。▲を押すと音量が上がり、▼を押すと音量が下がります。

❿ **消音（24ページ）**
音量を一時的に消音（ミュート）、します。

⓫ **STOP■（ストップ）**
再生、録音を停止します。
TUNER選択時はオート選局とマニュアル選局を切り替えます。
各種設定を途中で中止します。

⓬ **TUNING ◄◄/►►**
曲を早送り、早戻しします。
TUNER選択時は放送局を選びます。（47ページ）

⓭ **ランダム（31、35、39ページ）**
順不同に再生します。

⓮ **イントロスキャン（37ページ）**
SDを10秒ずつ再生します。

⓯ **タイトル入力（64ページ）**
フォルダやファイルの名前を変更します。

⑯ **表示/文字**
ディスプレイの表示内容を切り替えます。（84ページ）
タイトル入力中、文字グループを切り替えます。（66ページ）

⑰ **TIME表示（84ページ）**
ディスプレイの時間表示を切り替えます。

⑱ **クリア**
プログラムやプリセットした局の設定を削除します。
タイトル入力中、文字を消します。（66ページ）

⑲ **数字**
曲や放送局を選びます。
タイトル入力中､文字を入力します。（66ページ）

⑳ **P.MODE（32、36、40ページ）**
再生モードを切り替えます。

㉑ **リピート（31、35、39ページ）**
繰り返し再生します。

㉒ **P.CALL |◀◀/▶▶|**
曲をスキップします。
TUNER選択時は放送局を選びます。（46ページ）

㉓ **iPod/D.AUDIO▶/❚❚（42ページ）**
iPod/D.AUDIOの再生/一時停止をします。

㉔ **TUNER（チューナー）（46ページ）**
受信するバンド（FM/AM）を切り替えます。

㉕ **CD▶/❚❚（30ページ）**
CDの再生/一時停止をします。

㉖ **戻る（72、74、86、94ページ）**
メニュー選択時に、ひとつ前の動作に戻ります。

㉗ **MULTI CONTROL（マルチコントロール）**
▲/▼/◀/▶
曲やファイルを選びます。
項目を選択します。
決定
項目を決定します。

㉘ **ツール（72ページ）**
各種編集を行います。

㉙ **AUX（44ページ）**
AUXに切り替えます。

㉚ **SD2▶/❚❚（34ページ）**
SD2の再生/一時停止をします。

㉛ **SD1▶/❚❚（34ページ）**
SD1の再生/一時停止をします。

㉜ **USB▶/❚❚（38ページ）**
USB機器の再生/一時停止をします。

㉝ **USB DRIVE（39ページ）**
ケンウッド製のデジタルオーディオレコーダーMGR-A7など、接続したUSB機器に内蔵メモリーやSDカードなど2つのドライブがある場合にどちらを使うか切り替えます。

㉞ **ディマー（77ページ）**
ディスプレイの明るさを調整します。

㉟ **タイマー設定（80ページ）**
指定した曜日、時間にラジオ放送の録音や曲の再生を予約・設定します。

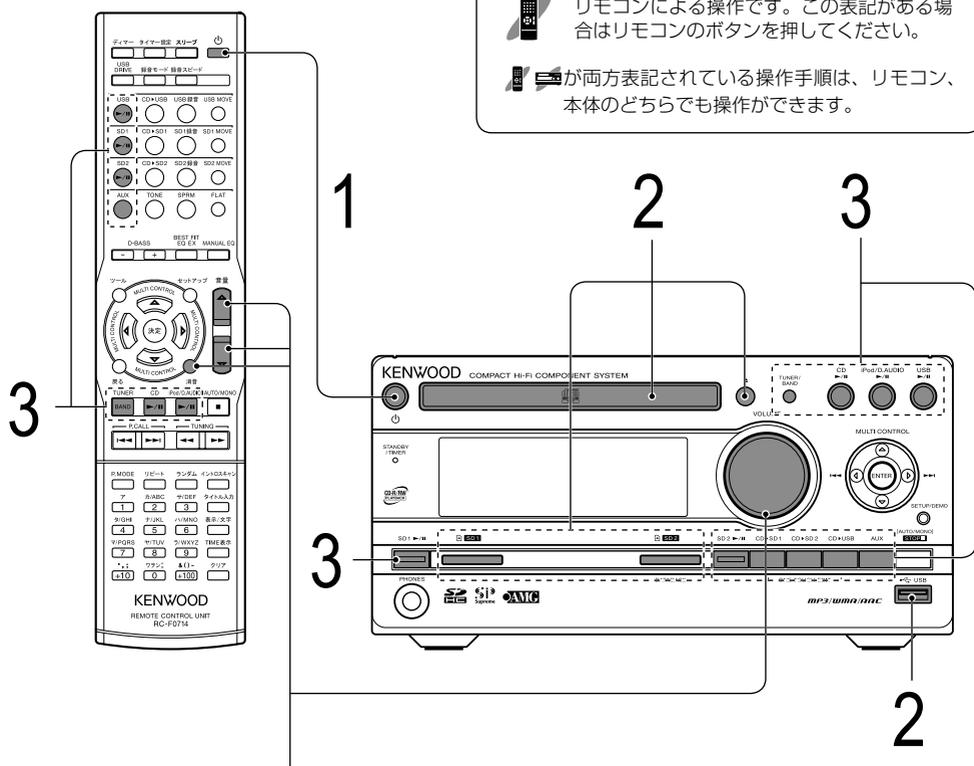
㊱ **スリープ（76ページ）**
スリープタイマーを設定します。

✓ ・本体部と同じ名前のボタンは、本体部と同じ働きをします。

基本的な使いかた

本体による操作です。この表記がある場合は本体のボタンを押してください。

リモコンによる操作です。この表記がある場合はリモコンのボタンを押してください。

が両方表記されている操作手順は、リモコン、本体のどちらでも操作ができます。

音量を調節する

[音量]/[VOLUME]で調節する。

0～40（MAX）の間で調節できます。

- つまみを速く回す（本体）、またはボタンを押し続ける（リモコン）と音量が早く切り替わります。

一時的に消音（ミュート）する

［消音］を押す。

"MUTE"が点滅表示されます。

■ ミュート解除するには

もう一度［消音］を押す。（もとの音量に戻ります）または音量の調節をする。

1 電源をONにする（OFFにする）

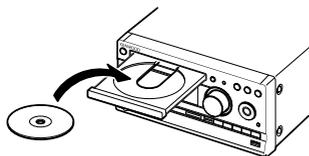
［⏻］**電源**を押す。

- 各音源の再生／一時停止ボタンを押しても、電源がONになります。（ワンタッチオペレーション機能について、19ページ）
- 電源がONのときに［⏻］を押すとOFF（スタンバイ状態）になります。

2 再生する音源をセットする

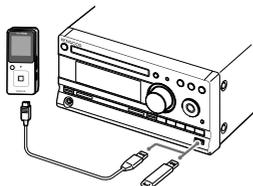
CDを入れる場合

❶本体の［⏏］を押し、トレイを開けます。

❷ディスクを入れます。ディスクはラベル面を上にして入れます。

❸本体の［⏏］を押し、トレイを閉めます。

" CD " が表示されます。

USB機器を挿し込む場合

挿し込む方向に注意して確実に挿し込んでください。" USB " が表示されます。

■ **USB機器を取り外すには**

停止後、本機をスタンバイ状態にしてからUSB機器を引き抜きます。

SDカードを入れる場合

SD1スロットまたはSD2スロットに確実に挿入します。" SD1 " または " SD2 " が表示されます。

- SDカードのラベル面を上にして、カットされた部分が右になるように入れます。

■ **SDカードを取り出すには**

停止後、本機をスタンバイ状態にしてからSDカードを押してポップアップしたら引き抜きます。

■ **mini SD、micro SDカードを使うには**

- 市販の専用アダプターに取り付けてから使用します。挿入方向はSDカードと同じです。

3 再生する

各音源の再生／一時停止ボタンを押す。

［CD ►/❚❚］、［USB ►/❚❚］、［SD1 ►/❚❚］、［SD2 ►/❚❚］、［TUNER］、［AUX］、[iPod/D.AUDIO ►/❚❚]

■ **音源の切り替えについて**

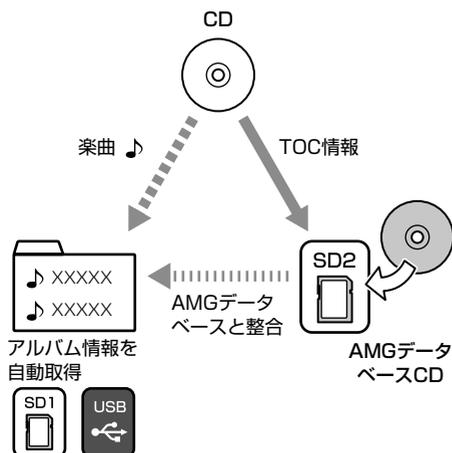
本機はさまざまな音源（CD、SDカード、USB機器など）に対応しているため、音源をセットしただけではセレクタが切り替わりません。

本書ではセレクタの切り替えを**「音源の切り替え」**と表現しています。その場合は必ず、音源に合った再生ボタンを押してください。操作によっては停止しておく必要があります。

CDのタイトル情報を取得する

AMGデータベースについて

「AMGデータベース」は、CDを再生するとTOC（Table of Contents：目次）情報からタイトル情報を検索し、アルバム名、曲名、アーティストなどの情報を取得します。

CDからSDカード、USBへの録音時には、タグ情報としてファイルに付加されるので、アルバムなどの情報を手動で入力する必要がありません。

- CDがCD-TEXTディスク（タイトル、アーティストなどの文字情報を記録したCD）でも、AMGデータベースの情報を優先して表示します。
- AMGデータベースは、定期的にアップデートしています。最新アルバムについて、当社ホームページからダウンロードして随時更新していただけます。http://www.kenwood.co.jp/faq/
- SDカード/USB機器へ録音したときは、下記のようにタイトル情報が付加されます。
  - フォルダ名：半角カタカナ、英数字
  - ファイル名：半角カタカナ、英数字
  - TAG ALBUM/ TAG ARTIST/ TAG GENRE：全角漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号

- タグ情報に全角文字が含まれる場合は、本機では表示できません。
- 本機が表示できる文字種は、カタカナと英数字です。表示できない文字は"＊"が表示されます。

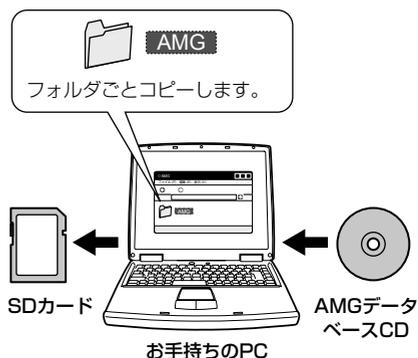
AMGデータベースの使いかた

音源をCDにして、CDを入れたときに自動的にタイトルを取得します。

---

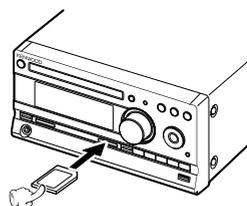
1 付属のAMGデータベースCDをSDカードにコピーする

お手持ちのパソコンでコピーします。

（コピーには約10分ほどかかります。）

データのコピーのしかたについては、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

- データベース用として2GB以上（転送速度Class4以上）のSDカードまたはSDHCカードを推奨します。

---

2 コピーしたSDカードをSD2スロットに挿入する

" SD2 " と " AMG LASSO " が表示されます。

- AMGデータベースをコピーしたSDカードは必ずSD2スロットに入れてください。

3 CDを入れる

［⏏］を押してトレイを開閉し、ディスクをセットします。" CD " が表示されます。

4 再生する

［CD►/❚❚］を押す。

CD T01
ACCESS DB

CDを再生すると、CDのTOC情報からSDカード内のAMGデータベースが検索され、該当する情報があればディスプレイに表示されます。AMGデータベースに該当する情報が複数ある場合は、候補の中から選ぶことができます。

CD T01
フクスウ ノ コウホ アリ

5 候補を選ぶ

［MULTI CONTROL ▲/▼］を押す。

アルバム センタク
タイトル コウホ 1

アルバム センタク
タイトル コウホ 2

アルバム センタク
ガイトウ ナシ

"ガイトウ　ナシ"を選ぶと、AMGデータベースの情報は表示されません。

6 候補を確定する

［決定］を押す。

- CDによって、TOC情報が似ている他のCDタイトルを取得することがあります。
- AMGデータベースをコピーしたSDカードには録音しないでください。AMGデータベースの検索時間が遅くなります。
- 候補が複数無い場合は、自動的に候補を確定します。

表示情報を切り替える

取得したタイトル情報を表示します。

1 表示情報を切り替える

［表示/文字］を押す。

押すたびにディスプレイの表示が切り替わります。

停止中の場合

ディスクタイトル→アーティスト→ジャンル→曜日/時刻

再生中の場合

ディスクタイトル→トラックタイトル（曲名）→アーティスト→ジャンル→曜日/時刻

フォルダとファイルについて

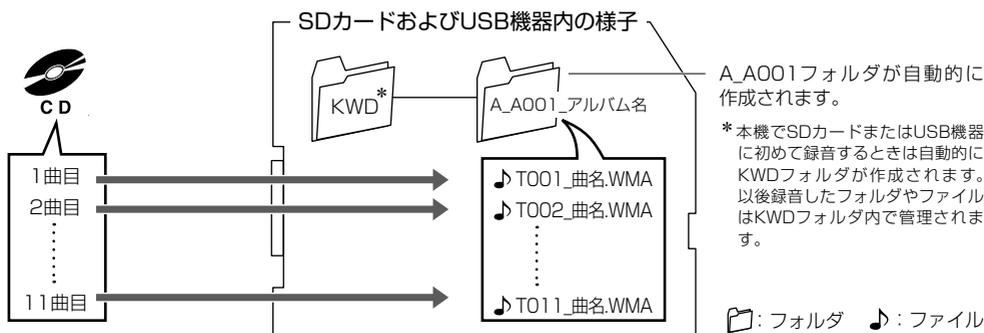
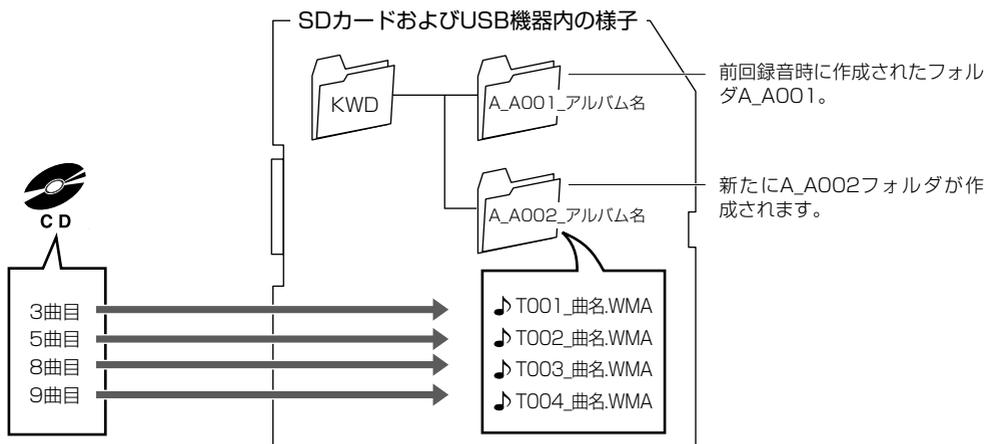
本機ではCD-ROM、SDカード、USB機器、およびデジタルオーディオプレーヤーに録音された曲を**「オーディオファイル」**または**「ファイル」**という名称で扱います。

本機でSDカードまたはUSB機器に録音した場合

本機でSDカードまたはUSB機器に録音するとファイルはすべてフォルダにまとめられ、自動的に管理番号がフォルダとファイルに付けられます。

- フォルダへ自動的に付けられる管理番号：A_A001…A_A999…A_Z999
- ファイルへ自動的に付けられる管理番号：T001.WMA、T002.WMA……
- AMGデータベースでタイトル情報を取得し、録音したフォルダにはフォルダの管理番号の後にアルバム名、ファイルにはファイルの管理番号の後に曲名がつきます。

本機からSDカードおよびUSB機器への録音フォーマットはWMA、WAV形式を採用しております。

1枚のCDを録音すると

続けて別のCDから好きな曲だけ録音すると

フォルダやファイルの選択のしかた

フォルダやファイルを選ぶときは下記の手順で選択します。

[MULTI CONTROL] で選び、[決定] で確定します。

KWDフォルダで扱うことができるフォルダとファイルの数は

フォルダ	200
ファイル	1000

フォルダとファイルの残量を知りたい場合は「SD/USBの録音残量時間を確認する」をご覧ください。（70ページ）

KWD — [MULTI COTROL ◀/▶] で移動 — A_A001 — [MULTI COTROL ◀/▶] で移動 — T001.WMA

表示: KWD

[MULTI COTROL ▲/▼] で移動　表示: T001.WMA / T002.WMA

[MULTI COTROL ▲/▼] で移動　表示: A_A001 / A_A002

T002.WMA … T011.WMA

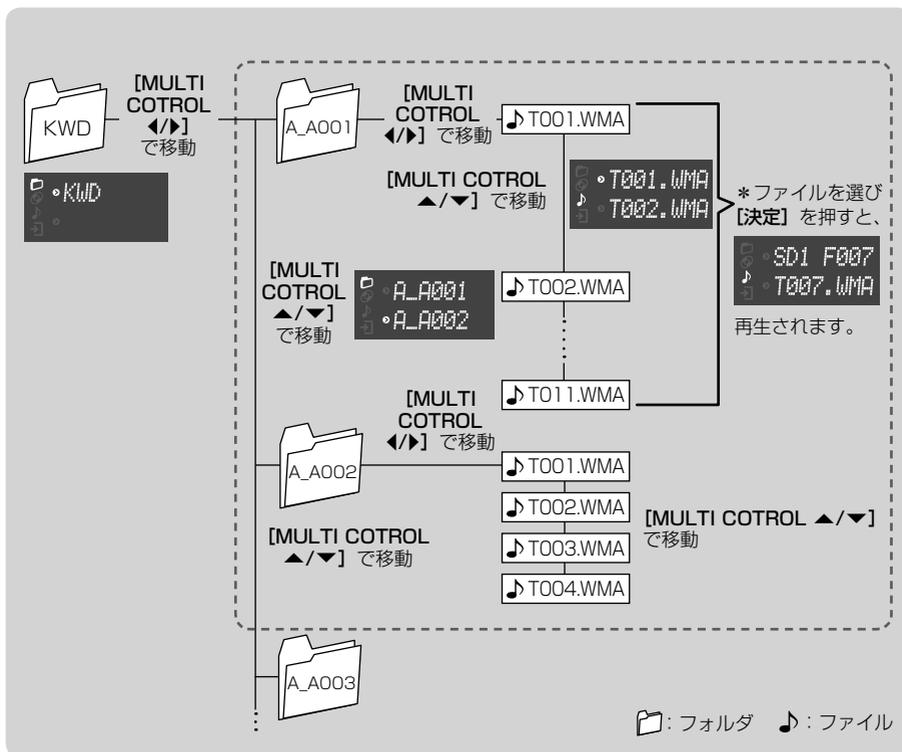
*ファイルを選び [決定] を押すと、
表示: SD1 F007 / T007.WMA
再生されます。

A_A002 — [MULTI COTROL ◀/▶] で移動 — T001.WMA, T002.WMA, T003.WMA, T004.WMA

[MULTI COTROL ▲/▼] で移動

[MULTI COTROL ▲/▼] で移動

A_A003 …

: フォルダ　♪ : ファイル

*FXXXはファイルの順番を表します。フォルダの並び順やファイルの並び順によって自動的に番号で管理しています。リモコンの**[数字]**ボタンを押して好きなファイルから聞くことができます。（35、39ページ）

表示: SD1 F007 / T007.WMA

例）F007なら [7]
　　F102なら [+100]、[2]

音楽を聞く

CD/オーディオファイルを再生する

CDやオーディオファイル（WMA/MP3/AAC）を記録したCD-ROM/CD-R/CD-RWを再生します。

- 再生できるファイルについては「再生できるオーディオファイル」をご覧ください。(104ページ)

曲を聞く

1 ディスクを入れる

［⏏］を押してトレイを開閉し、ディスクをセットします。" CD " が表示されます。

2 再生する

［CD►/II］を押す。

例）CDを再生した場合

CDのときは最初の曲から再生します。

オーディオファイルのときは、フォルダやファイルを検索して最小ファイルナンバーから再生を開始します。

- 複数のフォルダやファイルがある場合の再生の順番については、105ページをご覧ください。

■ CDのタイトルを自動取得するには

AMGデータベースをコピーしたSDカードをSD2スロットにセットしておきます。詳しくは26ページをご覧ください。

- CD-TEXT対応のディスクでは、曲名やアルバム名などの文字情報が表示されます。
- AMGデータベースを利用している場合は、AMGデータベースの情報が優先されます。
- 再生中にREC INPUTを切り替えると音が途切れます。（90ページ）

再生中/停止中のボタン操作一覧

動 作	操 作
ディスプレイの表示切り替え	再生中または停止中に［**表示/文字**］を押す 押すたびに表示情報が切り替わります。（84 ページ）
時間表示切り替え	［TIME表示］を押す 押すたびに表示情報が切り替わります。（84 ページ）
停止	再生中に［STOP■］を押す
一時停止	再生中に［CD►/❚❚］を押す 再度押すと解除します。
選曲	［数字］ボタンを押す **曲番号の指定方法：** 7 曲目→［7］を押す 12 曲目→［+10］、［2］を押す
フォルダの選択（オーディオファイル）	［MULTI CONTROL ▲/▼］を押す
早送り/早戻り	再生中に［◄◄］/［►►］を押す 再生中に［MULTI CONTROL ◀/▶］を長押しする
曲のスキップ	［►►❙］を押す ［MULTI CONTROL ▶］を押す
前の曲へ戻る	［❙◄◄］を連続して2回以上押す ［MULTI CONTROL ◀］を連続して2回以上押す
曲の頭出し	［❙◄◄］を1回押す ［MULTI CONTROL ◀］を1回押す
ランダム再生（順不同に聞く）	［ランダム］を押す 押すたびに切り替わります。 点灯：ランダム再生します ▶ 消灯：ランダム再生を解除します • ランダム再生中に［リピート］を押すと、ランダム再生が一通り終わってから前回のランダム再生と違う順番で新たにランダム再生が開始されます。 • ランダム再生中は再生済みの曲へスキップすることができません。
リピート再生（繰り返し聞く）	［リピート］を押す 押すたびに切り替わります。 1 点灯：1曲だけリピート再生します ▶ 点灯：全曲リピート再生します ▶ 消灯：リピート再生を解除します

フォルダごとに再生する

オーディオファイルのみ

フォルダごとに再生するモードに設定します。選んだフォルダだけを再生し、すべての再生が終わると停止します。

- 音源をCDに切り替え、停止しておきます。

1 "🗀"（フォルダ再生モード）を選ぶ

［P.MODE］を押す。

押すたびに表示が切り替わります。

2 再生したいフォルダを選ぶ

［MULTI CONTROL ▲/▼］を押す。

3 再生する

［CD►/❚❚］を押す。

■ **フォルダ再生モードを解除するには**

再生を停止し、［P.MODE］を押して通常の再生モードを選びます。

プログラムモードで再生する

CD/オーディオファイルの曲をお好きな順番で聞くことができます。

- 音源をCDに切り替え、停止しておきます。

1 "PGM"（プログラム再生モード）を選ぶ

［P.MODE］を押す。

押すたびに表示が切り替わります。

CDの場合

オーディオファイルの場合

2 選曲する

CDの場合

［MULTI CONTROL ▲/▼］または［数字］ボタンで曲を選び、［決定］を押す。

［MULTI CONTROL］で曲を選び、［決定］を押す。

CD T07 →P01

例）CDの7曲目をプログラムの1曲目に選んだ場合

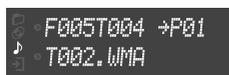
オーディオファイルの場合

[MULTI CONTROL] または [数字] ボタンでフォルダを選び、[決定] を押す。

[MULTI CONTROL] または [数字] ボタンでファイルを選び、[決定] を押す。

[MULTI CONTROL] でフォルダを選び、[決定] を押す。

[MULTI CONTROL] でファイルを選び、[決定] を押す。

F005T004 →P01
T002.WMA

例）フォルダ005の4曲目（T002.WMA）をプログラム1曲目に選んだ場合

入力を間違えたときは、[決定]を押す前にリモコンの[クリア]を押して、再度入力しなおします。

- 32曲（ファイル）まで続けて選曲できます。

3 プログラムを確定する

[STOP■] を押す。

4 再生する

[CD►/❚❚] を押す。

■ プログラムしたファイルを取り消すには

再生を停止してリモコンの [クリア] を押します。押すたびに、最後にプログラムした曲から順に1つずつ取り消されます。

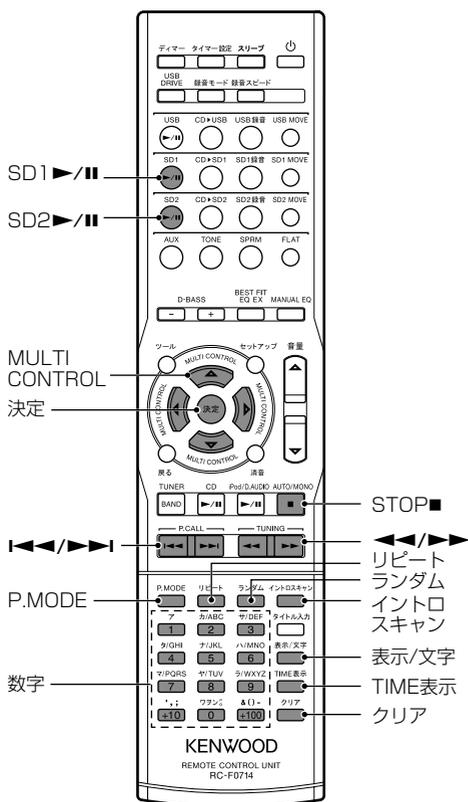
■ 後から曲を追加するには

再生中は、停止してから手順2を操作します。

■ プログラムモードを解除するには

再生を停止し、[P.MODE] を押して通常の再生モードを選びます。設定したプログラムは消去されます。

- 電源をOFFにしたり、プログラム再生を設定したCDを取り出すと、設定したプログラムは消去されます。

SDを再生する

SDカードのオーディオファイルを再生します。

SD1スロットとSD2スロットは同じように使うことができます。

- 再生できるファイルについては「再生できるオーディオファイル」をご覧ください。(104ページ)

曲を聞く

1 SDカードを挿入する

本体のSD1スロットまたはSD2スロットにSDカードをセットします。

" SD1 " または " SD2 " が表示されます。

2 再生する

[SD1►/II] または
[SD2►/II] を押す。

SD F001
T001.WMA

フォルダやファイルを検索して最小ファイルナンバーから再生を開始します。

- 複数のフォルダやファイルがある場合の再生の順番については、105ページをご覧ください。

■ SDカードを取り出すには

停止後、本機をスタンバイ状態にしてからSDカードを押して、ポップアップしたら引き抜きます。

- 再生可能なファイルがないときは、再生は開始されません。

再生中/停止中のボタン操作一覧

動 作	操 作
ディスプレイの表示切り替え	再生中または停止中に［表示/文字］を押す 押すたびに表示情報が切り替わります。（84 ページ）
時間表示切り替え	［TIME表示］を押す 押すたびに表示情報が切り替わります。（84 ページ）
停止	再生中に［STOP■］を押す
一時停止	再生中に［SD1►/II］または［SD2►/II］を押す 再度押すと解除します。
選曲	［数字］ボタンを押す **ファイルナンバーの指定方法：** 7 番目のファイル→［7］を押す 12 番目のファイル→［+10］、［2］を押す
フォルダ、ファイルの選択	［MULTI CONTROL］を押す
早送り/早戻り	再生中に［◄◄］/［►►］を押す 再生中に［MULTI CONTROL ◄/►］を長押しする
ファイルのスキップ	［►►I］を押す
前のファイルへ戻る	［I◄◄］を連続して2回以上押す
ファイルの頭出し	［I◄◄］を1回押す
ランダム再生（順不同に聞く）	［ランダム］を押す 押すたびに切り替わります。 点灯：ランダム再生します ► 消灯：ランダム再生を解除します • ランダム再生中に[リピート]を押すと、ランダム再生が一通り終わってから前回のランダム再生と違う順番で新たにランダム再生が開始されます。 • ランダム再生中は再生済みのファイルへスキップすることができません。
リピート再生（繰り返し聞く）	［リピート］を押す 押すたびに切り替わります。 1点灯：1曲だけリピート再生します ► 点灯：全曲リピート再生します ► 消灯：リピート再生を解除します

フォルダごとに再生する

フォルダごとに再生するモードに設定します。選んだフォルダだけを再生し、すべての再生が終わると停止します。

SD1、SD2は個別に設定できます。

- 音源をSDに切り替え、停止しておきます。

1 "🗀"（フォルダ再生モード）を選ぶ

［P.MODE］を押す。

押すたびに表示が切り替わります。

2 再生したいフォルダを選ぶ

［MULTI CONTROL］を押す。

- 選び方は、「フォルダとファイルについて」28ページをご覧ください。

3 再生する

［SD1►/II］または［SD2►/II］を押す。

■ **フォルダ再生モードを解除するには**

再生を停止し、［P.MODE］を押して通常の再生モードを選びます。

プログラムモードで再生する

オーディオファイルをお好きな順番で聞くことができます。

- 音源をSDに切り替え、停止しておきます。

1 "PGM"（プログラム再生モード）を選ぶ

［P.MODE］を押す。

押すたびに表示が切り替わります。

2 選曲する

［MULTI CONTROL］または［**数字**］ボタンでファイルを選び、［**決定**］を押す。

［MULTI CONTROL］でファイルを選び、［**決定**］を押す。

例）ファイルの5番目のT004.WMAをプログラム1曲目に選んだ場合

入力を間違えたときは、［**決定**］を押す前にリモコンの［**クリア**］を押して、再度入力しなおします。

- 32ファイルまで続けて選曲できます。
- 選び方は、「フォルダとファイルについて」28ページをご覧ください。

3 再生する

［SD1►/❚❚］または
［SD2►/❚❚］を押す。

■ プログラムしたファイルを取り消すには
再生を停止し、その後［**クリア**］を押します。押すたびに、最後にプログラムしたファイルから順に1つずつ取り消されます。

■ 後からファイルを追加するには
再生中は、停止してから手順2を操作します。

■ プログラムモードを解除するには
再生を停止し、［**P.MODE**］を押して通常の再生モードを選びます。設定したプログラムは消去されます。

✓ • 電源をOFFにしたり、プログラム再生を設定したSDを取り出すと、設定したプログラムは消去されます。

SDカードを連続して再生する

SD1からSD2へ、またはSD2からSD1へ続けて再生させることができます。

• 音源をSDに切り替え、停止しておきます。

1 "RELAY PLAY"（リレー再生モード）を選ぶ

［**P.MODE**］を押す。

押すたびに表示が切り替わります。

🗀 点灯　フォルダ再生モード
▼
PGM 点灯　プログラム再生モード
▼
RELAY PLAY 点灯　リレー再生モード
▼
消灯　通常の再生モード

2 再生する

［SD1►/❚❚］または
［SD2►/❚❚］を押す。

■ リレー再生モードを解除するには
再生を停止し、［**P.MODE**］を押して通常の再生モードを選びます。

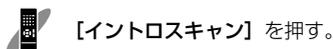
イントロを聞いて再生する

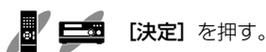
オーディオファイルを10秒ずつ再生します。イントロを聞いてからオーディオファイルを選び、通常の再生を行うことができます。

• 音源をSDに切り替え、停止しておきます。

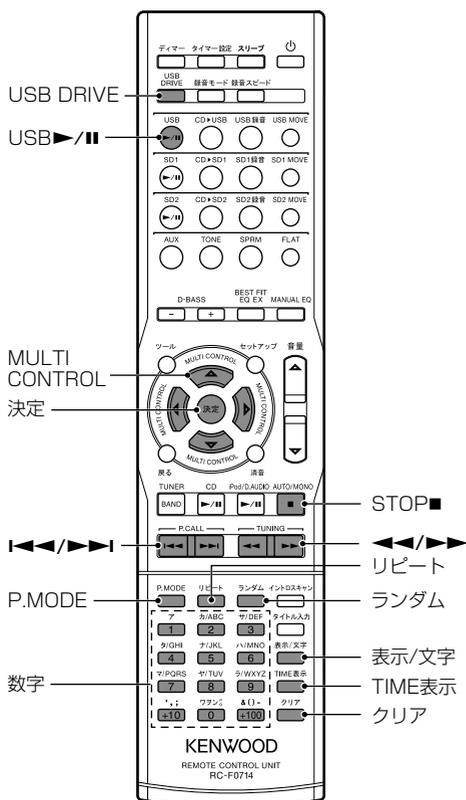
1 イントロ再生モードを選ぶ

［**イントロスキャン**］を押す。

INTRO SCAN
T001.WMA

2 聞きたいファイルが再生されたら確定する

［**決定**］を押す。

イントロ再生を終了し、通常再生になります。

✓ • イントロ再生中にファイルの削除、名前の変更、移動といった編集作業を行うこともできます。
• ツールメニューからもイントロ再生を行うことができます。（72ページ）

USBを再生する

USBフラッシュメモリーやUSBマスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーをUSB接続して、オーディオファイルを再生します。

- 再生できるファイルについては「再生できるオーディオファイル」をご覧ください。(104ページ)

曲を聞く

1 USB機器を接続する

本体の[•⇠USB]端子にUSB機器を接続します。

" USB " が表示されます。

- 接続するUSB機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

2 再生する

[USB►/II] を押す。

フォルダやファイルを検索して最小ファイルナンバーから再生を開始します。

- 複数のフォルダやファイルがある場合の再生の順番については、105ページをご覧ください。

✓
- 再生可能なファイルがないときは、再生は開始されません。
- デジタルHDDオーディオプレーヤーを接続した場合は、HDDシステム上、一時停止から再生開始したときに音切れが発生する場合があります。

再生中/停止中のボタン操作一覧

動 作	操 作
ディスプレイの表示切り替え	再生中または停止中に［**表示/文字**］を押す 押すたびに表示情報が切り替わります。（84 ページ）
時間表示切り替え	［**TIME表示**］を押す 押すたびに表示情報が切り替わります。（84 ページ）
他のドライブへの切り替え	［**USB DRIVE**］を押す ケンウッド製の MGR-A7 など、接続した USB 機器に内蔵メモリーや SD カードなど 2 つのドライブがある場合にどちらを使うか切り替えます。 USB DRIVE 1 2 iPod D.AUDIO "1、2"の表示が切り替わります
停止	再生中に［**STOP■**］を押す
一時停止	再生中に［**USB►/II**］を押す 再度押すと解除します。
選曲	［**数字**］**ボタン**を押す **ファイルナンバーの指定方法：** 7 番目のファイル→［**7**］を押す 12 番目のファイル→［**+10**］、［**2**］を押す
フォルダ、ファイルの選択	［**MULTI CONTROL**］を押す
早送り/早戻り	再生中に［**◄◄**］/［**►►**］を押す 再生中に［**MULTI CONTROL ◄/►**］を長押しする
ファイルのスキップ	［**►►I**］を押す
前のファイルへ戻る	［**I◄◄**］を連続して2回以上押す
ファイルの頭出し	［**I◄◄**］を1回押す
ランダム再生（順不同に聞く）	［**ランダム**］を押す 押すたびに切り替わります。 点灯：ランダム再生します ► 消灯：ランダム再生を解除します • ランダム再生中に［**リピート**］を押すと、ランダム再生が一通り終わってから前回のランダム再生と違う順番で新たにランダム再生が開始されます。 • ランダム再生中は再生済みのファイルへスキップすることができません。
リピート再生（繰り返し聞く）	［**リピート**］を押す 押すたびに切り替わります。 1 点灯：1曲だけリピート再生します ► 点灯：全曲リピート再生します ► 消灯：リピート再生を解除します

音楽を聞く

フォルダごとに再生する

フォルダごとに再生するモードに設定します。選んだフォルダだけを再生し、すべての再生が終わると停止します。

- 音源をUSBに切り替え、停止しておきます。

1 ""（フォルダ再生モード）を選ぶ

［P.MODE］を押す。

押すたびに表示が切り替わります。

2 再生したいフォルダを選ぶ

［MULTI CONTROL］を押す。

- 選び方は、「フォルダとファイルについて」28ページをご覧ください。

3 再生する

［USB►/II］を押す。

■ **フォルダ再生モードを解除するには**

再生を停止し、［P.MODE］を押して通常の再生モードを選びます。

プログラムモードで再生する

オーディオファイルをお好きな順番で聞くことができます。

- 音源をUSBに切り替え、停止しておきます。

1 "PGM"（プログラム再生モード）を選ぶ

［P.MODE］を押す。

押すたびに表示が切り替わります。

2 選曲する

［MULTI CONTROL］または［**数字**］ボタンでファイルを選び、［**決定**］を押す。

［MULTI CONTROL］でファイルを選び、［**決定**］を押す。

USB F005 →P01
T004.WMA

例）フォルダ005の4曲目をプログラム1曲目に選んだ場合

入力を間違えたときは、［**決定**］を押す前にリモコンの［**クリア**］を押して、再度入力しなおします。

- 32ファイルまで続けて選曲できます。
- 選び方は、「フォルダとファイルについて」28ページをご覧ください。

3 再生する

［USB►/II］を押す。

■ **プログラムしたファイルを取り消すには**

再生を停止し、その後［クリア］を押します。押すたびに、最後にプログラムしたファイルから順に1つずつ取り消されます。

■ **後からファイルを追加するには**

再生中は、停止してから手順2、3を操作します。

■ **プログラムモードを解除するには**

再生を停止し、［P.MODE］を押して通常の再生モードを選びます。設定したプログラムは消去されます。

- 電源をOFFにしたり、プログラム再生を設定したUSB機器を外すと、設定したプログラムは消去されます。

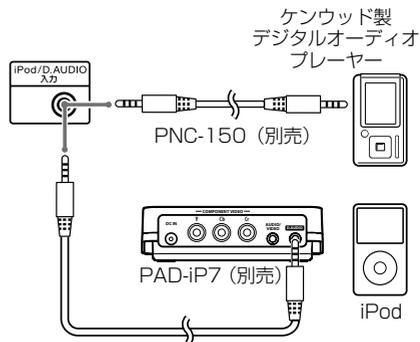
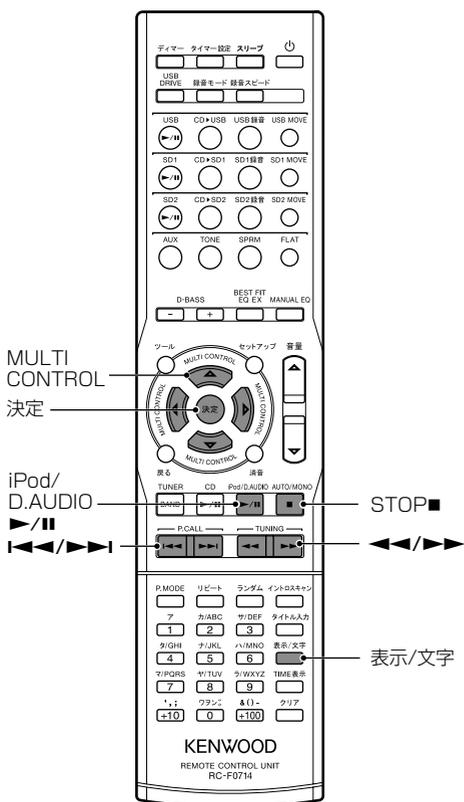
iPod/D.AUDIOを再生する

本機に接続したiPodやケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを再生します。

- 接続可能なiPodやケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーについては「iPodの取り扱い」、「D.AUDIOの取り扱い」をご覧ください。（106、107ページ）

曲を聞く

1 機器を接続する

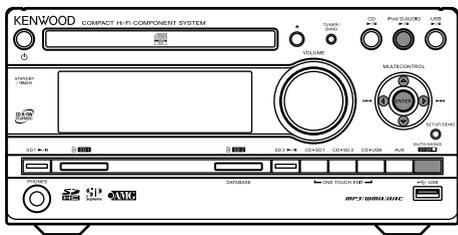
本体背面の[iPod/D.AUDIO入力]端子に、別売品を使ってケンウッド製のデジタルオーディオプレーヤーやiPodを接続します。

- 接続する機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

2 音源を切り替える

[iPod/D.AUDIO►/II] を押す。

3 接続した機器の電源を入れ、再生する

" iPod D.AUDIO " が表示されます。

- 本機へ接続している間は、機器側の音量、*音質設定が無効になります(*PAD-iP7で接続したiPodは除く)。同じ音量でも接続したiPod/D.AUDIOの音が、他の音源よりも小さく、または大きく感じた場合は入力レベルを調整します。入力レベルの調整は、71ページをご覧ください。

モードを切り替える

iPod/D.AUDIO接続での再生では、2つのモードを切り替えることができます。

- **iPod/D.AUDIO**：音声だけの外部機器を接続するときに使用します。
- **iPod/D.AUDIO（BYPASS MODE）**：映像と音声がある機器を接続したときに切り替えます。DSP（Digital Signal Processor）部を通らずに音声をそのまま出力するので、映像を再生したときに音声が遅れることがありません。BYPASS MODEのときは、SD/USBに録音できません。

1 モードを切り替える

［決定］を押す。

押すたびにモードが切り替わります。

BYPASS MODEを設定します。

BYPASS MODEのときは

- 本機でTONE以外の音質の設定ができません。
- 本機の録音ボタンが使用できません。
- 音源を切り替えたり本機の電源を切っても設定は保持されます。

■ 接続専用ケーブル機器について

別売のPNC-150（ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー専用ケーブル）やPAD-iP7（iPod専用アダプター）で接続すると、本機やリモコンで機器を操作できます。

詳しい接続や設置のしかたについては、PNC-150またはPAD-iP7に付属の取扱説明書をご覧ください。

再生中/停止中のボタン操作一覧

動 作	操 作
停止	再生中に**［STOP■］**を押す
一時停止	再生中に**［iPod/D.AUDIO►/❚❚］**を押す 再度押すと解除します。
フォルダのスキップ	**［MULTI CONTROL▲/▼］**を押す
早送り/早戻り	再生中に**［❙◄◄］/［►►❙］**を長押しする
	再生中に**［MULTI CONTROL ◀/▶］**を長押しする
ファイルのスキップ	**［►►❙］**を押す
	［MULTI CONTROL ▶］を押す
前のファイルへ戻る	**［❙◄◄］**を連続して2回以上押す
	［MULTI CONTROL ◀］を連続して2回以上押す
ファイルの頭出し	**［❙◄◄］**を1回押す
	［MULTI CONTROL ◀］を1回押す

- 接続した機器によっては操作できないものもあります。

AUX接続して再生する

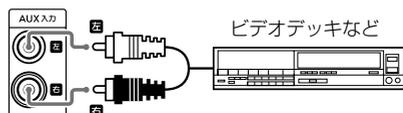
本機に外部機器をAUX接続して再生します。

AUX

決定

外部機器を再生する

1 外部機器を接続する

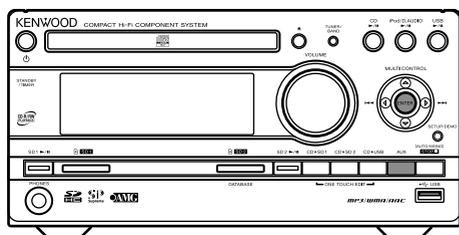
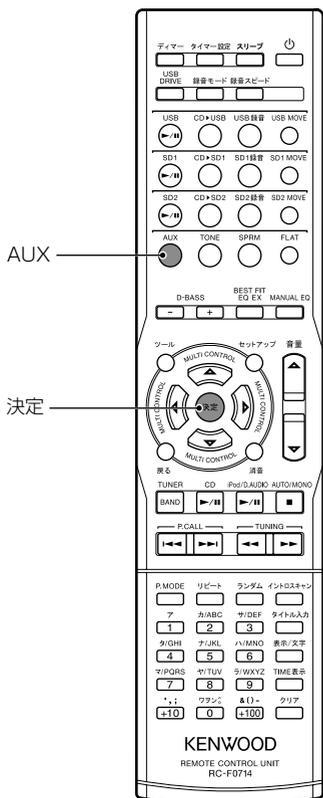
本体背面の[AUX入力]端子と、外部機器の音声出力端子をケーブルで接続します。

・接続する外部機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

・本機と外部機器の電源を必ずOFFにして接続してください。

2 音源を選ぶ

[AUX] を押す。

3 接続した外部機器の電源を入れ、再生する

・同じ音量でも接続した外部機器の音が、他の音源よりも小さく、または大きく感じた場合は入力レベルを調整します。入力レベルの調整は、71ページをご覧ください。

モードを切り替える

AUX接続での再生では、2つのモードを切り替えることができます。

- **AUX**：音声だけの外部機器を接続するときに使用します。
- **AUX (BYPASS MODE)**：ビデオデッキなど映像と音声がある機器を接続したときに切り替えます。DSP (Digital Signal Processor) 部を通らずに音声をそのまま出力するので、映像を再生したときに音声が遅れることがありません。BYPASS MODEのときは、SD/USBに録音できません。

1 モードを切り替える

［決定］を押す。

押すたびにモードが切り替わります。

AUX
BYPASS MODE

BYPASS MODEを設定します。

BYPASS MODEのときは

- 本機でTONE以外の音質の設定ができません。
- 本機の録音ボタンが使用できません。
- 音源を切り替えたり本機の電源を切っても設定は保持されます。

ラジオ放送を聞く

FM/AMの放送局を選んで聞きます。

ラジオ放送を聞く

1 FMまたはAMに切り替える

 [TUNER] を押す。

押すたびにFM/AMが切り替わります。

FM 点灯	FMラジオ
▼	
AM 点灯	AMラジオ

2 放送局を選ぶ

メモリーした放送局から選ぶ場合 (プリセットコール)

メモリーした放送局をプリセット番号(P01 ～ P40)から選びます。

 [I◄◄/►►I] を押す。

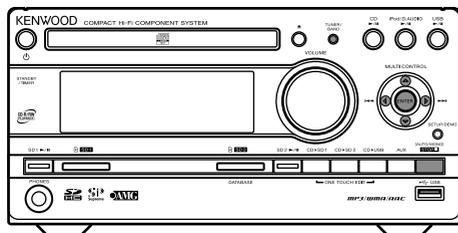
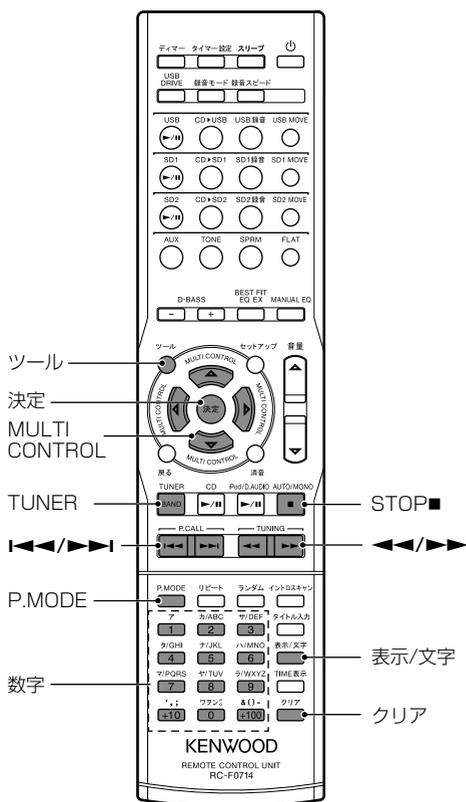
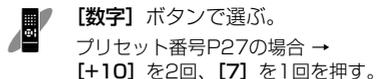
 [MULTI CONTROL ◄/►] を押す。

TUNER P27
NHK-FM

例）プリセット番号P27を選んだ場合

- ボタンを押し続けるとプリセット番号を早送りで切り替えることができます。
- プリセット番号を直接入力することもできます。

 [数字] ボタンで選ぶ。

プリセット番号P27の場合 →
[+10] を2回、[7] を1回を押す。

メモリーしていない放送局から選ぶ場合(オート選局/マニュアル選局)

❶選局方法を決めます。

 [STOP■] を押す。

押すたびに表示が切り替わります。

表示	
AUTO 点灯	**オート選局** 電波状況の良いときに自動受信します。
▼	
AUTO 消灯	**マニュアル選局** 電波状況の悪いときに手動で周波数を変えて受信します。

例）オート選局を選んだ場合

❷放送局を選びます。

 [◄◄/►►] を押す。

 [MULTI CONTROL ▲/▼] を押す。

■ **オート選局の場合**

押すたびに次の放送局を自動受信します。

■ **マニュアル選局の場合**

押すたびに周波数が1ステップずつ変わります。押し続けると周波数が早送りになります。

- オート選局、マニュアル選局中は音が出ません。
- オート選局はステレオ受信、マニュアル選局はモノラル受信になります。受信すると"TUNED"が点灯します。ステレオ受信すると"STEREO"が点灯します。

放送局を自動でメモリーさせる（オートプリセット）

都道府県を指定することで、指定した都道府県と隣接する都道府県の放送局をプリセットチャンネルにメモリーして、放送局名を表示することができます。

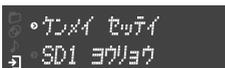
- 表示できる放送局は右記の「放送局名表示リスト」をご覧ください。
- 音源をFMまたはAMに切り替えておきます。
- FM、AM合わせて最大40局までメモリーできます。

1 ツールメニューに入る

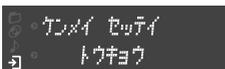
［ツール］を押す。

2 "ケンメイセッテイ"を選ぶ

［MULTI CONTROL ▲/▼］で選び、［決定］を押す。

ケンメイ セッテイ
SD1 ヨウリョウ

3 都道府県名を選ぶ

［MULTI CONTROL ▲/▼］を押す。

ケンメイ セッテイ
トウキョウ

- 都道府県名はアイウエオ順に並んでいます。
- お住まいの都道府県が変わった場合はもう一度記憶させてください。

4 放送局をメモリーさせる

［決定］を押す。

TUNER
AUTO PRESET

放送局がメモリーされ、プリセット番号01を受信した状態になります。

■ 希望の放送局名が表示されない場合は

［P.MODE］を押す。

地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されない場合は、上記の操作で別の放送局名に切り替えることができます。

- ケーブルテレビなどのアンテナを本機に接続した場合は、放送局が正しく表示されない場合があります。
- **"ミセッテイ"**を選択すると電波が強い放送局を自動的に受信しメモリーします。

放送局名表示リスト

2008年8月現在

都道府県	放送局	表示
	NHK-FM	NHK-FM
愛知県	㈱エフエム愛知	FM AICHI
	㈱ ZIP-FM	ZIP-FM
	愛知国際放送㈱	RADIO-i
青森県	㈱エフエム青森	FM ｱｵﾓﾘ
秋田県	㈱エフエム秋田	FM ｱｷﾀ
石川県	㈱エフエム石川	FM ISHIKAWA
茨城県	NHK-FM	NHK-FM
岩手県	㈱エフエム岩手	FM IWATE
愛媛県	㈱エフエム愛媛	FM ｴﾋﾒ
大分県	㈱エフエム大分	FM OITA
大阪府	㈱ FM802	FM802
	㈱エフエム大阪	fm osaka
	関西ｲﾝﾀｰﾒﾃﾞｨｱ㈱	FM CO・CO・LO
岡山県	岡山エフエム放送㈱	FM ｵｶﾔﾏ
沖縄県	AFN 沖縄	AFN ｵｷﾅﾜ
	㈱エフエム沖縄	FM Okinawa
	NHK 第一	NHK ﾗｼﾞｵ 1
香川県	㈱エフエム香川	FM ｶｶﾞﾜ
鹿児島県	㈱エフエム鹿児島	ﾐｭｰ FM
神奈川県	ｴﾌｴﾑｲﾝﾀｰｳｪｰﾌﾞ ㈱	InterFM
	横浜エフエム放送㈱	Fm Yokohama
岐阜県	岐阜エフエム㈱	Radio 80
京都府	㈱エフエム京都	FM ｷｮｳﾄ
熊本県	㈱エフエム熊本	FMK
群馬県	㈱エフエム群馬	FM GUNMA
	放送大学	ﾎｳｿｳﾀﾞｲｶﾞｸ
高知県	㈱エフエム高知	FM KOCHI
埼玉県	㈱ FM NACK5	NACK5
滋賀県	㈱エフエム佐賀	FM ｻｶﾞ
佐賀県	㈱エフエム滋賀	e-radio
静岡県	静岡エフエム放送㈱	K-MIX
島根県	㈱エフエム山陰	fm-sanin
千葉県	㈱ベイエフエム	bayfm

都道府県	放送局	表示
東京都	ｴﾌｴﾑｲﾝﾀｰｳｪｰﾌﾞ ㈱	InterFM
	㈱ J-WAVE	J-WAVE
	㈱エフエム東京	TOKYO FM
	放送大学	ﾎｳｿｳﾀﾞｲｶﾞｸ
徳島県	㈱エフエム徳島	FM ﾄｸｼﾏ
栃木県	㈱エフエム栃木	RADIO BERRY
鳥取県	㈱エフエム山陰	fm-sanin
富山県	富山エフエム放送㈱	FM ﾄﾔﾏ
	北日本放送㈱	KNB ﾗｼﾞｵ
長崎県	㈱エフエム長崎	fmnagasaki
長野県	長野エフエム放送㈱	FM NAGANO
奈良県	NHK-FM	NHK-FM
新潟県	㈱エフエムラジオ新潟	FM-NIIGATA
	新潟県民 エフエム放送㈱	FM PORT
兵庫県	㈱ Kiss-FM KOBE	Kiss-FM
広島県	広島エフエム放送㈱	ﾋﾛｼﾏ FM
福井県	福井エフエム放送㈱	FMFUKUI
福岡県	㈱エフエム九州	CROSS FM
	㈱エフエム福岡	fm fukuoka
	㈱九州国際エフエム	Love FM
福島県	㈱エフエム福島	ﾌｸｼﾏ FM
北海道	㈱エフエム・ノース ウェーブ	NORTH WAVE
	㈱エフエム北海道	AIR-G'
三重県	三重エフエム放送㈱	Radio3 FM ﾐｴ
宮城県	㈱エフエム仙台	Date fm
宮崎県	㈱エフエム宮崎	JOY FM
山形県	㈱エフエム山形	BOY FM
山口県	㈱エフエム山口	FM ﾔﾏｸﾞﾁ
山梨県	㈱エフエム富士	FM-FUJI
和歌山県	NHK-FM	NHK-FM

放送局を手動でメモリーさせる（マニュアルプリセット）

受信中のFM/AM放送局をプリセット番号を指定してメモリーします。すでに放送局を記憶させてあるプリセット番号に重ねて記憶させると、新しい設定に変更されます。

1 メモリーしたい放送局を受信する

オート選局またはマニュアル選局で受信します。（46ページ）

2 受信した放送局を確定する

［決定］を押す。

TUNER P--
MEMORY

3 メモリーさせたいプリセット番号（P01 ～ P40）を選ぶ

［I◄◄/►►I］を押す。

［MULTI CONTROL ◄/►］を押す。

TUNER P35
MEMORY

例）プリセット番号P35を選んだ場合

・プリセット番号を直接入力することもできます。

［数字］ボタンで選ぶ。
プリセット番号P35の場合 →
［+10］を3回、［5］を1回を押す。

4 放送局をメモリーさせる

［決定］を押す。

TUNER P35
COMPLETE

・続けて記憶させたいときは、手順1 ～ 4を繰り返します。

✓ ・プリセットしても電波状況が悪い場合は受信できません。

メモリーした放送局を削除する

メモリーされている放送局のプリセット番号を指定して削除します。

- 音源をFMまたはAMに切り替えておきます。

1 削除したい放送局をプリセット番号から選ぶ

[I◀◀/▶▶I] を押す。

[MULTI CONTROL ◀/▶] を押す。

TUNER P11
NHK-FM

例）プリセット番号P11にメモリーされた"NHK-FM"を選んだ場合

- プリセット番号を直接入力することもできます。

[数字] ボタンで選ぶ。
プリセット番号P11の場合 →
[+10] を1回、[1] を1回を押す。

- プリセット番号P40は消せません。

2 削除したいプリセット番号を再確認する

[クリア] を押す。

TUNER P11
CLEAR?

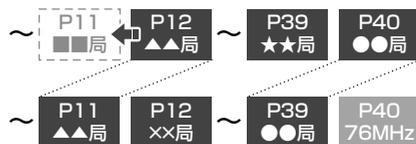
"CLEAR ? "を表示します。

3 削除する

"CLEAR ?"と表示されている間に [決定] を押す。

TUNER P11
COMPLETE

"COMPLETE"が表示された後、削除したチャンネル以降は前に詰められます。

例）P11の■■局を消した場合

空いてしまうプリセット番号には自動的に76MHzが記憶されます。

音楽を聞く

録音するまえに

いろいろな録音ができます

本機は音源の記録方式や音質に合わせて最適な録音を行うため、多彩な録音方法を備えています。

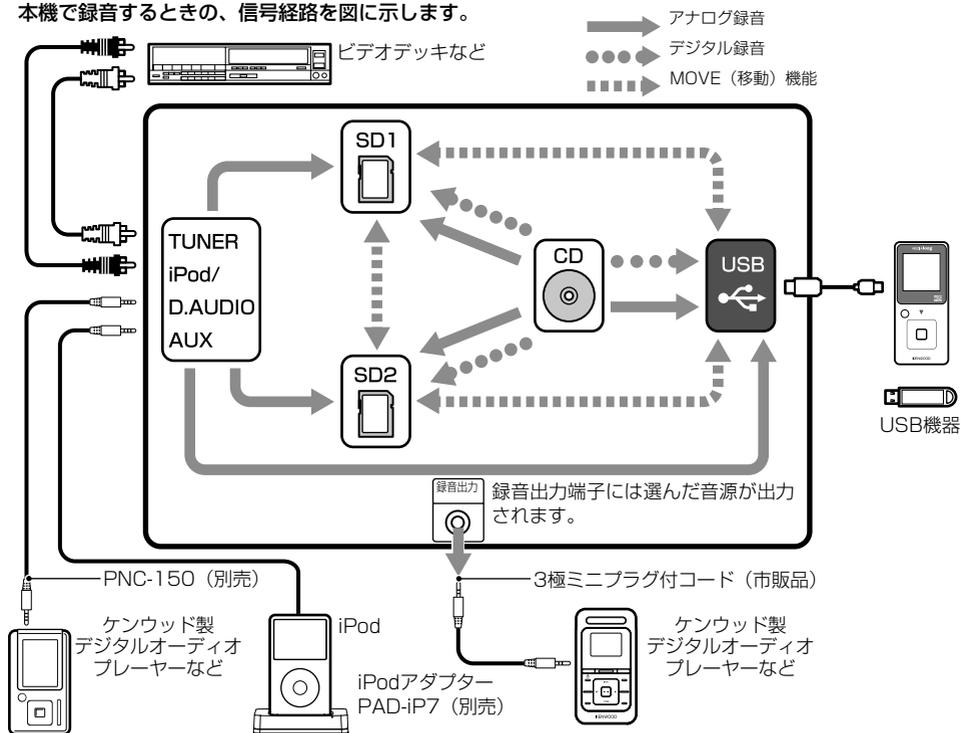
本機で録音できる音源一覧

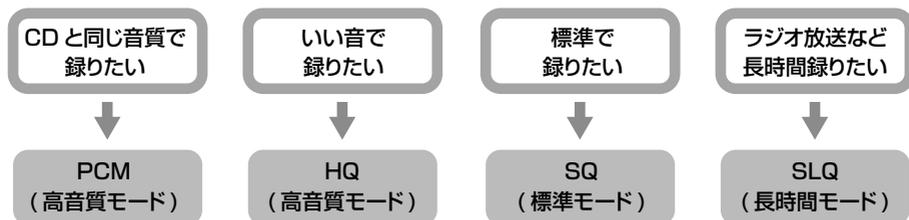
録音もと（音源）＼録音先	SD1	SD2	USB 機器	録音出力端子に接続した機器
CD	◎/○	◎/○	◎/○	○
SD1	−	MOVE	MOVE	○
SD2	MOVE	−	MOVE	○
USB 機器	MOVE	MOVE	−	○
iPod/D.AUDIO	○	○	○	○
ラジオ放送（TUNER）	○	○	○	○
外部機器（AUX 接続）	○	○	○	○

◎：デジタルで録音します。　－：録音できません。

○：アナログで録音します。デジタルコピー禁止のCDなどのときは、REC INPUTを"**ANALOG**"（アナログ）に切り替えて録音します。（90ページ）

MOVE：フォルダ/ファイルを移動します。（62ページ）

本機で録音するときの、信号経路を図に示します。

好みの音質で目的にあった録音モードを選ぶ

SD/USBへの録音モードは4種類

録音モードと録音時間

録音モード / メモリー容量	PCM (1411 kbps)	HQ (192 kbps)	SQ (128 kbps)	SLQ (96 kbps)
128 MB	約 10 分	約 1 時間 20 分	約 2 時間	約 2 時間 40 分
256 MB	約 20 分	約 2 時間 40 分	約 4 時間	約 5 時間 20 分
512 MB	約 40 分	約 5 時間 20 分	約 8 時間	約 10 時間 40 分
1 GB	約 1 時間 20 分	約 10 時間 40 分	約 16 時間	約 21 時間 20 分
2 GB	約 2 時間 40 分	約 21 時間 20 分	約 32 時間	約 42 時間 40 分
4 GB	約 5 時間 20 分	約 42 時間 40 分	約 64 時間	約 85 時間 20 分
8 GB	約 10 時間 40 分	約 85 時間 20 分	約 128 時間	約 170 時間 40 分

- SDカードに録音できる最大曲数は999曲です。
- 録音モードは、音源によって異なります。設定できる録音モードは「音源ごとに録音モードを設定する（REC MODE）」（88ページ）をご覧ください。

ワンタッチエディット録音とは

ワンタッチエディット（One Touch Edit: O.T.E.）録音は、CDをSDカードやUSB機器に、ボタン操作一つで簡単に録音できるようにした機能です。

デジタルコピー禁止のCDなどのときは、REC INPUTを"**ANALOG**"（アナログ）に切り替えてからワンタッチエディット録音してください。

録音先のフォルダ名、ファイル名について

TEXT COPYの設定にかかわらず、ラジオの放送局名、AMGデータベース情報、ディスクのファイル情報はフォルダ名、ファイル名に付加されます。

- CDからの録音では、ワンタッチエディット録音する場合のみ、タイトルなどの情報が付加されます。AMGデータベース情報がある場合は、優先して情報を付加します。

CDをSD/USBに録音する

ワンタッチエディット録音

ボタンを押すだけで、CDからSD1、SD2、USBに自動で録音できます。

録音する前に準備していただくこと

- CDのタイトルを取得する場合は「CDのタイトル情報を取得する」（26ページ）であらかじめタイトルを確定しておきます。
- 本体に録音可能なSDカードまたはUSB機器をセットします。
- 録音するCDをセットします。

全曲を録音する

CDの全曲を録音します。

1 音源をCDに切り替え、停止する

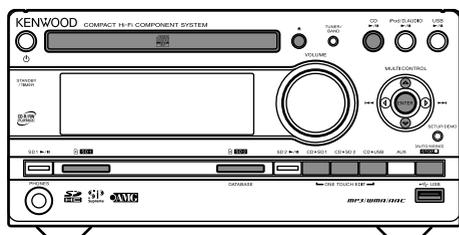
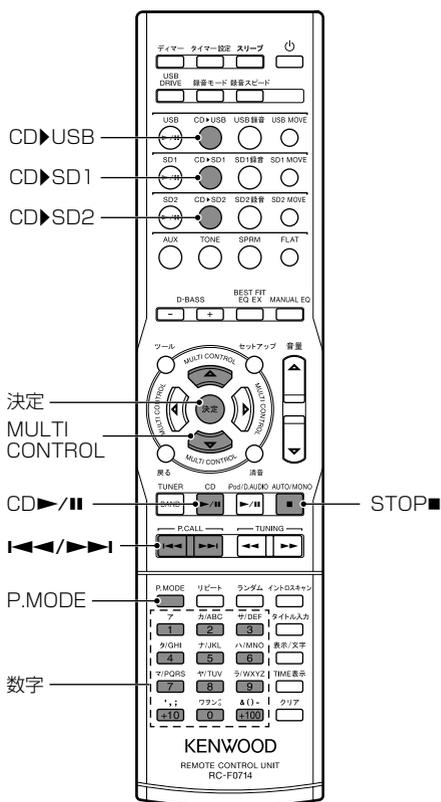
2 録音する

SDへ録音する場合

［CD▶SD1］／［CD▶SD2］を押す。

USBへ録音する場合

［CD▶USB］を押す。

CDからSD1/SD2/USBへの録音が始まります。全曲録音が終了すると停止します。

1曲を録音する

1曲だけを選んで録音します。

1 音源をCDに切り替える

2 録音したい曲を選んで再生する

［CD►/II］を押す。

・曲を選曲しておきます。

3 録音する

SDへ録音する場合

［CD▶SD1］／［CD▶SD2］を押す。

USBへ録音する場合

［CD▶USB］を押す。

再生中の曲の頭から録音を開始し、録音が終了すると一時停止します。

好きな曲を好きな順番で録音する

プログラムモードで好きな順に録音します。

1 音源をCDに切り替え、停止する

2 プログラムモードで録音する曲を選ぶ

「プログラムモードで再生する」（32ページ）の手順1 ～ 4で選曲します。

3 録音する

SDへ録音する場合

［CD▶SD1］／［CD▶SD2］を押す。

USBへ録音する場合

［CD▶USB］を押す。

プログラムモードで録音が開始されます。

■ **録音を途中でやめるには**

［STOP■］を押す。

再生したところまで保存されます。一時停止はできません。

■ **録音が終了すると**

CD T01
DATA WRITING

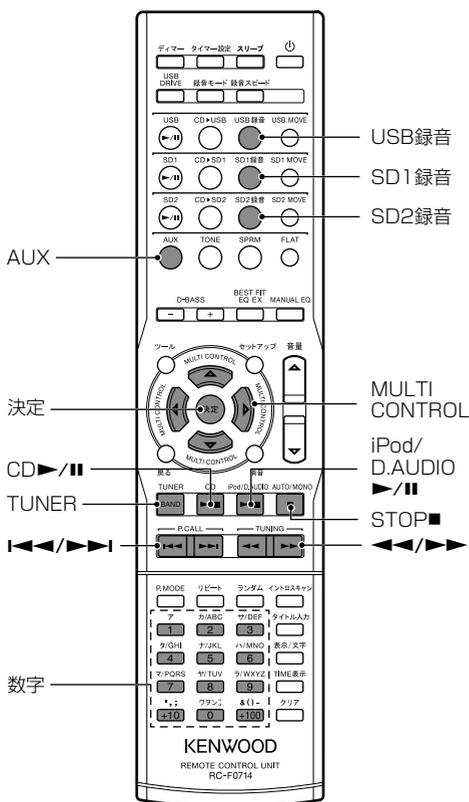
"DATA WRITING"が点滅した後、終了します。

- 録音に関する設定を変更する場合は「セットアップから録音の設定をする」をご覧ください。（86ページ）
- 録音できない場合はディスプレイにメッセージが表示されます。詳しくは「メッセージ表示一覧」をご覧ください。（108ページ）
- AMGデータベース情報やCD-TEXT情報がある場合は、録音したフォルダやファイルに情報が付加されます。
- "DATA WRITING"表示中は電源を切ったり衝撃や振動を与えないでください。
- "DATA WRITING"が完了する前に電源が切れると、録音内容は消去されます。
- オーディオファイルディスクを全曲録音するには［STOP■］を2回押します。
- USB機器には4倍速でPCMで録音できません。ＰＣＭで録音するときは、録音スピードを等速に設定します。（89ページ）

他の音源からSD/USBに録音する

CD、ラジオ放送、AUX、iPod、D.AUDIO（ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー）で再生した音をSD/USBに録音します。

録音する前に準備していただくこと

- 本体に録音可能なSDカードまたはUSB機器をセットします。
- 録音する音源をセットします。
- AMGデータベースの自動タイトル取得機能は使用できません。SD2スロットからAMGデータベースをコピーしたSDカードを取り外しておきます。

1 録音する音源を選ぶ

[CD►/II]、**[TUNER]**、**[iPod/D.AUDIO►/II]**、**[AUX]** を押す。

- CDの場合は、録音したい曲を選び頭出しを行い、一時停止しておきます。
- iPod、D.AUDIOは停止しておきます。

2 録音一時停止状態にする

[SD1録音] / **[SD2録音]** / **[USB録音]** を押す。

3 録音する

CDの曲を録音する場合

録音する曲を再生します。

[CD►/II] を押す。

再生に合わせて自動的に録音が開始されます（シンクロ録音）。

ラジオ放送を録音する場合

❶録音する放送局を選びます。（46ページ）

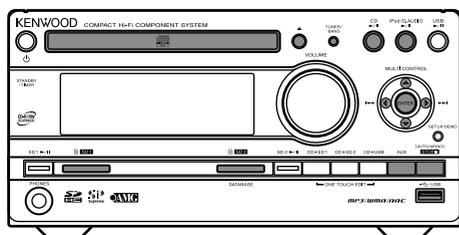
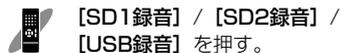
❷録音を開始します。

[SD1録音] / **[SD2録音]** / **[USB録音]** を押す。

D.AUDIOの曲を録音する場合

❶録音する曲を選びます。

❷録音を開始します。

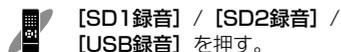
［SD1録音］/［SD2録音］/［USB録音］を押す。

❸録音する曲を再生します。

- 別売の専用ケーブルPNC-150で接続すると、本体やリモコンでケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを操作できます。
- PNC-150以外のケーブルで接続している場合は、接続したデジタルオーディオプレーヤー側で操作します。

iPodの曲を録音する場合

❶iPodを操作して録音する曲を選びます。

❷録音を開始します。

［SD1録音］/［SD2録音］/［USB録音］を押す。

❸iPodを操作して録音する曲を再生します。

- 別売の専用アダプター PAD-iP7で接続すると、本体やリモコンでiPodを操作できます。

AUXを録音する場合

❶AUX接続した外部機器を操作して再生します。

❷録音を開始します。

［SD1録音］/［SD2録音］/［USB録音］を押す。

■ 録音を一時停止するには

［SD1録音］/［SD2録音］/［USB録音］を押す。

録音中のファイルは保存されて閉じます。録音を再開すると同じフォルダに新しいファイルとして保存されます。

■ 録音を途中でやめるには

［STOP■］を押す。

■ 録音が終了すると

TUNER P11
DATA WRITING

"DATA WRITING"が点滅した後、終了します。

- 録音に関する設定を変更する場合は「セットアップから録音の設定をする」をご覧ください。(84ページ)
- 録音できない場合はディスプレイにメッセージが表示されます。詳しくは「メッセージ表示一覧」をご覧ください。（108ページ）
- "DATA WRITING"表示中は電源を切ったり衝撃や振動を与えないでください。
- "DATA WRITING"が完了する前に電源が切れると、録音内容は消去されます。

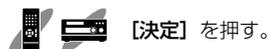
録音中にファイルを分割する

ラジオ放送などを録音するときにファイル分割を自動で付けることができます。

- 詳しくは「ファイルの分割方法を設定する（AUTO DIVIDE)」をご覧ください。(91ページ)

ファイル分割する場合

録音中にファイル分割したい箇所で、

［決定］を押す。

押すたびにファイルが作成されます。

自動でファイル分割する場合

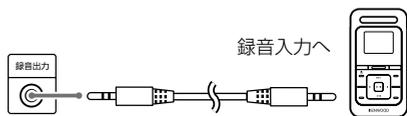
録音する前にAUTO DIVIDEの設定をONにしておきます。DIVIDE TIMEで設定した時間に応じて、自動でファイル分割が行われます。詳しくは「自動でファイルを分割する（DIVIDE TIME)」をご覧ください。(92ページ)

デジタルオーディオプレーヤーに録音する

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー /レコーダーにはCD、SD、USB、ラジオ放送、AUXからアナログ録音することができます。

録音する前に準備していただくこと

- 録音する音源をセットします。

1 [録音出力]端子にデジタルオーディオプレーヤーを接続する

2008年8月現在

接続可能なケンウッド製デジタル オーディオプレーヤー / レコーダー
M1GB5/M512B5/ M2GC7/M1GC7/MGR-A7

- 接続するデジタルオーディオプレーヤーの取扱説明書をあわせてご覧ください。

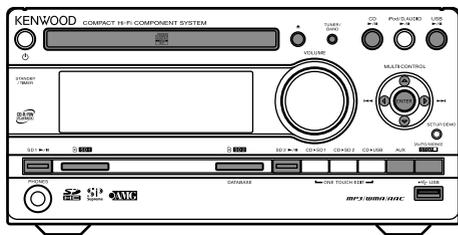
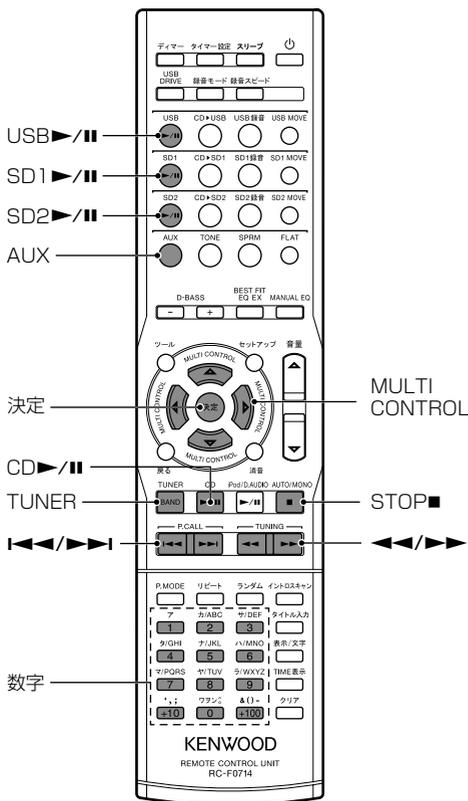
2 録音する音源に切り替える

[CD►/II] / [SD1►/II] / [SD2►/II] / [USB►/II] / [TUNER] / [AUX] を押す。

- CD、SD、USBは停止しておきます。

3 録音の準備をする

CD/SD/USBの曲を録音する場合

録音したい曲を選び頭出しを行い、一時停止しておきます。

ラジオ放送を録音する場合

録音する放送局を選びます。(46ページ)

AUXを録音する場合

AUX接続した外部機器を操作して再生します。

4 デジタルオーディオプレーヤーの録音を開始する

- 録音手順は、接続するデジタルオーディオプレーヤーの取扱説明書をあわせてご覧ください。

CD/SD/USBの曲を録音する場合

[CD►/❚❚] / [SD1►/❚❚] / [SD2►/❚❚] / [USB►/❚❚] を押す。

ラジオ放送を録音する場合

録音が開始されます。

AUXを録音する場合

録音が開始されます。

■ 録音している曲を停止するには

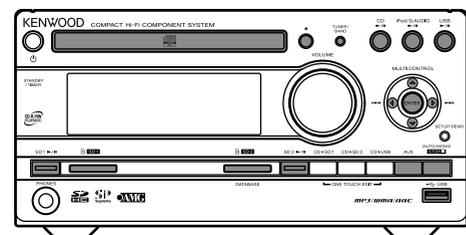
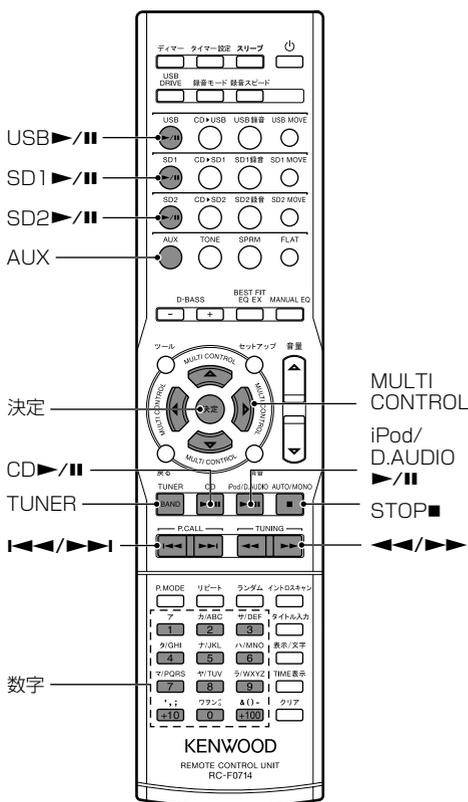
[STOP■] を押す。

■ 録音を停止するには

接続しているデジタルオーディオプレーヤーの停止ボタンを押す。

■ 録音した音が歪む、または小さいと感じたときには

録音レベルを調整します。詳しくは、「録音レベルを設定する (REC LEVEL)」をご覧ください。(90ページ)

録音中にほかの音源を聞く

本機では録音開始後、他の音源に切り替えて音楽を聞くことができます。CDのワンタッチエディット録音（4倍速録音）などの音が聞けない時などに便利です。

- 再生が可能かどうかは、録音速度や録音経路、再生する音源によって異なるため、右記の表で確認してください。

例）CDをSD1へ録音中（4倍速）に、ほかの音源を聞く場合

TUNER、SD2、AUX、USB、iPod/D.AUDIOの再生が可能です。

［TUNER］/［SD2►/II］/［AUX］/［USB►/II］/［iPod/D.AUDIO►/II］を押す。

例）ラジオ放送をUSBへ録音中（等倍速）に、ほかの音源を聞く場合

CDの再生が可能です。

［CD►/II］を押す。

■ 録音中にほかの音源を聞くと次のように表示されます。

録音中表示が"●"から"○"に切り替わります。

■ 録音を途中でやめるには

❶録音もとの音源に切り替える。

録音中表示が"○"から"●"に切り替わります。

❷［STOP■］を押す。

［STOP■］を押す。

再生したところまで保存されます。一時停止はできません。

■ 録音が終了すると

再生の途中でも、録音もとの音源に自動的に切り替わります。

・SD1、SD2のリレー再生はできません。

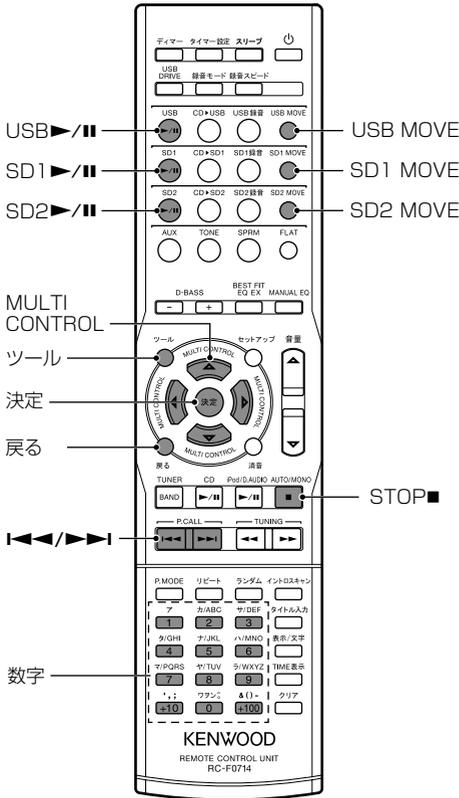
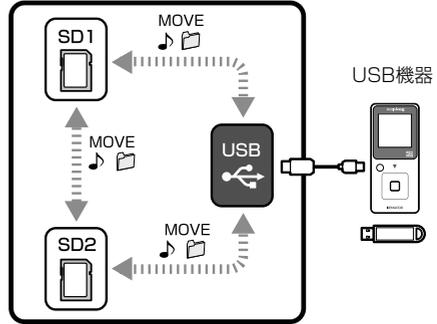
■ 4倍速録音時

録音経路	再生できる音源						
	TUNER	CD	SD1	SD2	USB	AUX	iPod/D.AUDIO
CD → SD1	○	録音中	–	○ *1	○ *1	○	○
CD → SD2	○	録音中	○ *1	–	○ *1	○	○
CD → USB	○	録音中	○ *1	○ *1	–	○	○

■ 等倍速録音時

録音経路	再生できる音源						
	TUNER	CD	SD1	SD2	USB	AUX	iPod/D.AUDIO
TUNER → SD1	録音中	○ *2	–	–	–	–	–
TUNER → SD2	録音中	○ *2	–	–	–	–	–
TUNER → USB	録音中	○ *2	–	–	–	–	–
CD → SD1	○	録音中	–	–	–	○	○
CD → SD2	○	録音中	–	–	–	○	○
CD → USB	○	録音中	–	–	–	○	○
AUX → SD1	–	○ *2	–	–	–	録音中	–
AUX → SD2	–	○ *2	–	–	–	録音中	–
AUX → USB	–	○ *2	–	–	–	録音中	–
iPod/D.AUDIO → SD1	–	○ *2	–	–	–	–	録音中
iPod/D.AUDIO → SD2	–	○ *2	–	–	–	–	録音中
iPod/D.AUDIO → USB	–	○ *2	–	–	–	–	録音中

○：再生できます。
－：選択できません。
*1：[I◀◀] で前のファイル（曲）へ戻ることはできません。選曲するときは［MULTI CONTROL］または［数字］ボタンで選んでください。
*2：録音中は、AMGデータベースでCDのタイトル取得はできません。

フォルダやファイルを移動する

SD1、SD2、USBの間でフォルダやオーディオファイルを移動します。再生中のオーディオファイルを移動することもできます。

- 再生中のファイルを移動する場合は、手順4から操作してください。
- 移動できるファイルはWMA、MP3、AAC、WAVです。

1 メディアを挿入する

移動もと、移動先のSDカード、USB機器をそれぞれ本体にセットします。

- **移動もと**：フォルダやファイルの送り側
- **移動先**：フォルダやファイルの受け取り側

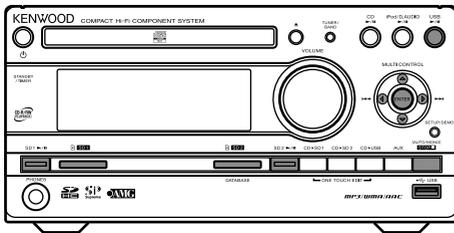
2 移動もとの音源に切り替える

［SD1►/II］/［SD2►/II］/［USB►/II］を押す。

3 移動したいフォルダまたはファイルを選ぶ

［MULTI CONTROL］または［**数字**］ボタンで選ぶ。

［MULTI CONTROL］で選ぶ。

- 再生中の場合は、再生されているファイルを移動します。

4 移動先を選ぶ

[SD1 MOVE] / [SD2 MOVE] / [USB MOVE] を押す。

ツールからの操作 つづき（72ページ）

[MULTI CONTROL ▲/▼] で移動先を選び、[決定] を押す。

```
MOVE MODE
SD1 → SD2
```

例 ）SD1か らSD2へ移動する場合

以降の手順は同様の操作で行います。

5 移動先フォルダを選ぶ

新規フォルダを作って移動するか、既存のフォルダに移動するかを選びます。

[MULTI CONTROL ▲/▼] で選び、[決定] を押す。

```
テンソウサキ フォルダ゛
シンキ フォルダ゛
```

例）新規フォルダを作って移動する場合

```
テンソウサキ フォルダ゛
フォルダ゛ センタク
```

例）既存のフォルダを選んで移動する場合

```
テンソウサキ フォルダ゛
RETURN
```

例）移動をやめる場合

6 確定する

一度移動を開始すると、途中でやめることができません。

- 移動をやめるときは"CANCEL"選びます。

新規フォルダの場合

[MULTI CONTROL ▲/▼] で選び、[決定] を押す。

```
シンキ フォルダ゛
OK
```

移動先のKWDフォルダ内に新規フォルダを作り、ファイルの移動を開始します。

既存フォルダの場合

❶移動先のフォルダを選びます。

[MULTI CONTROL ▲/▼] で選び、[決定] を押す。

```
フォルダ゛ センタク
A_A001
```

例）移動先のフォルダにA_A001ファルダを選んだ場合

❷移動を開始します。

[MULTI CONTROL ▲/▼] で選び、[決定] を押す。

```
A_A001
OK
```

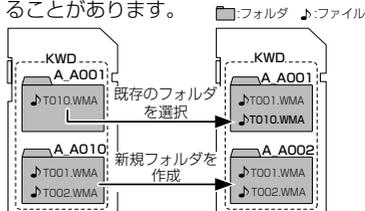
■ **移動が終わると次のように表示されます。**

```
SD1→SD2(MOVE)
DATA WRITING
```

例 ）SD1か らSD2への移動が完了した場合

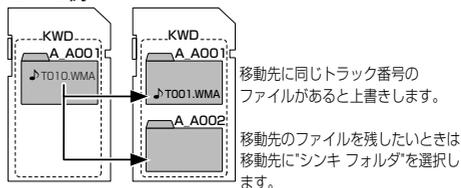
■ **移動先でのフォルダ名、ファイル名**

フォルダやファイルを移動すると名前が変わることがあります。

:フォルダ ♪:ファイル

- 本機はファイルの識別をトラック番号で管理しています。トラック番号は本機で録音したときに、自動的にファイル名の先頭に付与されるT001、T002、・・・の番号です。移動（MOVE）前に本機でファイルの名前を変換してもトラック番号は初期の番号を記録しています。
- 同じトラック番号のファイルが移動先にあると上書きしますので、ご注意下さい。移動先のファイルを残したいときは、移動先に "シンキ フォルダ" を選択してください。

MOVE例

移動先に同じトラック番号のファイルがあると上書きします。

移動先のファイルを残したいときは移動先に"シンキ フォルダ"を選択します。

フォルダやファイルの名前を変更する

名前を変更する

SD、USB内のフォルダやオーディオファイルの名前を変更できます。

1 メディアを挿入する

名前を変更したいSDカード、USB機器を本体にセットします。

2 音源を切り替える

［SD1►/II］/［SD2►/II］/［USB►/II］を押す。

3 名前を変更したいフォルダまたはファイルを選ぶ

［MULTI CONTROL］または［数字］ボタンで選ぶ。

［MULTI CONTROL］で選ぶ。

・再生中の場合は、再生されているファイルの名前を変更します。

4 タイトル入力を選ぶ

［タイトル入力］を押す。

ツールからの操作 つづき（72ページ）

以降の手順は同様の操作で行います。

5 文字を入力する

文字を入力するには、「文字入力のしかた」をご覧ください。（66ページ）

■ フォルダの場合

文字のグループ
（66ページ）

現在のフォルダ名の後にカーソルが表示される

FOLDER Aa
A_A001 BLUE

例）フォルダ名にBLUEを追加した場合

■ ファイルの場合

File:001 Aa
T001 WMA

現在のファイル名の後にカーソルが表示される

File:001 Aa
T001 SKY.WMA

例）ファイル名にSKYを追加した場合

6 確定する

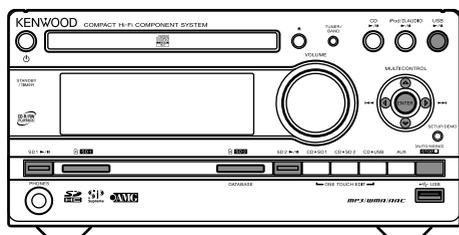
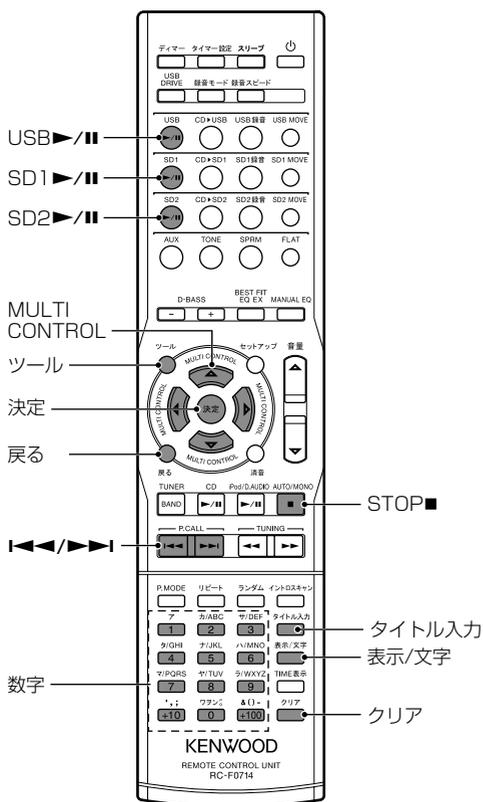
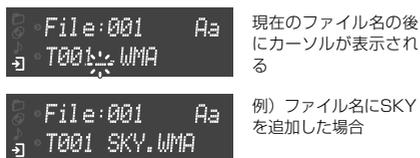
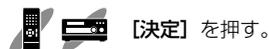
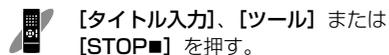
［決定］を押す。

TITLE INPUT
COMPLETE

"COMPLETE"が表示された後、通常の表示に戻ります。

■ 途中で編集作業をやめるには

［タイトル入力］、［ツール］または［STOP■］を押す。

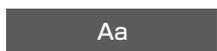
［STOP■］を押す。

- SD、USB内のフォルダやファイルの名前を変更する場合は、すでにあるフォルダやファイルの名前と同じ名前を付けないでください。
- ファイルの拡張子は変更できません。
- タグ情報の変更はできません。
- 他のフォルダやファイルの名前を変更する場合は、続けて手順3 ～ 6を繰り返し行ってください。

文字入力のしかた

名前を変更する際に必要な文字の入力操作について詳しく説明します。

1 文字のグループを選ぶ

[表示/文字] を押す。

押すたびに表示が切り替わります。

文字のグループ

・詳しくは右記の「編集文字一覧表」をご覧ください。

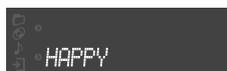
2 文字を入力する

[数字] ボタンを押す。

例）グループ"Aa"で **[2]** を押したとき以下のように切り替わります。

A ▸ B ▸ C ▸ a ▸ b ▸ c

3 手順1 ～ 2を繰り返して文字を入力する

HAPPYと入力する場合

文字	ボタン	押す回数
H	[4]	2 回
A	[2]	1 回
P	[7]	1 回
カーソルを右に移動	[MULTI CONTROL ▶]	1 回
P	[7]	1 回
Y	[9]	3 回

・カタカナ、数字を入力する場合は、**[表示/文字]** で文字のグループを切り替えて同じ要領で入力します。

4 確定する

[決定] を押す。

TITLE INPUT
COMPLETE

"COMPLETE"が表示された後、通常の表示に戻ります。

■ **文字を消すには**

❶消したい文字にカーソルを移動します。

[MULTI CONTROL ◀/▶] を押す。

❷文字を消します。

[クリア] を押す。

■ **文字を挿入するには**

❶挿入する箇所にカーソルを移動します。

[MULTI CONTROL ◀/▶] を押す。

❷文字を入力します。

入力できる文字数について

SDまたはUSBのフォルダ名、ファイル名にはそれぞれ最大28文字まで入力できます。

- カタカナを使用したり、曲数が多い場合は、入力できる文字数が少なくなります。スペース（1文字ぶんの空白）も、文字と同じデータを必要とします。

フォルダ、ファイルの管理番号について

SDまたはUSBのフォルダ名、ファイル名のタイトル前にあるアルファベットや番号（管理番号）を変更するとフォルダ、ファイルの順序がずれてしまいます。なるべく管理番号の変更はしないでください。

フォルダの管理番号

管理番号

ファイルの管理番号

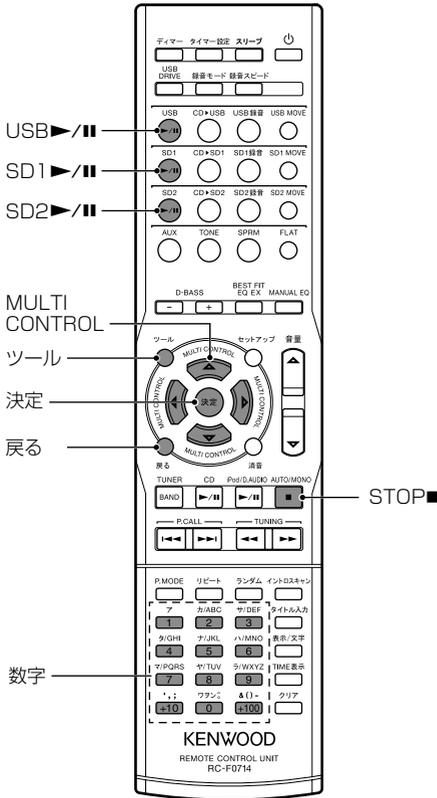
管理番号

編集文字一覧表

グループ／[数字] ボタン		Aa	12	アァ
[1]	1ア	（スペース）	1	アイウエオァィゥェォ
[2]	2カABC	A B C a b c	2	カキクケコ
[3]	3サDEF	D E F d e f	3	サシスセソ
[4]	4タGHI	G H I g h i	4	タチツテトッ
[5]	5ナJKL	J K L j k l	5	ナニヌネノ
[6]	6ハMNO	M N O m n o	6	ハヒフヘホ
[7]	7マPQRS	P Q R S p q r s	7	マミムメモ
[8]	8ヤTUV	T U V t u v	8	ヤユヨャュョ
[9]	9ラWXYZ	W X Y Z w x y z	9	ラリルレロ
[0]	0ワヲン゛゜	（スペース）	0	゛゜ワヲン
[+10]	+10 ' , ;	' , ! ; _ ` $ （スペース）		
[+100]	+100 &()-	& ( ) − + = # % @		

゛(濁点)や ゜(半濁点)は、カーソル直前の文字によっては入力できないことがあります。

フォルダやファイルを削除する

SD、USB内のフォルダやオーディオファイルを選んで削除します。

1 メディアを挿入する

削除したいフォルダやファイルの入ったSDカード、USB機器を本体にセットします。

2 音源を切り替える

［SD1►/❚❚］/［SD2►/❚❚］/［USB►/❚❚］を押す。

3 削除したいフォルダまたはファイルを選ぶ

［MULTI CONTROL］または［数字］ボタンで選ぶ。

［MULTI CONTROL］で選ぶ。

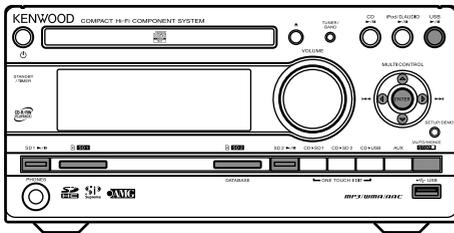
- 再生中の場合は、再生されているファイルを削除します。

4 ツールメニューに入る

［ツール］を押す。

5 "ERASE"を選ぶ

［MULTI CONTROL ▲/▼］で選び、［決定］を押す。

ERASE
TITLE INPUT

6 フォルダ、ファイルを削除する

・削除をやめるときは"CANCEL"を選びます。

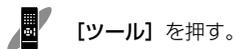
［MULTI CONTROL ▲/▼］で選び、［決定］を押す。

ERASE
OK

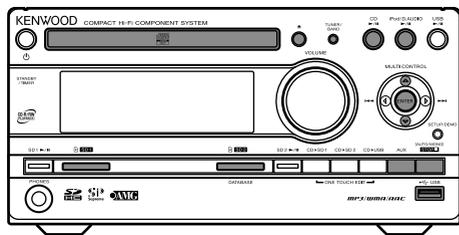
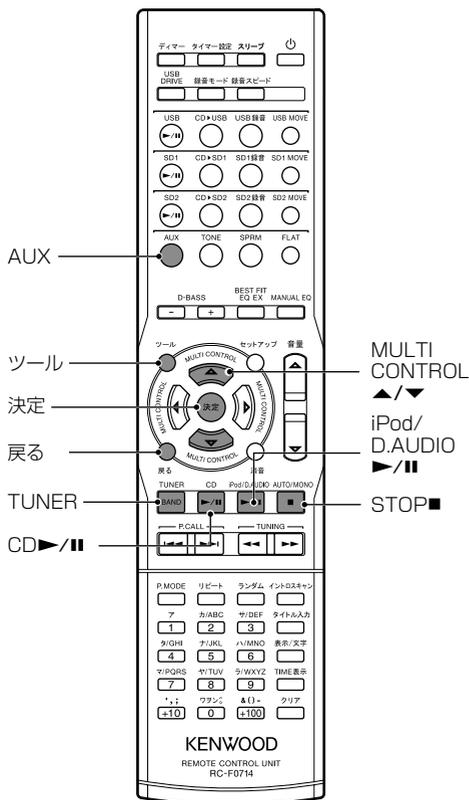
ERASE
COMPLETE

"COMPLETE"が表示された後、通常の表示に戻ります。

■ 途中で編集作業をやめるには

［ツール］を押す。

・本機で認識できないファイルは削除できません。

SD/USBの録音残量時間を確認する

SD、USB内のフォルダ数、オーディオファイル数、録音残量時間を表示します。

1 メディアを挿入する

録音残量時間を確認したいSDカード、USB機器を本体にセットします。

2 音源を切り替える

[TUNER]/[AUX]/[CD►/II]/[iPod/D.Audio►/II]を押す。

- 各音源から録音した場合のSD1/SD2/USBの録音残量時間が表示されます。
- CDの場合はディスクをセットします。

3 ツールメニューに入る

[ツール]を押す。

4 "ヨウリョウ"を選ぶ

[MULTI CONTROL ▲/▼]で選び、[決定]を押す。

SD1 ヨウリョウ
SD2 ヨウリョウ

例）SD1の容量を確認したい場合

5 確認する

FOLDER 123/200
FILE 39/1000
HQ -10:30:40

現在のフォルダ数/上限フォルダ数（200）

現在のファイル数/上限ファイル数（1000）

録音モード

録音残量時間

- 本機で録音したフォルダやファイルは、すべてKWDフォルダ内に保存されますが、保存できるフォルダ数、ファイル数には制限があります。（104ページ）
- 録音残量時間は各音源ごとに設定できる録音モードにもとづいています。（88ページ）

外部機器の入力レベルを調整する

同じ音量でも接続した外部機器の音が、他の音源よりも小さく、または大きく感じた場合は入力レベルを、－３～＋3の範囲で調整できます。

1 音源を切り替える

[iPod/D.AUDIO►/❚❚] / [AUX] を押す。

2 ツールメニューに入る

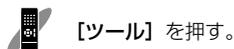
[ツール] を押す。

3 "INPUT LEVEL"を選ぶ

[MULTI CONTROL ▲/▼] で選び、[決定] を押す。

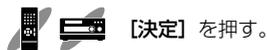
INPUT LEVEL
SD1 ヨウリョウ

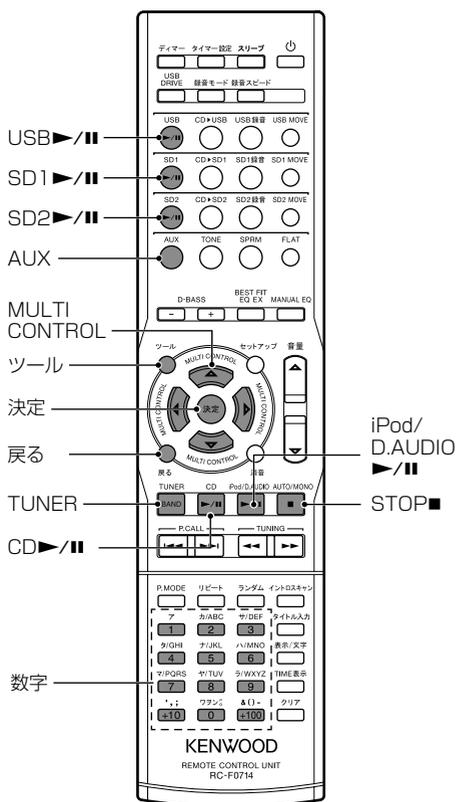
4 入力レベルを調整する

[MULTI CONTROL ▲/▼] を押す。

例）AUXの入力レベルを"+3"にした場合

- 入力レベルの調整は手順1で選んだ音源に対してのみ有効です。

5 確定する

[決定] を押す。

- 入力レベルを調整すると、[iPod/D.AUDIO入力]、[AUX入力]端子に接続された外部機器から録音するときの音量も変わります。

ツールから編集をする

リモコンの[タイトル入力]などと同じ編集を、[ツール]を使っても行うことができます。また、[ツール]からしか入れない編集項目も備えています。編集したい項目をこのボタンから行うと、音源と編集項目を替えるだけで、一括して行うことができます。

1 編集したい音源に切り替える

フォルダやファイルの移動、削除、名前の変更を行うときは編集したいフォルダまたはファイルを選んでおきます。

2 ツールメニューに入る

[ツール] を押す。

ディスプレイに編集項目が表示されます。

3 編集項目を選ぶ

[MULTI CONTROL ▲/▼] で選び、**[決定]** を押す。

ERASE
TITLE INPUT

例）**"ERASE"**を選んだ場合

4 各項目の詳細設定を行う

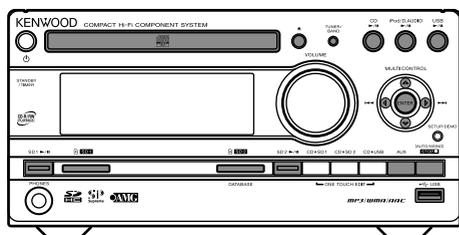
参照先ページの手順に従って続けて操作を行ってください。

■ 項目や設定を間違えたときには

[戻る] を押す。
一つ前の画面に戻ります。

■ ツールメニューを終了するには

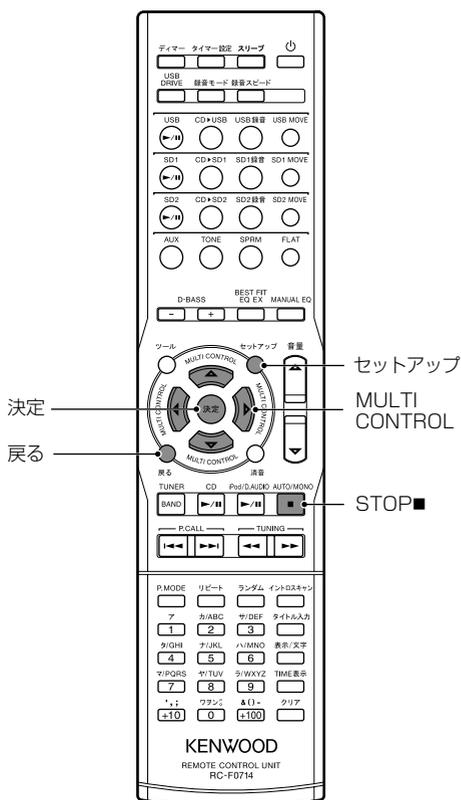
[ツール] または **[STOP■]** を押す。

[STOP■] を押す。

[ツール]

音源	編集項目	編集概要	ページ
TUNER	ケンメイセッテイ *	お住まいの都道府県名を選び設定します。	48（手順 3）
	SD 1 ヨウリョウ *	SD1 スロットに挿入した SD カードのフォルダ数、ファイル数、録音残量時間を表示します。	70（手順 5）
	SD 2 ヨウリョウ *	SD2 スロットに挿入した SD カードのフォルダ数、ファイル数、録音残量時間を表示します。	70（手順 5）
	USB ヨウリョウ *	USB に接続したデジタルオーディオ機器のフォルダ数、ファイル数、録音残量時間を表示します。	70（手順 5）
	EXIT	ツールメニューを終了します。	
CD	SD 1 ヨウリョウ *	SD1 スロットに挿入した SD カードのフォルダ数、ファイル数、録音残量時間を表示します。	70（手順 5）
	SD 2 ヨウリョウ *	SD2 スロットに挿入した SD カードのフォルダ数、ファイル数、録音残量時間を表示します。	70（手順 5）
	USB ヨウリョウ *	USB に接続したデジタルオーディオ機器のフォルダ数、ファイル数、録音残量時間を表示します。	70（手順 5）
	タイトル ガイトウナシ*	選んだ AMG データベースの情報を " **ガイトウナシ** " に設定します。	26
	EXIT	ツールメニューを終了します。	
iPod/D.Audio AUX	INPUT LEVEL *	接続した外部機器の入力レベルを調整します。	71（手順 4）
	SD 1 ヨウリョウ *	SD1 スロットに挿入した SD カードのフォルダ数、ファイル数、録音残量時間を表示します。	70（手順 5）
	SD 2 ヨウリョウ *	SD2 スロットに挿入した SD カードのフォルダ数、ファイル数、録音残量時間を表示します。	70（手順 5）
	USB ヨウリョウ *	USB に接続したデジタルオーディオ機器のフォルダ数、ファイル数、録音残量時間を表示します。	70（手順 5）
	EXIT	ツールメニューを終了します。	
SD1/SD2	ERASE *	フォルダやファイルを削除します。	68（手順 6）
	TITLE INPUT	フォルダやファイルの名前を変更します。	64（手順 4）
	INTRO SCAN	イントロ再生します。	37（手順 2）
	MOVE MODE	フォルダやファイルを移動します。	62（手順 4）
	EXIT	ツールメニューを終了します。	
USB	ERASE *	フォルダやファイルを削除します。	68（手順 6）
	TITLE INPUT	フォルダやファイルの名前を変更します。	64（手順 4）
	MOVE MODE	フォルダやファイルを移動します。	62（手順 4）
	EXIT	ツールメニューを終了します。	

* **[ツール]** からのみの操作となります。

セットアップから機器の設定をする

リモコンの[ディマー]と同じ機器の設定を、リモコンまたは本体の［セットアップ］を使っても行うことができます。また、［セットアップ］からしか入れない設定項目も備えています。設定したい項目をこのボタンから行うと、設定項目を替えるだけで、一括して行うことができます。

1 セットアップメニューに入る

［セットアップ］を押す。

ディスプレイにカテゴリーが表示されます。

2 カテゴリーから"SYSTEM SETUP"を選ぶ

［MULTI CONTROL ▲/▼］で選び、［決定］を押す。

SYSTEM SETUP
REC SETUP

3 設定項目を選ぶ

［MULTI CONTROL ▲/▼］で選び、［決定］を押す。

TIME ADJUST
TIMER SETTING

例）"TIME ADJUST"を選んだ場合

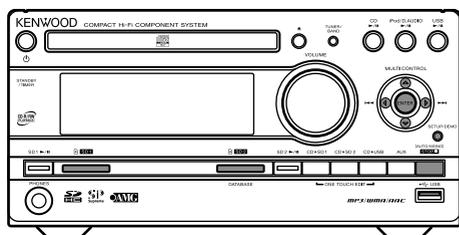
4 各項目の詳細設定を行う

参照先ページの手順に従って続けて操作を行ってください。

■ 項目や設定を間違えたときには

［戻る］を押す。
一つ前の画面に戻ります。

■ セットアップメニューを終了するには

［セットアップ］または［STOP■］を押す。

[セットアップ]

カテゴリー	設定項目	設定概要	ページ
SYSTEM SETUP	SLEEP	スリープタイマーの設定をします。	76
	DIMMER SET	ディスプレイの明るさを調整します。	77
	SD FORMAT *	SD カードをフォーマットします。	77
	A.P.S. *	オートパワーセーブ機能の ON/OFF を設定します。	78
	TIME ADJUST *	時計を合わせます。（曜日 / 時 / 分）	79
	TIMER SETTING	指定した曜日、時間にラジオ放送の録音や曲の再生を予約・設定します。	80
	RETURN	カテゴリー選択画面に戻ります。	
REC SETUP	REC MODE	音源ごとに録音モードを設定します。	86 ～
	O.T.E. SPEED	ワンタッチエディット録音の録音スピードを設定します。	
	REC INPUT	CD を SD/USB へ録音するときのデジタル / アナログの設定をします。	
	REC LEVEL	SD/USB/D.AUDIO への録音レベルを設定します。	
	AUTO DIVIDE	SD/USB へ録音するときに、ファイル分割（曲の区切り）を自動で行うか、手動で行うかを設定します。	
	DIVIDE TIME	ラジオ放送などを SD/USB へ録音するときに、自動でファイル分割（曲の区切り）を行う間隔を設定をします。	
	TEXT COPY	SD/USB へ CD を録音するときに CD-TEXT をつける設定をします。	
	RELAY REC	TUNER/AUX/iPod/D.AUDIO から SD へ録音するときに、SD1 から SD2 へ続けて録音するか、しないかを設定します。	
	RETURN	カテゴリー選択画面に戻ります。	
SOUND SETUP	D-BASS	低音域のレベルを調整します。	94 ～
	TONE	低音（BASS）と高音域（TREBLE）のレベルを調整します。	
	MANUAL EQ	7 つの音域ごとにレベルを調整し、お好みの設定を 3 つまで登録できます。	
	SPRM	SPRM（サプリーム）の OFF/ON を設定します。	
	BestFit EQ EX	BestFit EQ EX を設定します。	
	HR SOUND	HR SOUND のOFF / ONを設定します。	
	BALANCE	スピーカーの左右の音バランスを調整します。	
	RETURN	カテゴリー選択画面に戻ります。	
EXIT		セットアップメニューを終了します。	

* **[セットアップ]** からのみの操作となります。

スリープタイマーを設定する（SLEEP）

音源を聞いている最中や聞く前に、スリープタイマーを設定して、指定時間後再生を終了して自動的に電源をOFFします。

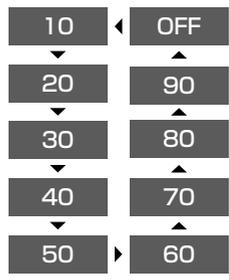
1 "SLEEP"を選ぶ

[MULTI CONTROL ▲/▼] で選び、[決定] を押す。

SLEEP
DIMMER SET

2 スリープタイマーを設定する

[MULTI CONTROL ▲/▼] で選び、[決定] を押す。

押すたびに表示が切り替わります。

"OFF"を選ぶと、解除します。

ディスプレイにスリープタイマー動作表示が点灯します。

■ **設定後、スリープタイマーの残り時間を確認するには**

[スリープ] を押す。

SLEEP
35min.

タイマーの残り時間を5秒間表示します。

- さらにボタンを押し続けると、残りの時間を起点としてタイマーの設定を行うことができます。

本機が以下の状態のときはスリープタイマーは設定できません。
- スタンバイ中
- 電源OFFの処理を行っているとき
- 時計/プログラムタイマーの設定中
- **［セットアップ］／［ツール］**で設定中

リモコンの［スリープ］で設定するには

［スリープ］を押す。

押すたびにタイマーが切り替わります。

本機が以下の状態のときはディスプレイの明るさ調節はできません。
- スタンバイ中
- 電源ON直後
- 電源OFFの処理を行っているとき
- **［セットアップ］／［ツール］**で設定中

リモコンの［ディマー］で設定するには

［ディマー］を押す。

押すたびに明るさが切り替わります。

ディスプレイの明るさを調節する（DIMMER SET）

ディスプレイ画面の明るさを調節したり、イルミネーション照明のON/OFFを設定します。

1 "DIMMER SET"を選ぶ

［MULTI CONTROL ▲/▼］で選び、**［決定］**を押す。

DIMMER SET
SD FORMAT

2 ディスプレイの明るさを調節する

［MULTI CONTROL ▲/▼］で選び、**［決定］**を押す。

押すたびに表示が切り替わります。

表示	内容
DIMMER OFF	ディスプレイは明るく、イルミネーションは点灯
DIMMER 1	ディスプレイは暗く、イルミネーションは点灯
DIMMER 2	ディスプレイは暗く、イルミネーションは消灯
DIMMER 3	ディスプレイは明るく、イルミネーションは消灯

SDカードをフォーマットする（SD FORMAT）

本機でSDカードをフォーマットします。フォーマットするとSDカード内に記録されている情報はすべて消去されます。

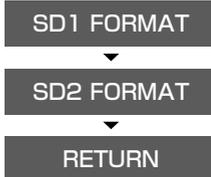
1 "SD FORMAT"を選ぶ

［MULTI CONTROL ▲/▼］で選び、**［決定］**を押す。

SD FORMAT
A.P.S.

2 フォーマットするSDカードを選ぶ

［MULTI CONTROL ▲/▼］で選び、**［決定］**を押す。

押すたびに表示が切り替わります。

SD1 FORMAT
▼
SD2 FORMAT
▼
RETURN　"SYSTEM SETUP"の表示に戻ります。

次のページへつづく ▶▶▶

もっと使いこなす

3 フォーマットする

・フォーマットをやめるときは"CANCEL"を選びます。

［MULTI CONTROL ▲/▼］で選び、［決定］を押す。

SD1 FORMAT
FORMAT READY

4 確定する

SD1 FORMAT
FORMAT OK?

再度フォーマットを確認するよう表示されます。

［決定］を押す。

フォーマット終了後は、"SYSTEM SETUP"の表示に戻ります。

・SDカード内にAMGデータベースがあるときは、フォーマットできません。
・SDカードの種類によっては、フォーマットに時間がかかる場合があります。

省エネモードを設定する（A.P.S.）

A.P.S.とはAUTO POWER SAVE (オートパワーセーブ)の略で、電源がONでCDやSDなどが停止状態のまま30分以上何も操作しなかった場合、自動的に電源がOFFになる機能です。

1 "A.P.S."を選ぶ

［MULTI CONTROL ▲/▼］で選び、［決定］を押す。

A.P.S.
TIME ADJUST

2 省エネモードを設定する

［MULTI CONTROL ▲/▼］で選び、［決定］を押す。

押すたびにON/OFFが切り替わります。

A.P.S.
ON

ONにすると"A.P.S."が点灯します。

■ **A.P.S.モードがONのときは**

本体が以下の条件であるとき起動します。

・音源にTUNER、AUX、iPod/D.AUDIOが選択されていて、ボリュームが0でボタン操作がない場合
・CD、SD1、SD2、USBが停止中で、ボタン操作がない場合

時計を設定する (TIME ADJUST)

本機の曜日と時間を設定します。

1 "TIME ADJUST"を選ぶ

［MULTI CONTROL ▲/▼］で選び、［決定］を押す。

TIME ADJUST
TIMER SETTING

2 曜日、時、分を設定する

曜日、時、分の項目を選択する場合

［MULTI CONTROL ◀/▶］を押す。

押すたびに切り替わります。

選択した項目が点灯します。

例）"**曜日**"を選択した場合

例）"**分**"を選択した場合

曜日、時、分を設定する場合

［MULTI CONTROL ▲/▼］を押す。

- 昼の12:00は（PM 12:00)、夜の12:00は（AM 12:00）と表示されます。

3 確定する

［決定］を押す。

"SYSTEM SETUP"の表示に戻ります。

■ 電源OFF(スタンバイ状態)のときに時刻を表示するには

［STOP■］を押す。

時刻を5秒間表示します。

- 電源プラグを差しなおしたり停電があった場合は、再度時計を合わせてください。
- 時計の精度には若干の誤差がありますので、定期的に時計を合わせることをお勧めします。

もっと使いこなす

プログラムタイマー (TIMER SETTING)

プログラム予約によって指定した曜日、時間に、ラジオ放送をSD1/SD2へ録音したり、ラジオ放送、CD、SD1を聞くことができます。

プログラムは5つまで設定可能です。設定内容はプログラム番号によって異なります。

プログラム1～3（録音専用）の場合

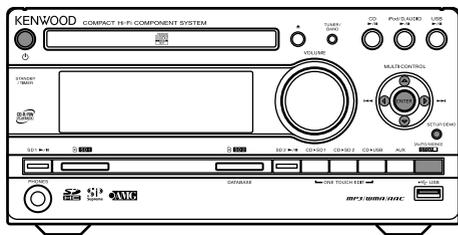
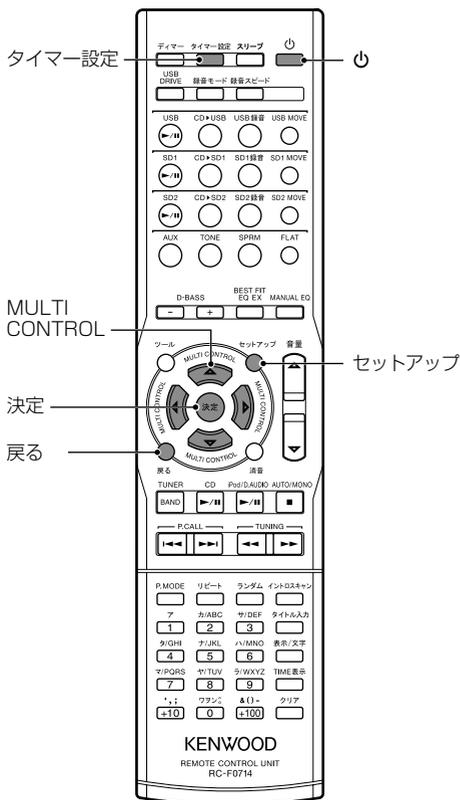
ラジオ放送をSD1へ録音します。録音専用のため、プログラム4、5で録音するより設定が簡単です。

録音モードはSQ（標準）、SLQ（長時間）から選びます。

プログラム4、5（再生/録音）の場合

ラジオ放送、CD、SD1を聞きます（TIMER PLAY）。モーニングコールの設定に最適です。

ラジオ放送をSD1/SD2へ録音します（TIMER REC）。録音モードはHQ（高音質）、SQ（標準）、SLQ（長時間）から選びます。

- 時計を正確な時間に合わせておいてください。「時計を設定する（TIME ADJUST）」をご覧ください。（79ページ）

1 "TIMER SETTING"を選ぶ

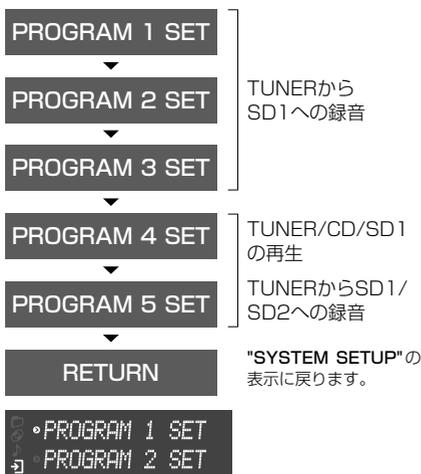
［MULTI CONTROL ▲/▼］で選び、［決定］を押す。

TIME ADJUST
TIMER SETTIG

2 PROGRAM番号を選ぶ

［MULTI CONTROL ▲/▼］を押す。

押すたびに切り替わります。

PROGRAM 1 SET
▼
PROGRAM 2 SET
▼
PROGRAM 3 SET
▼
PROGRAM 4 SET
▼
PROGRAM 5 SET
▼
RETURN

項目	内容
PROGRAM 1 SET〜PROGRAM 3 SET	TUNERからSD1への録音
PROGRAM 4 SET〜PROGRAM 5 SET	TUNER/CD/SD1の再生 TUNERからSD1/SD2への録音
RETURN	"SYSTEM SETUP"の表示に戻ります。

PROGRAM 1 SET
PROGRAM 2 SET

3 プログラム項目を選ぶ

[MULTI CONTROL ▲/▼]を押す。

押すたびに切り替わります。

手順2でPROGRAM1〜3を選んだ場合

項目	内容
ON/OFF	タイマーのON/OFFを選ぶ
ヨウビセッテイ	曜日を選ぶ
ON TIME	開始時刻を選ぶ
OFF TIME	終了時刻を選ぶ
ON VOLUME	録音する音量を選ぶ
TUNER PRESET	放送局を選ぶ
REC MODE	録音モードを選ぶ
EXIT	"SYSTEM SETUP"の表示に戻ります。

PROGRAM4、5を選んだ時の設定項目に関しては「プログラム項目一覧」をご覧ください。(82ページ)

4 プログラム項目を決定する

[決定] を押す。

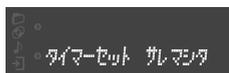
5 各項目の詳細設定を行う

詳しい設定操作に関しては「プログラム項目一覧」をご覧ください。(82ページ)

手順3 〜 5の操作を繰り返し行い、必要なプログラム項目を設定します。

6 電源をOFFにする

[⏻] を押す。

ﾀｲﾏｰｾｯﾄ ｻﾚﾏｼﾀ

スタンバイ・タイマーインジケーターも橙色に点灯します。

- 電源プラグを差しなおしたり停電があった場合は、もう一度時計を合わせてください。(79ページ)
- ラジオ放送を録音予約する場合、録音したい番組の開始時間ぴったりにタイマーを設定すると最初の部分が頭切れになることがあります。開始時間より1分程早く設定しておくことをお勧めします。
- プログラムタイマーを複数セットする場合は、プログラムどうしの時間設定の間隔を3分以上空けて設定してください。

リモコンの［タイマー設定］で設定するには

[タイマー設定] を押す。

押すたびにPROGRAM番号が切り替わります。設定したいプログラム番号を選び手順3 〜 6の操作で設定を行います。

プログラム項目一覧

PROGRAM1、2、3の設定項目

<table>
<tr><th>プログラム項目</th><th>概要</th><th colspan="2">操作</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">[MULTI CONTROL ▲/▼] で選び、
[決定] を押す。</td></tr>
<tr><td>ON/OFF</td><td>タイマーの実行 / 解除を切り替えます</td><td colspan="2">ON : タイマーを実行します。
OFF : タイマーを解除します。</td></tr>
<tr><td rowspan="11">ヨウビセッテイ</td><td rowspan="11">曜日を選びます</td><td colspan="2">EVERYDAY（毎日）</td></tr>
<tr><td>SUNDAY（日曜）</td><td rowspan="7">続けてタイマーが1回だけ働くか毎週働くかを選びます
❶ [MULTI CONTROL ▶]を押します。
❷ [MULTI CONTROL ▲/▼] で "ONE TIME" または "EVERY WEEK" を選び、[決定] を押します。</td></tr>
<tr><td>MONDAY（月曜）</td></tr>
<tr><td>TUESDAY（火曜）</td></tr>
<tr><td>WEDNESDAY（水曜）</td></tr>
<tr><td>THURSDAY（木曜）</td></tr>
<tr><td>FRIDAY（金曜）</td></tr>
<tr><td>SATURDAY（土曜）</td></tr>
<tr><td colspan="2">MON-FRI（月曜から金曜）</td></tr>
<tr><td colspan="2">TUE-SAT（火曜から土曜）</td></tr>
<tr><td colspan="2">SAT-SUN（土曜、日曜）</td></tr>
<tr><td>ON TIME</td><td>タイマーの開始時刻を設定します</td><td colspan="2" rowspan="2">❶" 時 " を合わせます。
❷ [MULTI CONTROL ▶] を押し、" 分 " に切り替えます。
❸" 分 " を合わせます。</td></tr>
<tr><td>OFF TIME</td><td>タイマーの終了時刻を設定します</td></tr>
<tr><td>ON VOLUME</td><td>録音時の音量を設定します</td><td colspan="2">0 ～ 40（MAX）の間で設定できます。</td></tr>
<tr><td>TUNER PRESET</td><td>放送局（プリセット番号）を選びます</td><td colspan="2">P01 ～ P40 のうち一つを選びます。
詳しくは、46 ページをご覧ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">REC MODE</td><td rowspan="2">録音モードを選びます</td><td>WMA（SLQ）</td><td rowspan="2">録音モードについて詳しくは、「好みの音質で目的にあった録音モードを選ぶ」をご覧ください。(53 ページ)</td></tr>
<tr><td>WMA（SQ）</td></tr>
<tr><td>EXIT</td><td colspan="3">"TIMER SETTING" のプログラム番号選択画面に戻ります</td></tr>
</table>

PROGRAM4、5の設定項目

プログラム項目	概要	操作
		[MULTI CONTROL ▲/▼] で選び、 [決定] を押す。
ON/OFF	タイマーの実行 / 解除を切り替えます	ON : タイマーを実行します。 OFF : タイマーを解除します。
PLAY/REC	タイマー再生またはタイマー録音を選びます	TIMER PLAY * : タイマー再生を実行します。 TIMER REC ** : タイマー録音を実行します。
ヨウビ セッテイ	曜日を選びます	EVERYDAY（毎日） SUNDAY（日曜） MONDAY（月曜） TUESDAY（火曜） WEDNESDAY（水曜） THURSDAY（木曜） FRIDAY（金曜） SATURDAY（土曜） （SUNDAY～SATURDAY：続けてタイマーが1回だけ働くか毎週働くかを選びます。 ❶ [MULTI CONTROL ▶]を押します。 ❷ [MULTI CONTROL ▲/▼] で "ONE TIME" または "EVERY WEEK" を選び、[決定] を押します。） MON-FRI（月曜から金曜） TUE-SAT（火曜から土曜） SAT-SUN（土曜、日曜）
ON TIME	タイマーの開始時刻を設定します	❶" 時 " を合わせます。 ❷ [MULTI CONTROL ▶] を押し、" 分 " に切り替えます。 ❸" 分 " を合わせます。
OFF TIME	タイマーの終了時刻を設定します	
ON VOLUME	タイマー再生または録音時の音量を設定します	0 ～ 40（MAX）の間で設定できます。
AI PLAY *	タイマー再生開始時に音量をON VOLUMEで設定した値まで徐々に上げていきます	ON : AI PLAY を実行します。 OFF : AI PLAY を解除します。
PLAY SOURCE *	再生する音源を選びます	TUNER CD SD1 （TUNER 選択時は、続けて放送局（プリセット番号）を選びます。 ❶ [MULTI CONTROL ▶]を押します。 ❷ [MULTI CONTROL ▲/▼] で放送局を選び、[決定] を押します。）
TUNER PRESET **	放送局（プリセット番号）を選びます	P01 ～ P40 のうち一つを選びます。 詳しくは、46 ページをご覧ください。
RECORDER **	録音先の音源を選びます	SD1 : SD1 へ録音します。 SD2 : SD2 へ録音します。
REC MODE **	録音モードを選びます	WMA（SLQ） WMA（SQ） WMA（HQ） （録音モードについて詳しくは、「好みの音質で目的にあった録音モードを選ぶ」をご覧ください。(53 ページ)）
EXIT	"TIMER SETTING" のプログラム番号選択画面に戻ります	

* TIMER PLAY/** TIMER RECどちらを選ぶかで表示される項目が異なります。

ディスプレイ表示を切り替える

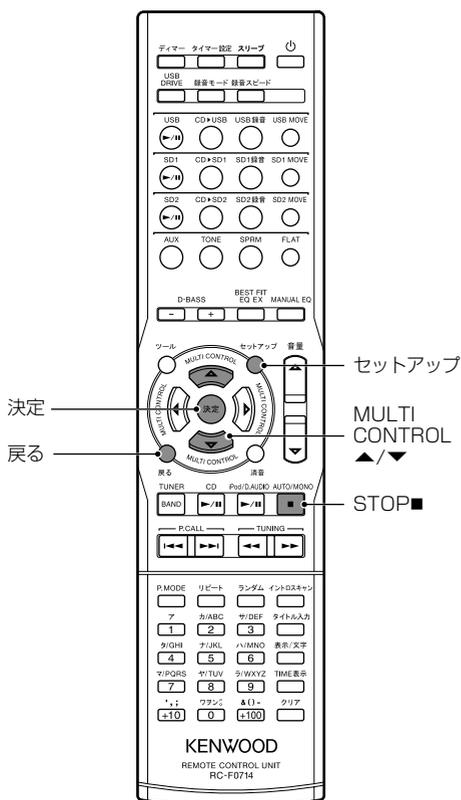
［表示/文字］または［TIME表示］を押す。

本機の動作状況や音源によりディスプレイに表示する内容が次のように切り替わります。

音源	ボタン	録音中のディスプレイ表示
CD	［表示 / 文字］	―
	［TIME 表示］	―
オーディオファイル SD USB	［表示 / 文字］	録音もとの音源表示 ▶ SD/USB 録音表示
	［TIME 表示］	SD 録音残量時間 ・ SD1またはSD2からUSBへの移動中は、時間表示されません。
iPod/D.AUDIO/AUX	［表示 / 文字］	―
TUNER	［表示 / 文字］	―

・ 表示できる時間は9999分59秒までです。それを越えると" - - - - : - - "と表示されます。

セットアップから録音の設定をする

リモコンの[**録音モード**]と同じ録音の設定を、リモコンまたは本体の［**セットアップ**］を使っても行うことができます。また、［**セットアップ**］からしか入れない設定項目も備えています。設定したい項目をこのボタンから行うと、設定項目を替えるだけで、一括して行うことができます。

1 セットアップメニューに入る

［**セットアップ**］を押す。

ディスプレイにカテゴリーが表示されます。

2 カテゴリーから"REC SETUP"を選ぶ

［**MULTI CONTROL ▲/▼**］で選び、［**決定**］を押す。

SYSTEM SETUP
REC SETUP

3 設定項目を選ぶ

［**MULTI CONTROL ▲/▼**］で選び、［**決定**］を押す。

REC INPUT
REC LEVEL

例）"**REC INPUT**"を選んだ場合

4 各項目の詳細設定を行う

参照先ページの手順に従って続けて操作を行ってください。

■ 項目や設定を間違えたときには

［**戻る**］を押す。
一つ前の画面に戻ります。

■ セットアップメニューを終了するには

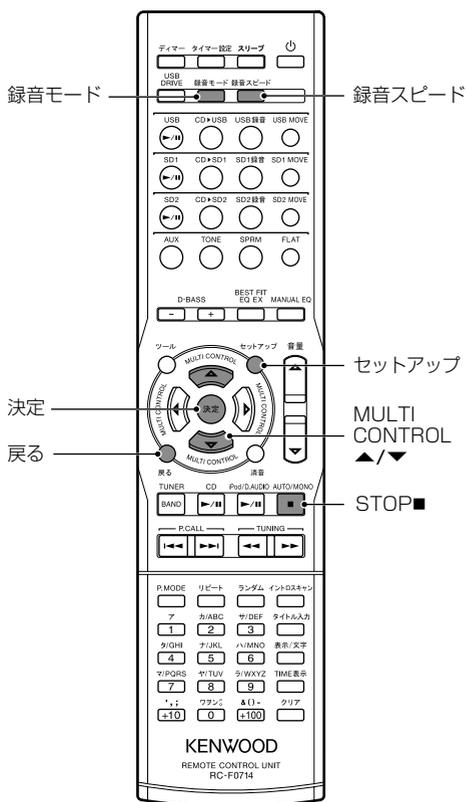
［**セットアップ**］または［**STOP■**］を押す。

[セットアップ]

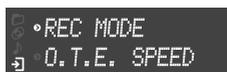
カテゴリー	設定項目	設定概要	ページ
SYSTEM SETUP	SLEEP	スリープタイマーの設定をします。	74 ～
	DIMMER SET	ディスプレイの明るさを調整します。	
	SD FORMAT	SD カードをフォーマットします。	
	A.P.S.	オートパワーセーブ機能の ON/OFF を設定します。	
	TIME ADJUST	時計を合わせます。（曜日 / 時 / 分）	
	TIMER SETTING	指定した曜日、時間にラジオ放送の録音や曲の再生を予約・設定します。	
	RETURN	カテゴリー選択画面に戻ります。	
REC SETUP	REC MODE	音源ごとに録音モードを設定します。	88
	O.T.E. SPEED	ワンタッチエディット録音の録音スピードを設定します。	89
	REC INPUT *	CD を SD/USB へ録音するときのデジタル / アナログの設定をします。	90
	REC LEVEL *	SD/USB/D.AUDIO への録音レベルを設定します。	90
	AUTO DIVIDE *	SD/USB へ録音するときに、ファイル分割（曲の区切り）を自動で行うか、手動で行うかを設定します。	91
	DIVIDE TIME *	ラジオ放送などを SD/USB へ録音するときに、自動でファイル分割（曲の区切り）を行う間隔を設定をします。	92
	TEXT COPY *	SD/USB へ CD を録音するときに CD-TEXT をつける設定をします。	92
	RELAY REC *	TUNER/AUX/iPod/D.AUDIO から SD へ録音するときに、SD1 から SD2 へ続けて録音するか、しないかを設定します。	93
	RETURN	カテゴリー選択画面に戻ります。	
SOUND SETUP	D-BASS	低音域のレベルを調整します。	94 ～
	TONE	低音（BASS）と高音域（TREBLE）のレベルを調整します。	
	MANUAL EQ	7 つの音域ごとにレベルを調整し、お好みの設定を 3 つまで登録できます。	
	SPRM	SPRM（サプリーム）の OFF/ON を設定します。	
	BestFit EQ EX	BestFit EQ EX を設定します。	
	HR SOUND	HR SOUND のOFF / ONを設定します。	
	BALANCE	スピーカーの左右の音バランスを調整します。	
	RETURN	カテゴリー選択画面に戻ります。	
EXIT		セットアップメニューを終了します。	

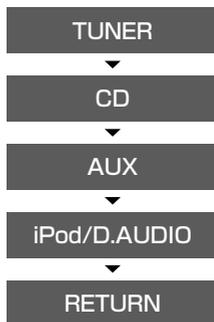
* ［セットアップ］からのみの操作となります。

音源ごとに録音モードを設定する（REC MODE）

録音する音源ごとに、SD/USBへ録音するときの録音モードを設定します。

1 "REC MODE"を選ぶ

［MULTI CONTROL ▲/▼］で選び、［決定］を押す。

REC MODE
O.T.E. SPEED

2 設定したい音源を選ぶ

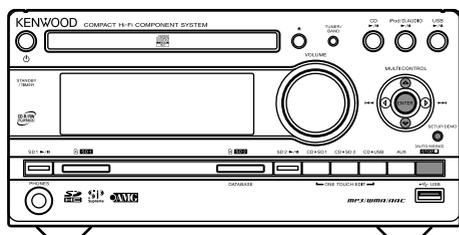
［MULTI CONTROL ▲/▼］を押す。

押すたびに表示が切り替わります。

"REC SETUP"の表示に戻ります。

3 音源を確定する

［決定］を押す。

4 録音モードを選ぶ

[MULTI CONTROL ▲/▼] を押す。

押すたびに表示が切り替わります。

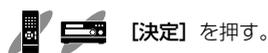
TUNERの場合

WMA(HQ)	高音質モード
▼	
WMA(SQ)	標準モード
▼	
WMA(SLQ)	長時間モード

CD/AUX/iPod/D.AUDIOの場合

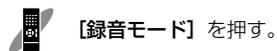
PCM	高音質モード
▼	
WMA(HQ)	高音質モード
▼	
WMA(SQ)	標準モード
▼	
WMA(SLQ)	長時間モード

5 確定する

[決定] を押す。

✓ ・録音モードについて詳しくは、「好みの音質で目的にあった録音モードを選ぶ」をご覧ください。(53ページ)

リモコンの［録音モード］で設定するには

音源がCD、iPod/D.AUDIO、TUNER、AUXのときに、

[録音モード] を押す。

押すたびに録音モードが切り替わります。

録音スピードを設定する (O.T.E. SPEED)

ワンタッチエディット録音（54ページ）するときの、録音スピードを設定します。

1 "O.T.E. SPEED"を選ぶ

[MULTI CONTROL ▲/▼] で選び、**[決定]** を押す。

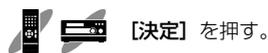
2 録音スピードを選ぶ

[MULTI CONTROL ▲/▼] を押す。

押すたびに表示が切り替わります。

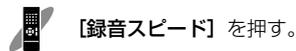
HIGH	4倍速スピードで録音します。
▼	
NORMAL	等倍速スピードで録音します。

3 確定する

[決定] を押す。

✓ ・デジタルコピー禁止のCDなどのときは、REC INPUTを"**ANALOG**"（アナログ）に切り替えて録音します。(90ページ) このときは、O.T.E.スピードを"**NORMAL**"に設定します。

リモコンの［録音スピード］で設定するには

音源がCD、iPod/D.AUDIO、TUNER、AUXのときに、

[録音スピード] を押す。

押すたびに録音スピードが切り替わります。

録音方式を設定する（REC INPUT）

CDをSD/USBへ録音するときに、デジタル録音するか、アナログ録音するかを設定します。

1 "REC INPUT"を選ぶ

[MULTI CONTROL ▲/▼]で選び、[決定]を押す。

•REC INPUT
•REC LEVEL

2 録音方式を選ぶ

[MULTI CONTROL ▲/▼]を押す。

押すたびに表示が切り替わります。

DIGITAL　デジタル録音します。
▼
ANALOG　アナログ録音します。

3 確定する

[決定]を押す。

・デジタルコピー禁止のCDなどのときは、REC INPUTを"ANALOG"（アナログ）に切り替えて録音します。

録音レベルを設定する（REC LEVEL）

[•⊂USB]/[録音出力]端子に接続した機器やSDカードに録音した音が歪む、または小さいと感じた場合は録音レベルを調整してください。

1 "REC LEVEL"を選ぶ

[MULTI CONTROL ▲/▼]で選び、[決定]を押す。

•REC LEVEL
•AUTO DIVIDE

2 設定したい音源を選ぶ

[MULTI CONTROL ▲/▼]を押す。

押すたびに表示が切り替わります。

SD1/SD2/USB　SD1/SD2/USBの設定
▼
ﾛｸｵﾝ ｼｭﾂﾘｮｸ　[録音出力]端子の設定
▼
RETURN　"REC SETUP"の表示に戻ります。

3 音源を確定する

[決定]を押す。

4 録音レベルを調整する

[MULTI CONTROL ▲/▼]を押す。

SD1/SD2/USBの場合

お好みに合わせて、録音レベルを"−2〜+2"の範囲で調整できます。

SD1/SD2/USB
LEVEL +2

例）録音レベルを"+2"にした場合

ロクオン シュツリョクの場合

お好みに合わせて、"HIGH"または"LOW"を選びます。

ﾛｸｵﾝ ｼｭﾂﾘｮｸ
LEVEL HIGH

例）録音レベルに"HIGH"を選んだ場合

5 確定する

［決定］を押す。

・ワンタッチエディット録音のときは、録音レベルは調整できません。

ファイルの分割方法を設定する（AUTO DIVIDE）

ラジオ放送などをSD/USBへ録音するときに、ファイル分割を自動で行うか、手動で行うかを設定します。

1 "AUTO DIVIDE"を選ぶ

［MULTI CONTROL ▲/▼］で選び、［決定］を押す。

AUTO DIVIDE
DIVIDE TIME

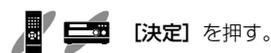
2 分割方法を選ぶ

［MULTI CONTROL ▲/▼］を押す。

押すたびに表示が切り替わります。

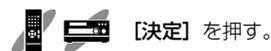
OFF	手動でファイル分割します。
▼	
ON	自動でファイル分割します。

3 確定する

［決定］を押す。

4 ファイルを分割する

OFFの場合

録音中にファイル分割したい箇所で、

［決定］を押す。

押すたびにファイルが作成されます。

ONの場合

ファイル分割を何分ごとに行うかを設定します。詳しくは、「自動でファイルを分割する(DIVIDE TIME)」をご覧ください。(92ページ)

・ラジオ放送を録音しているときは、DIVIDE TIMEで設定した間隔でファイルが分割されます。(92ページ)
・iPod/D.AUDIOやAUXに接続した機器を録音しているときは、無音状態が3秒以上続くと、その箇所でファイルが分割されます。

自動でファイルを分割する（DIVIDE TIME）

AUX端子に接続した外部機器などをSD/USBへ録音するときに、設定した時間に応じて、自動でファイル分割を行います。

1 "DIVIDE TIME"を選ぶ

[MULTI CONTROL ▲/▼]で選び、**[決定]** を押す。

DIVIDE TIME
TEXT COPY

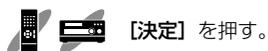
2 分割間隔を選ぶ

[MULTI CONTROL ▲/▼]を押す。

押すたびに表示が切り替わります。

表示	説明
OFF	無音状態が3秒以上続くと、自動でファイルを分割します。
▼	
30 min.	30分間隔でファイルを分割します。
▼	
15 min.	15分間隔でファイルを分割します。

3 確定する

[決定] を押す。

- 設定により無音状態が3秒以上続くと、その箇所でファイル分割が自動で行われますが、音源からのノイズなどによって、ファイル分割が行われない場合もあります。
- ラジオ放送の録音では無音が3秒以上続いても自動でファイル分割は行いません。分割したい場合は30minまたは15minを選択してください。

CD-TEXTの情報を付ける（TEXT COPY）

SD/USBへ録音するときにCD-TEXTの情報を、録音先のフォルダ名やファイル名にコピーするかを設定します。

1 "TEXT COPY"を選ぶ

[MULTI CONTROL ▲/▼]で選び、**[決定]** を押す。

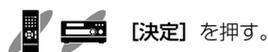
TEXT COPY
RELAY REC

2 情報を付けるかどうかを選ぶ

[MULTI CONTROL ▲/▼]を押す。

押すたびに表示が切り替わります。

表示	説明
OFF	CD-TEXT情報を付けません。
▼	
ON	CD-TEXT情報を付けます。

3 確定する

[決定] を押す。

- AMGデータベースでCDのタイトル情報を取得しているときは、CD-TEXTデータより優先して情報を付加します。

SD1からSD2へリレー録音する（RELAY REC）

iPod/D.AUDIO/TUNER/AUX/からSDへ録音するときに、SD1からSD2へ続けて録音するか、しないかを設定します。

1 "RELAY REC"を選ぶ

［MULTI CONTROL ▲/▼］で選び、［決定］を押す。

2 リレー録音するかどうかを選ぶ

［MULTI CONTROL ▲/▼］を押す。

押すたびに表示が切り替わります。

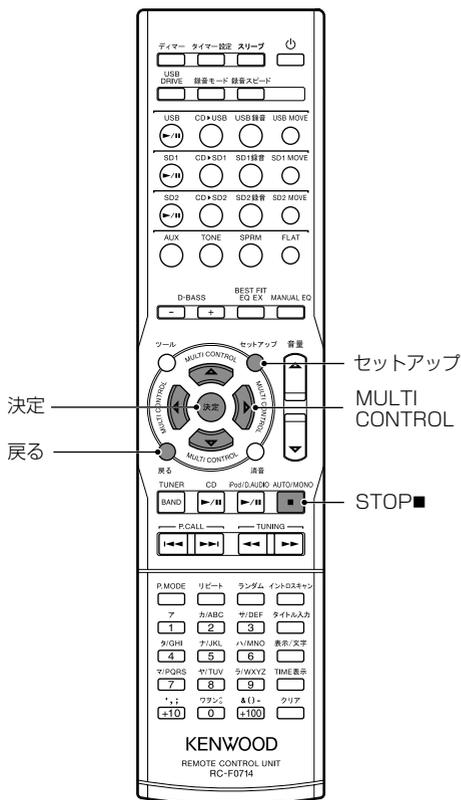
表示	説明
OFF	リレー録音を解除します。
▼	
ON	リレー録音します。"RELAY REC"が点灯します。

3 確定する

［決定］を押す。

- AMGデータベースをコピーしたSDカードをSD2スロットに挿入しているときは、別のSDカードに入れ替えてください。
- SD1からSD2に録音が切り替わる所では、音が途切れます。

セットアップから音質の設定をする

リモコンの[D-BASS]と同じ音質の設定を、リモコンまたは本体の［セットアップ］を使っても行うことができます。また、［セットアップ］からしか入れない設定項目も備えています。設定したい項目をこのボタンから行うと、設定項目を替えるだけで、一括して行うことができます。

1 セットアップメニューに入る

［セットアップ］を押す。

ディスプレイにカテゴリーが表示されます。

2 カテゴリーから"SOUND SETUP"を選ぶ

［MULTI CONTROL ▲/▼］で選び、［決定］を押す。

SOUND SETUP
EXIT

3 設定項目を選ぶ

［MULTI CONTROL ▲/▼］で選び、［決定］を押す。

TONE
MANUAL EQ

例）TONEを選んだ場合

4 各項目の詳細設定を行う

参照先ページの手順に従って続けて操作を行ってください。

■ 項目や設定を間違えたときには

［戻る］を押す。
一つ前の画面に戻ります。

■ セットアップメニューを終了するには

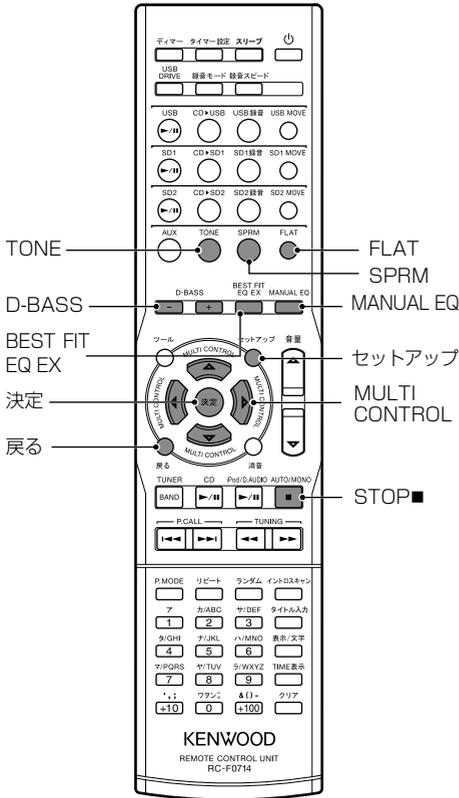
［セットアップ］または［STOP■］を押す。

[セットアップ]

カテゴリー	設定項目	設定概要	ページ
SYSTEM SETUP	SLEEP	スリープタイマーの設定をします。	74 ～
	DIMMER SET	ディスプレイの明るさを調整します。	
	SD FORMAT	SD カードをフォーマットします。	
	A.P.S.	オートパワーセーブ機能の ON/OFF を設定します。	
	TIME ADJUST	時計を合わせます。（曜日 / 時 / 分）	
	TIMER SETTING	指定した曜日、時間にラジオ放送の録音や曲の再生を予約・設定します。	
	RETURN	カテゴリー選択画面に戻ります。	
REC SETUP	REC MODE	音源ごとに録音モードを設定します。	86 ～
	O.T.E. SPEED	ワンタッチエディット録音の録音スピードを設定します。	
	REC INPUT	CD を SD/USB へ録音するときのデジタル / アナログの設定をします。	
	REC LEVEL	SD/USB/D.AUDIO への録音レベルを設定します。	
	AUTO DIVIDE	SD/USB へ録音するときに、ファイル分割（曲の区切り）を自動で行うか、手動で行うかを設定します。	
	DIVIDE TIME	ラジオ放送などを SD/USB へ録音するときに、自動でファイル分割（曲の区切り）を行う間隔を設定をします。	
	TEXT COPY	SD/USB へ CD を録音するときに CD-TEXT をつける設定をします。	
	RELAY REC	TUNER/AUX/iPod/D.AUDIO から SD へ録音するときに、SD1 から SD2 へ続けて録音するか、しないかを設定します。	
	RETURN	カテゴリー選択画面に戻ります。	
SOUND SETUP	D-BASS	低音域のレベルを調整します。	96
	TONE	低音（BASS）と高音域（TREBLE）のレベルを調整します。	97
	MANUAL EQ	7 つの音域ごとにレベルを調整し、お好みの設定を 3 つまで登録できます。	97
	SPRM	SPRM（サプリーム）の OFF/ON を設定します。	100
	BestFit EQ EX	BestFit EQ EX を設定します。	100
	HR SOUND *	HR SOUND のOFF / ONを設定します。	101
	BALANCE *	スピーカーの左右の音バランスを調整します。	101
	RETURN	カテゴリー選択画面に戻ります。	
EXIT		セットアップメニューを終了します。	

* [セットアップ] からのみの操作となります。

低音を強調する（D-BASS）

お好みに合わせて、低音域のレベルを0（オフ）～10の範囲で調整できます。

1 "D-BASS"を選ぶ

［MULTI CONTROL ▲/▼］で選び、［決定］を押す。

2 好みのレベルに調整する

［MULTI CONTROL ▲/▼］を押す。

一段階ごとにレベル調整できます。

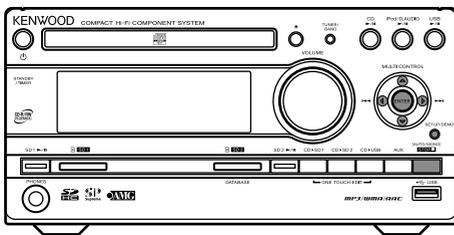
設定すると"D-BASS"が点灯します。

3 確定する

［決定］を押す。

- ［FLAT］を押すとD-BASSの最後の状態を保存して、設定をOFFにします。再度［FLAT］を押すと、もとの設定に戻ります。

リモコンの［D-BASS ＋/－］で設定するには

［D-BASS ＋/－］を押す。

低音と高音を強調する（TONE）

低音域（BASS）と高音域（TREBLE）の音量を、それぞれ－8dB～＋8dBの範囲で2dBごとに調整できます。

1 "TONE"を選ぶ

［MULTI CONTROL ▲/▼］で選び、［決定］を押す。

TONE
MANUAL EQ

2 調整したい音域を選んで、好みのレベルに調整する

音域を選択する場合

［MULTI CONTROL ◀/▶］で低音（BASS）または高音（TREBLE）を選ぶ。

レベル調整をする場合

［MULTI CONTROL ▲/▼］を押す。

例）低音（BASS）のレベルを"－2dB"にした場合

例）高音（TREBLE）のレベルを"＋6dB"にした場合

設定すると"TONE"が点灯します。

3 確定する

［決定］を押す。

- ［FLAT］を押すとTONEの最後の状態を保存して、設定をOFFにします。再度［FLAT］を押すと、もとの設定に戻ります。

リモコンの［TONE］で設定するには

［TONE］を押す。

押すたびにON/OFFが切り替わります。手順2 ～ 3の操作で設定を行います。

お好みの音質に設定する（MANUAL EQ）

7つの音域ごとにレベルを設定できます。3タイプの設定ができるので、お好みの音質を音楽のジャンルごとに使い分けられます。

1 "MANUAL EQ"を選ぶ

［MULTI CONTROL ▲/▼］で選び、**［決定］**を押す。

MANUAL EQ
SPRM

2 設定する番号を選ぶ

［MULTI CONTROL ▲/▼］で選び、**［決定］**を押す。

押すたびに表示が切り替わります。

USER 1 ― USER 1の設定
▼
USER 2 ― USER 2の設定
▼
USER 3 ― USER 3の設定
▼
RETURN ― "SOUND SETUP"の表示に戻ります。

3 調整したい音域（周波数）を選んで、好みのレベルに調整する

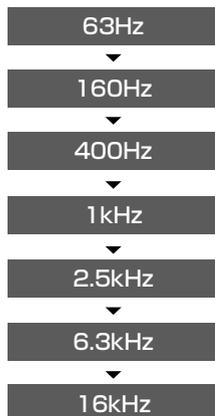
音域を選択する場合

［MULTI CONTROL ◀/▶］を押す。

選んだ音域のレベルバーが点滅します。
例）400Hzを選んだ場合

音域（周波数）

押すたびに表示が切り替わります。

63Hz
▼
160Hz
▼
400Hz
▼
1kHz
▼
2.5kHz
▼
6.3kHz
▼
16kHz

音域（周波数）については、「音作りのエッセンス一覧」をご覧ください。（99ページ）

レベル調整をする場合

［MULTI CONTROL ▲/▼］を押す。

レベルは－6dB～＋6dBの範囲で1dB ごとに変わります。

例）400Hzのレベルを**-6dB**にした場合

M-EQ TONE
D-BASS SPRM
WAV AAC WMA MP3

設定すると**"M-EQ"**が点灯します。

4 確定する

［決定］を押す。

- **［FLAT］**を押すとMANUAL EQの最後の状態を保存して、設定をOFFにします。再度**［FLAT］**を押すと、もとの設定に戻ります。
- MANUAL EQを設定するとBestFit EQ EXが解除されます。

リモコンの［MANUAL EQ］で設定するには

［MANUAL EQ］を押す。

押すたびに設定する番号が切り替わります。手順3 ～ 4の操作で設定を行います。

設定したお好みの音質（MANUAL EQ）に切り替える

1 設定した番号を選ぶ

［MANUAL EQ］を押す。

押すたびに切り替わります。

音作りのエッセンス一覧

低音 ↔ 高音

音域（周波数）	音作りのエッセンス
重低音域の調整（63Hz）	このレベルを上昇させるとベースやバスドラムのような低音域の楽器がどっしりとした安定感のある音として再生されます。また、重低音域が響きすぎるように感じられる場合は、適当と思われる所まで下降させます。
低音域の調整 (160Hz)	日本の建築様式では欧米の家屋に比べ密閉度が低いため、リスニングルームの共振点がこの周波帯にあり､低音が出すぎる感じになりやすいものです。したがって、リスニングルームの共振を防ぐために、この低音域を下降させることが多いようです。
中低音域の調整 (400Hz)	音楽の基礎となるこの音域は、音がやせているとか豊かだと感じられる所です。もの足りない音だと感じられる場合は、このレベルをわずかに上昇させると豊かな感じの音に仕上がります。
中音域の調整（1kHz）	この音域を調整すると、ボーカルが入っている曲では歌手の声が前に出たり、奥に引っ込むような感じになる、臨場感に影響を与えます。音の奥行きと深みに関係する帯域です。
中高音域の調整 (2.5kHz)	この周波帯域は、刺激の強い、金属的で硬い音として感じられる箇所です。調整具合によっては爽快さや明朗さが演出できますが、反面うるさい感じになることがあります。
高音域の調整 (6.3 kHz)	この周波帯域は、硬い感じ、柔らかい感じなど、音楽のイメージに影響を与えます。上昇させると弦楽器（バイオリンなど）や管楽器（フルート、ピッコロなど）が張りのある音になり、下降させるとおとなしい感じの音に仕上がります。
超高音域の調整 (16 kHz)	この周波帯域は、音の広がりや質に影響を与えます。上昇させると超高音域の楽器（トライアングル､シンバルなど）が快く響き､音が広がり繊細さが増します。

原音に近い音質を再現する（SPRM：Supreme サプリーム）

録音時の圧縮によって高音域が欠落してしまったオーディオファイルを再生するときに、ケンウッド独自の技術で音を最適化する機能です。

- SD1、SD2、USBの再生時に有効です。

1 "SPRM"を選ぶ

［MULTI CONTROL ▲/▼］で選び、［決定］を押す。

SPRM
BestFit EQ EX

ONにすると"SPRM"が点灯します。

2 ON/OFFを切り替える

［MULTI CONTROL ▲/▼］で選び、［決定］を押す。

SPRM　　ON

- リモコン操作の場合は、音源がCD、SD、USBのときに設定することができます。

リモコンの［SPRM］で設定するには

［SPRM］を押す。

押すたびにON/OFFが切り替わります。

ジャンルに合わせて最適な音質を再現する（BestFit EQ EX）

再生するジャンルに合わせて最適な音質を再現します。

1 "BestFit EQ EX"を選ぶ

［MULTI CONTROL ▲/▼］で選び、［決定］を押す。

BestFit EQ EX
HR SOUND

ONにすると"((•))"が点灯します。

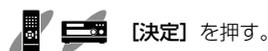
2 既存の調整値を選ぶ

［MULTI CONTROL ▲/▼］を押す。

押すたびに表示が切り替わります。

表示	説明
OFF	BestFit EQ EXを解除します。
Vocal High	女性ボーカルの声を明瞭に再生します。
Vocal Low	男性ボーカルの声を明瞭に再生します。
Radio mode	ラジオ放送のパーソナリティーの声などを明瞭に再生します。

3 確定する

［決定］を押す。

- ［FLAT］を押すとBestFit EQ EXの最後の状態を保存して、設定をOFFにします。再度［FLAT］を押すと、もとの設定に戻ります。
- BestFit EQ EXを設定するとMANUAL EQが解除されます。

リモコンの［BEST FIT EQ EX］で設定するには

［BEST FIT EQ EX］を押す。

押すたびに既存の調整値が切り替わります。

高音質で再生する（HR SOUND）

オーディオファイルだけでなくCDの原音も、さらに歪みなく高音質再生するケンウッド独自の音質向上技術です。

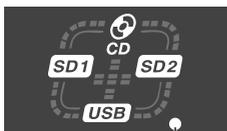
- HR SOUND以外の音質設定がOFFのときに有効です。

1 "HR SOUND"を選ぶ

［MULTI CONTROL ▲/▼］で選び、［決定］を押す。

HR SOUND
BALANCE

2 ON/OFFを切り替える

［MULTI CONTROL ▲/▼］で選び、［決定］を押す。

設定すると"●"が点灯します。

スピーカーの左右バランスを設定する（BALANCE）

左右の音のバランスを調整します。

1 "BALANCE"を選ぶ

［MULTI CONTROL ▲/▼］で選び、［決定］を押す。

BALANCE
RETURN

2 バランス位置を調整する

［MULTI CONTROL ◀/▶］を押す。

BALANCE
L--▮-+-----R

3 確定する

［決定］を押す。

調整された周波数特性を原音に戻す（FLAT）

D-BASS、TONE、MANUAL EQ、SPRM、BestFit EQ EXの調整値をすべてフラットにして、原音をそのまま再生します。

1 [FLAT]を押す

［FLAT］を押す。

押すたびにON/OFFが切り替わります。

ONにすると"TONE"、"D-BASS"などが点灯していれば消灯します。

- FLAT（ON）設定時にD-BASS、TONE、MANUAL EQ、SPRM、BestFit EQ EXの設定に変更がない場合、再度FLATをOFFにすると、設定済みのもとの音質に戻ります。

知っておいていただきたいこと

本機で使えるメディア

メディア		本書でのマーク	説　明
USB	USB フラッシュメモリー		・**[USB]** 端子には、USB フラッシュメモリーや USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤー以外の機器を接続しないでください。万一、他の機器を接続して発生した故障や破損、データの損失などについては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。 使用可能な USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーの情報は当社ホームページをご覧ください。 http://www.kenwood.co.jp/faq/
	USB マスストレージクラス対応デジタルオーディオプレーヤー		
SD	SD/ SDHCカード		・128MB ～ 32GB の SD/SDHC カードが使用できます。転送速度 Class4 以上の SD/SDHC カードを推奨します。使用可能な SD/SDHC カードの情報は当社ホームページをご覧ください。 http://www.kenwood.co.jp/faq/ ・miniSD/microSD カードは専用アダプターが必要です。 ・マルチメディアカード（MMC）は使用できません。
	miniSD™ カード		
	micro SD/ SDHC カード		
CD	市販の CD		・コピーコントロール付き CD など、CD の規格に準拠していないディスクは再生できない場合があります。 ・書き込み時にファイナライズ処理をする必要があります。 ・CD-ROM、CD-R、CD-RW ディスクを記録した機器や記録状態、また使用している CD-ROM、CD-R、CD-RW の種類によっては本機で再生できない場合があります。
	CD-DA のフォーマットで記録した CD-R/CD-RW		
	MP3/WMA/AAC を記録した CD-ROM/CD-R/CD-RW		

著作権について

- 放送やCD、レコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したものを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

ディスクに書き込むときのご注意

- パケットライト方式やUDF（Universal Disc Format）方式で記録されたディスクは再生できません。
- ディスク書き込み時は、必ずセッションクローズまたはファイナライズしてください。セッションクローズまたはファイナライズしていないディスクは、正しく再生できない場合があります。
- 書き込みソフトの仕様によっては、書き込まれたフォルダ名やファイル名が正しく表示されない場合があります。
- マルチセッションディスクや、フォルダを多く含んでいるディスクを再生する場合、再生が始まるまで通常のディスクより時間がかかることがあります。
- 同一のディスクに、オーディオファイルとCD（CD-DAフォーマット）を書き込むと正しく再生できません。
- オーディオファイルをディスクに書き込む前に、書き込みをするパソコンで、ファイルが正しく再生されることを確認してください。書き込みが終わったら、書き込まれたファイルが正しく再生されることを確認してください。
- オーディオファイルのファイル名には正しい拡張子（mp3, wma, m4a）を付けてください。拡張子が付いていないファイルは再生されません。また、オーディオファイルでないものには拡張子（mp3, wma, m4a)を付けないでください。拡張子については、「再生できるオーディオファイル」をご覧ください。（104ページ）

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送または移動する場合は下記の操作を行ってください。

❶USB機器などの外部機器、SDカード、CDを取り出します。

❷**[SD1►/II]**、**[SD2►/II]**、**[CD►/II]**を押し、"**カード ガ アリマセン**" 、"NO DISC"がディスプレイに表示されるのを確認します。

❸数秒間待ち、電源をOFFにします。

❹その他外部機器が接続されている場合は、電源がOFFになっていることを確認してからケーブルを抜いてください。

メモリーバックアップについて

電源プラグをコンセントから抜いても各種設定は約1日間保持されます。
保持される内容は以下の設定です。

音質・機器設定関係

- 入力切り替え
- 音量の設定
- バランスの設定
- インプットレベルの設定
- D-BASS、MANUAL EQ、SPRM機能の設定
- タイマーの設定内容
- DIMMER設定
- A.P.S.設定

チューナー関係

- プリセット放送局
- 選局方法の設定（オート、マニュアル選局）
- 受信バンド
- 周波数

録音設定関係

- 録音モード
- 録音スピード
- TEXT COPYの設定
- 録音レベルの設定
- DIVIDE TIMEの設定
- AUTO DIVIDE設定

再生できるオーディオファイル

本機は以下のオーディオファイルが記録されたCD-ROM、CD-R、CD-RW、SD、USB機器を再生できます。

MP3ファイル

ファイルフォーマット：MPEG 1 Audio Layer 3/ MPEG 2 Audio Layer 3/ MPEG 2 Audio Layer 3 Lower sampling rate (MPEG2.5)
拡張子：.mp3
サンプリング周波数：
MPEG 1 Audio Layer 3：32 kHz/ 44.1 kHz/ 48 kHz
MPEG 2 Audio Layer 3：16 kHz/ 22.05 kHz/ 24 kHz
MPEG 2.5：8 kHz/ 11.025 kHz/ 12 kHz
ビットレート：
MPEG 1 Audio Layer 3： 32 kbps ～ 320 kbps
MPEG 2 Audio Layer 3：8 kbps ～ 160 kbps
MPEG 2.5：8 kbps ～ 160 kbps

WMAファイル

ファイルフォーマット：
Windows Media™ Audio準拠
拡張子：.wma
サンプリング周波数：32 kHz/ 44.1 kHz/ 48 kHz
ビットレート：48 kbps ～ 192 kbps

- Windows Media™ Player 9以降の、以下の機能を使用して作成したファイルは再生できません。
  - WMA Professional
  - WMA Lossless
  - WMA Voice

WAVファイル

ファイルフォーマット：リニアPCM
拡張子：.wav
サンプリング周波数：44.1 kHz/ 48 kHz
ビットレート：1411 kbps

AACファイル

ファイルフォーマット：MPEG-4 AAC（iTunes 4.1～7.7で作成されたもの）
拡張子：.m4a
サンプリング周波数：16 kHz/ 22.05 kHz/ 24 kHz/ 32 kHz/ 44.1 kHz/ 48 kHz
ビットレート：32 kbps ～ 320 kbps

- Apple™ ロスレス・エンコーダで作成されたファイルは、再生できません。

ディスクフォーマット

ISO 9660 Level 1
ISO 9660 Level 2
Joliet
Romeo

SD/USB対応ファイルシステム

FAT16
FAT32

ファイル数制限

最大フォルダ/ファイル数：合計1000
最大フォルダ数：200
1フォルダ内のファイル数：255

表示できる最大文字数

フォルダ名：64文字
ファイル名：64文字（拡張子含む）
タグ表示（Title/Album/Artist）
ID3 v1.0/ 1.1：30文字
ID3 v2.2/ 2.3/ 2.4：128文字

- 本機が表示できる文字種は、カタカナと英数字です。表示できない文字は"＊"が表示されます。

その他の注意事項

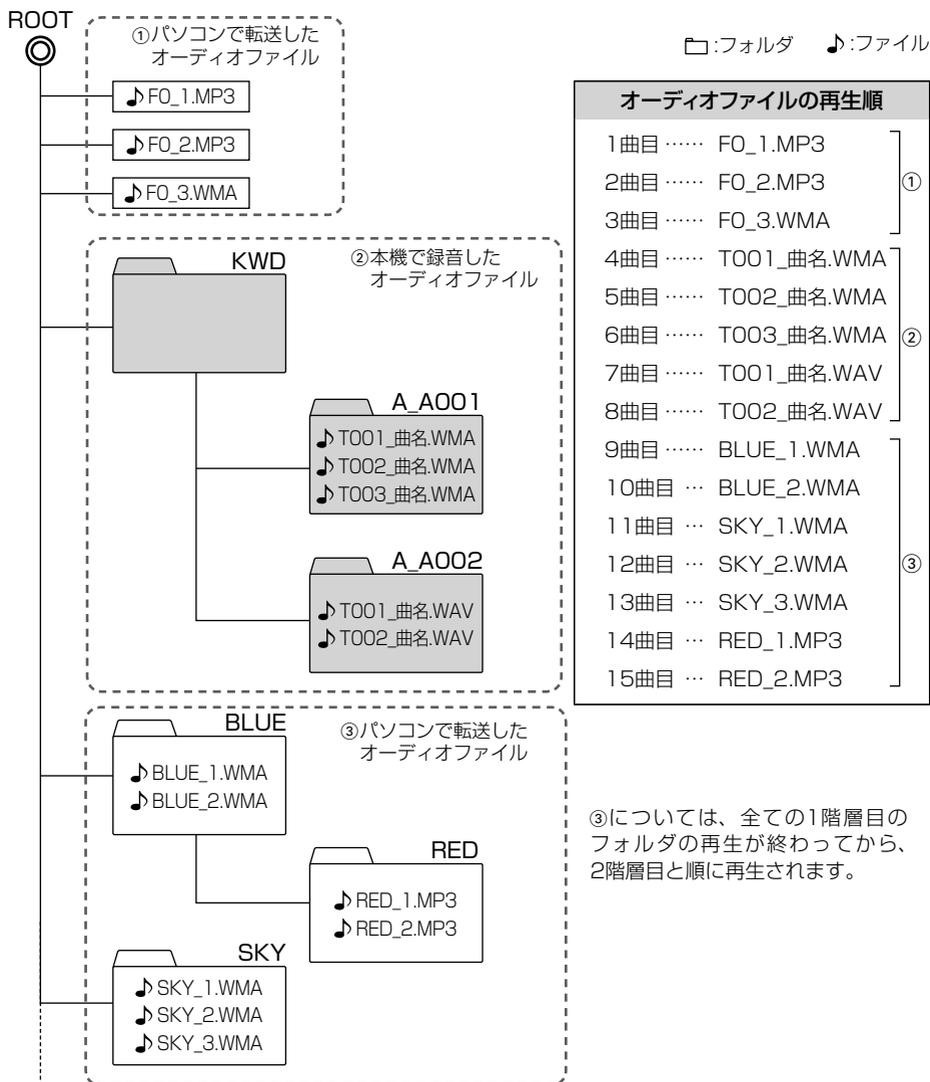
- 前記の規格に準拠したオーディオファイルでも、ディスクの特性、記録状態などにより、再生できない場合があります。
- エンコードしたソフトの仕様や設定によっては、再生できない場合があります。
- DRM（デジタル著作権管理）付きファイルは、再生できません。
- VBR（Variable Bit Rate；可変ビットレート）でエンコードされたオーディオファイルは、対応ビットレートの範囲外になることがあります。このような対応範囲外のビットレートのオーディオファイルは再生できません。

フォルダやオーディオファイルの再生順について

次の図は、本機がフォルダやオーディオファイルを再生する順番を表したものです。オーディオファイルは、①、②、③の順番で再生されます。①と③はパソコンから書き込んだり、移動した順に再生されます。本機で録音したオーディオファイル②は本機で録音した順番で再生されます。

フォルダ構成例

オーディオファイルの再生順		
1曲目 ……	F0_1.MP3	①
2曲目 ……	F0_2.MP3	
3曲目 ……	F0_3.WMA	
4曲目 ……	T001_曲名.WMA	②
5曲目 ……	T002_曲名.WMA	
6曲目 ……	T003_曲名.WMA	
7曲目 ……	T001_曲名.WAV	
8曲目 ……	T002_曲名.WAV	
9曲目 ……	BLUE_1.WMA	③
10曲目 …	BLUE_2.WMA	
11曲目 …	SKY_1.WMA	
12曲目 …	SKY_2.WMA	
13曲目 …	SKY_3.WMA	
14曲目 …	RED_1.MP3	
15曲目 …	RED_2.MP3	

③については、全ての1階層目のフォルダの再生が終わってから、2階層目と順に再生されます。

CDの取り扱い

取り扱い上のお願い

再生面にふれないように持ってください。

本機で使用できるディスクについて

- CD（12cm、8cm）、CD-ROM、CD-R、CD-RW、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。
- 8cm CDアダプターは使用できません。

CD-ROM/CD-R/CD-RWディスクについて

レーベル面に印刷可能なCD-ROM、CD-R、CD-RWを使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取り出しができなくなることがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。

CDディスクのご注意

COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったディスクをご使用ください。

このマークが入っていないディスクは正しく再生できない場合があります。

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。

円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

USB機器の取り扱い

取り扱い上のお願い

- 必ず各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機にUSB機器は付属していません。
- 本体前面部の**[USB]**端子はUSB2.0（Full speed）対応です。
- USBハブを介してUSB機器を使用することはできません。
- USB機器の使用状況によっては、保存してある内容が失われる場合があります。保存してある内容が失われたことによる損害について、当社は一切その責任を負いませんので、ご了承ください。

使用できるUSB機器について

使用できるUSB機器の種類や使用方法には以下のような制限があります。

- USBマスストレージクラス対応であること。使用するUSB機器がUSBマスストレージクラスに対応しているかどうかは、販売店にお問い合わせください。
- 最大消費電流が「500mA」以下であること。

上記以外のUSB機器を使用するとファイルが正常に再生できない場合があります。また上記規格に準拠したUSB機器でも、種類や状態によっては正常に再生しない場合があります。

iPodの取り扱い

取り扱い上のお願い

- 必ずiPodに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機にiPodは付属していません。
- iPodの使用状況によっては、保存してある内容が失われる場合があります。保存してある内容が失われたことによる損害について、当社は一切その責任を負いませんので、ご了承ください。

使用できるiPodについて

- 本機またはリモコンでiPodをコントロールするには、専用のiPod Dock PAD-iP7（別売）が必要です。接続できるiPodについてはPAD-iP7の取扱説明書をご覧ください。

D.AUDIOの取り扱い

取り扱い上のお願い

- 必ずケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機にケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーは付属していません。
- ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの使用状況によっては、保存してある内容が失われる場合があります。保存してある内容が失われたことによる損害について、当社は一切その責任を負いませんので、ご了承ください。

使用できるD.AUDIOについて

- 本機またはリモコンでケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーをコントロールするには、別売のPNC-150（ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー専用ケーブル）が必要です。

接続可能ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー	
HDD オーディオ プレーヤー	メモリーオーディオ プレーヤー / レコーダー
HD60GD9/ HD20GA7/ HD30GA9/ HD30GB9/ HD10GB7	MGR-A7/MG-E502/ MG-E504/M2GD55/ M2GD50/M1GD55/ M1GD50/M1GB5/ M512B5/M1GC7/ M2GC7/M512C5

2008年8月現在

SDカードの取り扱い

取り扱い上のお願い

- 必ずSDカードに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機にSDカードは付属していません。
- SDカードの使用状況によっては、保存してある内容が失われる場合があります。保存してある内容が失われたことによる損害について、当社は一切その責任を負いませんので、ご了承ください。

SDカードを破棄/譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイルの管理情報が変更されるだけで、SDカード内のデータは完全に消去されません。廃棄/譲渡の際は、SDカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってSDカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。SDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

SDカード（書き込み禁止スイッチ）

SDカードには、データの書き込みを禁止するスイッチがあります。大切なデータを保護するときは「LOCK」にします。新たに録音・転送・編集・消去するときは解除してください。

書き込み禁止

解除

メッセージ表示一覧

ディスプレイ表示	意　味
AUTO PRESET	放送局を自動で記憶させるオートプリセット中です。
CAN'T CLEAR	TUNER でプリセットチャンネル /P40 を消そうとした。 （プリセット P40 は消せません）
CHECK DISC	• TOC＊[1] 情報を読むことができない。 • ディスクが正しく置かれていない。
DB ケンサクエラー	CD データベースの検索が失敗した。
DB ケンサク デキマセン	DB 検索に時間がかかりタイムアウトした。
DB ケンサクヲ シュウリョウシマス	DB タイトル検索が強制終了された。
FORMAT チュウデス KEYLOCK サレテマス	フォーマット中にボタンが押された。
Lock サレテマス	SD カードが書込み禁止になっている。
NO DISC	CD ディスクが入っていない。
Normal　Speed ニ　キリカエテクダサイ	• USB 機器に 4 倍速 PCM 録音のとき。 • SD/USB 機器への書き込みが 4 倍速スピードでできないとき。
PGM FULL	プログラム再生で 33 曲目を設定しようとした。 （32 曲までプログラムできます）
RANDOM MODE	CD のランダム再生中にワンタッチエディット録音をしようとした。 （ランダム再生を解除してください）
SCMS	デジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとした。 （デジタル録音はできません。アナログに切り替えてください）
カード ガ アリマセン	SD カードが挿入されていない。
コウホガ アリマセン	CD データベース検索エラーです。（DB に候補なし）
サイセイ デキマセン	著作権保護ファイルを再生しようとした。
セツゾク　カクニンチュウ	USB 機器が接続されていない。
セツゾク サレテイマセン	USB 機器が接続されていない状態で録音や MOVE をしようとした。
タイトル ガイトウナシ	CD データベース検索でタイトルが一つも該当が無かった。
タイトル シュトクエラー	複数タイトルヒットしたがタイトル取得が失敗した。
タイトルガ　セッテイサレテイマセン	AMG データベースのタイトル情報を確定していない状態で、ワンタッチエディット録音を開始しようとした。
タイマーセット サレマシタ	プログラムタイマーがセットされて電源が切れた。
タイマーセット オワリ	プログラムタイマー / スリープタイマーが終了して電源が切れた。

ディスプレイ表示	意　味
データーベース エラー	DB タイトル情報を確定する際にエラーが発生した。
データーベースガ　ソンザイシマス	AMG データベースが入った SD カードをフォーマットしようとした。
データーベースカードヲ SD2 ニサシテクダサイ	AMG データベースが入った SD カードを SD スロット 1 へ挿した。
テンソウエラー ***　ヲカクニン(*** はメディア名称)	MOVE 中にエラーが発生したとき、SD/USB が書き込み禁止になっている。
テンソウチュウデス KEYLOCK サレテイマス	MOVE 中にボタンが押された。
トケイセッテイ カクニン	タイマーセットされているが時計が設定されていない。
ファイルガ アリマセン	本機で読み込めるファイルがない。
ヘンシュウエラー	SD/USB の編集中にエラーとなった。
ヘンシュウチュウデス KEYLOCK サレテイマス	編集中にボタンが押された。
ヘンシュウ デキマセン	SD/USB の編集ができない。
ヨミコミ デキマセン	SD/USB のファイルが読めない。
ロクオン デキマセン	録音を開始したときにメディアが読み込めないなどの理由で録音開始できなかった。
*** フォルダー NO. ガイッパイデス(*** はメディア名称)	KWD 内のフォルダの追番が A_Z999 になった。
*** ヲヌカナイデクダサイ(*** はメディア名称)	録音 /MOVE/FORMAT 中です。
*** ヲカクニン ヨウリョウガ アリマセン(*** はメディア名称)	録音しようとしてメディアの容量が無かった。

＊1：CDには音声信号以外にTOC（Table of Contents）という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書きなおすことのできないものが入っています。

故障かな？と思ったら

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

アンプ部・スピーカー部

症　状	処　置	参照ページ
音が出ない	• コードを正しく接続しなおす。 • 音量を上げる。 • 消音を OFF にする。 • ヘッドホンが差し込まれているときはプラグを抜く。	14 24 24 17
スタンバイ・タイマーインジケーターの表示が赤く点滅し、音が出ない	• スピーカーコードがショートしている。電源コードを抜いてスピーカーコードを接続しなおす。 • 内部的な不具合が発生したと考えられる。本体の電源を OFF にし、電源プラグを抜いて修理を依頼する。	14 —
ヘッドホンから音が出ない	• ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。 • 音量を上げる。 • 消音を OFF にする。	17 24
スピーカーの片側から音が出ない	• コードを正しく接続しなおす。	14
時刻が表示されない	• 時刻を合わせる。	79
タイマーが作動しない	• 時刻を合わせる。 • プログラムタイマーの開始時刻と終了時刻を設定する。	79 80

チューナー部

症　状	処　置	参照ページ
放送局が受信できない	• アンテナを接続する。 • 放送バンド（受信モード）を合わせる。 • 受信したい放送局の周波数に合わせる。	14 46 46
雑音が入る	• 外部アンテナを道路から離して設置する。 • 本機の周辺にある電気器具の電源を切ってみる。 • テレビから離す。	—
オートプリセット後、**[P.CALL]** を押しても受信できない	• もう一度オートプリセットする。 • 受信できる周波数の放送局をマニュアルプリセットする。	48 50

リモコン部

症　状	処　置	参照ページ
リモコンで操作できない	• 新しい電池に交換する。 • 操作範囲内で操作する。	13

CD部

症　状	処　置	参照ページ
CD を入れても再生できない	• レーベル面を上にして、正しく入れる。 • ディスクの汚れをふきとる。 • ディスク表面に付いた露を蒸発させる。	25 114 114
音声が出ない	• **[CD►/II]** を押す。 • ディスクの汚れをふきとる。	30 114
音とびがする	• オーディオファイルが壊れている場合は再生できない。 • 本機で再生できるオーディオファイルか確認する。	104
再生できないオーディオファイルがある	• オーディオファイルが壊れている場合は再生できない。 • 本機で再生できるオーディオファイルか確認する。	104
再生するまでに時間がかかる	• フォルダ数やファイル数が多いときは再生するまでに時間がかかる場合がある。	—
TAG 情報が正しく表示されない	• 本機で表示できる TAG 情報を確認する。	27
[⏏] を押しても "**LOCKED**" と表示され、ディスクが出てこない	• 電源プラグをコンセントから抜き、**[⏻]** を押しながら差し込みなおす。	112

SD部

症　状	処　置	参照ページ
SD カードを入れても音が出ない	• SD カードを正しく入れる。 • オーディオファイルが入っている SD カードを入れる。	25
録音が途中で止まる	• SD カードに録音可能な空き容量がないので、不要なオーディオファイルを消す。消したくない場合は、録音用の SD カードを入れ替える。	68
録音または編集ができない	• 書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっている場合は、書き込み禁止を解除する。 • 録音可能な SD カードに取り替える。 • 録音したい音源に切り替える。	107 — —
録音後、一部のフォルダが見えなくなる	• フォルダ数が 200 に達しているので、不要なフォルダを消す。	68
フォルダを削除できない	• オーディオファイル以外のファイルが入っている可能性があるため、パソコンでも SD カードを確認する。	—
SD カード内のすべてのフォルダ、ファイルが見えない	• SD カードのデータが破損、または本機で認識できないファイルが入っている可能性がある。	—

USB部

症　状	処　置	参照ページ
USB フラッシュメモリーや USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーを接続しても音が出ない	・USB フラッシュメモリーを正しく差し込む。 ・USB ケーブルを正しく接続する。 ・USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーの電源が入っているか確認する。	25
ドライブ切り替えをしても "NOT FOUND" とエラー表示が出る	・オーディオファイルが入っている SD カードを入れる。 ・SD カードを入れる。	39
フォルダを削除できない	・オーディオファイル以外のファイルが入っている可能性があるため、パソコンでも USB フラッシュメモリーまたは USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーを確認する。	—

iPod/D.AUDIO端子に接続した機器

症　状	処　置	参照ページ
ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーがリモコン / 本体で操作できない	・専用接続ケーブル PNC-150（別売）で接続する。 ・対応モデルかどうか確認する。	16 107

本機をリセットするには

症　状	ここをご確認ください・処置
本機が誤作動する（操作できない、表示部の誤表示など）	電源が ON のときの接続コードの抜き差しや、外部からの要因により本機が誤作動することがあります。次の手順に従い、本機をリセットしてください。リセットすると、各種の記憶内容は消滅し、お買い上げ時の状態となります。 ❶ 電源プラグをコンセントから抜きます。 ❷ 本体の [⏻] を押しながら、電源プラグを差し込みなおします。 （"INITIALIZE" と表示され本機がリセットされます。）

用語集

用　語	意　味
AAC	正式名「Advanced Audio Coding」の略称です。デジタル放送などに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。
CD-DA	CD のこと。CD-DA ディスクは一般的に「CD」と呼ばれています。
CD-TEXT	ディスク名、アーティスト名、曲名等の文字情報が記録された CD の呼称です。
MP3	独 Fraunhofer IIS が開発した音声圧縮方式のひとつで、人間の聞き取りにくい部分のデータを間引くことによって高い圧縮率を得ることができ、CD 並みの音質を保ったまま約 1/11（128kbps）に圧縮することができます。
SD メモリーカード Class2 Class4 Class6	SD および SDHC メモリーカードのデータ読み書き速度の規格。Class 2、4、6 の 3 段階が規格化されており、読み書き時のデータ転送速度がそれぞれ 2MB/s、4MB/s、6MB/s 以上であることが保証されています。音楽データなど連続的にデータを書き込むときは、カードの対応するデータ転送速度が一定以上であることが必要です。本機では、Class4 以上を推奨します。
Supreme（サプリーム）	SD カードや USB 機器に収録されたオーディオファイルを、原音に限りなく近い音質で再現するオリジナルの帯域補間技術。圧縮により失われた高音域を独自のアルゴリズムにより推定、補間することにより、自然でリアルな音楽再生を実現するケンウッド独自の音質向上技術です。
USB	パソコンと周辺機器を接続するインターフェースの規格です。本機は USB 1.1、2.0 に対応しています。
USB ハブ	複数の USB 機器を同時に接続するためのアダプター。
USB マスストレージクラス	USB 機器をパソコンで制御するための規格。またパソコンに接続した USB 機器が、パソコン側から外部記憶装置として認識されること。
VBR（可変ビットレート）	音楽の情報量に合わせて、ビットレートを変化させて割り当てる方式。
WAV	Windows の標準的な非圧縮音声形式です。
WMA	米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media ™ Audio」の略称です。
サンプリング周波数	アナログ信号からデジタル信号への変換を 1 秒間に何回行うかを示す数値。CD の場合は 44.1kHz。一般的にサンプリング周波数が高いほど高音質となります。
タグ情報	タイトル名、アーティスト名、アルバム名、ジャンルなど、ファイルに書き込まれている情報です。
ビットレート	1 秒間にどのくらいの情報量があるかを示す数値。ビットレートが高いほど高音質となります。
リッピング	CD などのデジタルデータをパソコンに取り込むことです。

保管とお手入れ

本機の保管とお手入れ

次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所。
- 湿気やほこりの多い場所。
- 暖房器具の熱が直接当たる場所。

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

汚れたら

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコール、接点復活剤などは変色、変形の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

CDディスクの保管とお手入れ

保管するときは

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

汚れたら

- ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかないでください。
- ディスクアクセサリー（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）およびレンズクリーナーは使用しないでください。

その他お守りいただきたいこと

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かないでください。
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているCDは使用しないでください。
- 紙やシール、ラベルを貼らないでください。

SDカードの保管とお手入れ

保管するときは

- 必ずケースに収納して保管してください。
- 極端に温度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

汚れたら

- やわらかい布などで、軽くふきとってください。
- シンナー、ベンジン、アルコールでふかないでください。

その他お守りいただきたいこと

- 分解や改造をしないでください。
- 貼られているラベルをはがさないでください。
- 新たにラベルやシールを貼らないでください。
- 裏面の金属端子部を手や金属で触れないでください。

USB機器の保管とお手入れ

必ず各製品に付属の取扱説明書をご覧ください。

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書

製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。(お問い合わせ先は、「ケンウッド全国サービス網」をご覧ください。)

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に従ってお調べいただき、なお異常がある時は製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しております。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。

付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンターが修理をさせていただきます。

修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理/持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号(Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

技術料:

製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。

部品代:

修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料:

製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

送　料:

郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

ケンウッド全国サービス網

修理などアフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービスセンターへお申しつけください。

2008年8月現在

北海道			
札幌サービスセンター	〠 007-0834	札幌市東区北34条東14-1-23	☎ (011) 743-7740
東北			
仙台サービスセンター	〠 984-0011	仙台市若林区六丁の目西町8-1（斎喜センタービル）	☎ (022) 288-3538
関東・信越			
さいたまサービスセンター	〠 330-0801	さいたま市大宮区土手町1-2(JA 共済埼玉ビル1F)	☎ (048) 647-6818
千葉サービスセンター	〠 277-0081	柏市富里1-2-1	☎ (04) 7163-1441
横浜サービスセンター	〠 226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎ (045) 939-6242
新潟サービスセンター	〠 950-0923	新潟市中央区姥ケ山1-5-37	☎ (025) 287-7736
目黒サービスセンター	〠 153-0042	目黒区青葉台3-17-9	
(修理持込専用窓口) 電話でのお問合せはカスタマーサポートセンターにて承ります。			
中部・甲州			
名古屋サービスセンター	〠 462-0861	名古屋市北区辻本通1-11	☎ (052) 917-2550
静岡サービスセンター	〠 420-0816	静岡市葵区沓谷5-61-1	☎ (054) 262-8700
金沢サービスセンター	〠 920-0036	金沢市元菊町21-87	☎ (076) 265-5045
近畿・四国			
大阪サービスセンター	〠 532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	☎ (06) 6394-8075
高松サービスセンター	〠 760-0068	高松市松島町3-1	☎ (087) 835-2413
中国			
広島サービスセンター	〠 731-0137	広島市安佐南区山本1-8-23	☎ (082) 832-2210
九州			
福岡サービスセンター	〠 815-0035	福岡市南区向野2-8-18	☎ (092) 551-9755
鹿児島サービスセンター	〠 890-0063	鹿児島市鴨池2-15-10(パレス鴨池1F)	☎ (099) 251-6347
沖縄サービスセンター	〠 901-2101	浦添市西原4-36-17(株)物流2F	☎ (098) 874-9010

■ サービスセンターの営業時間のご案内

受付時間　10:00～18:00（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）
（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。）

カスタマーサポートセンター

■ 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

ナビダイヤル 0570-010-114（一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です）
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-933-5133　　FAX 045-933-5553
受付時間　月曜～金曜　9:30 ～ 18:00
土曜　　9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

住所 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2

商標など

この製品のＡＭＧデータベースＣＤを使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

Macrovision Flow-Downライセンス条項（使用条件）

この応用ソフトは、Macrovision Corporation（以下「Macrovision」）のソフトウエアと技術からなる。Macrovisionのソフトウエアと技術（以下纏めて「AMG技術」）は、本件エンドユーザーに、Macrovisionのサーバー（以下「AMGサーバー」）にある、Macrovisionの資産であるデータベース（以下「AMGデータベース」）から、インターネット等を通じて、音楽関連データ（以下「AMGデータ」）アクセスすること、及びその他の機能の利用を許可するものである。貴殿は、この応用ソフトの本件エンドユーザー用として設定された機能によってのみ、AMGデータにアクセスし、これを使用することが出来ます。

貴殿は、貴殿が、貴殿自身の個人的で非営利の目的においてのみ、AMGデータ、AMG技術、及びAMGサーバーの使用をすることに、合意します。貴殿は、AMGデータを、第三者に譲渡、複製、移転、若しくは送信しないことに、合意します。貴殿が、AMGデータもしくはその一部を、この応用ソフト経由以外の方法で回収または再送信しないことに合意します。貴殿は、本書に明記して許可される場合を除き、AMGデータ、AMG技術、AMGデータベース、若しくはAMGサーバーを使用あるいは利用しないことに合意します。

貴殿は、貴殿がこれらの制限に違反した場合、貴殿の非独占的な、AMGデータベースへのアクセスと、AMGデータ、AMG技術、及びAMGサーバーの使用をするライセンスが、終了することに合意します。貴殿のライセンスが終了した場合は、貴殿は、AMGデータ、AMG技術、及びAMGサーバーの使用を全て取りやめることに同意します。Macrovisionは、AMGデータ、AMG技術、及びAMGサーバーについてのあらゆる権利、並びに全ての所有権を保持します。貴殿は、Macrovisionが、自らの名前で、貴殿に対して直接、本契約に基づいて、その権利を行使することが出来ることに、合意します。

Macrovisionは、Macrovisionが必要と看做すあらゆる理由のために、AMGデータベースからデータを消去し、あるいはデータの範疇を変更する権利を保持します。AMG技術、あるいはAMGサーバーに誤作動が無いこと、あるいはAMG技術、あるいはAMGサーバーの機能が中断しないことは、保証されません。Macrovisionは、Macrovisionが将来において提供することを選択する可能性のある、新規に更新された、あるいは付加的なデータ·タイプあるいはカテゴリを、貴殿に提供する義務を負わず、かつ、何時でも自由にサーバーの接続を停止します。

貴殿が本件エンドユーザーとして、AMGデータベースに付加されるべき、何らかの情報、あるいは独創的著作物（以下「ユーザー提供データ」）を提供する範囲において、貴殿は、貴殿がかかる著作物の唯一の著作権者であることを確認及び保証し、かつ、AMGデータベースの一部として、かかる著作物の著作権を登録する権利を含め、それに対するあらゆる著作権法上の権利を、Macrovisionに譲渡することに、ここに合意します。貴殿は、貴殿によるユーザー提供データは、個人データまたは個人を特定可能なデータを含まず、AMGデータベースには存在しない音楽アルバムおよび関連データのみに限定されることを、ここに合意します。貴殿は、ユーザー提供データの提出・送信にあたって、貴殿は、貴殿によるユーザー提供データに対応する楽曲および/またはアルバムは商業的に入手可能であり、貴殿がそのユーザー提供データを送信することが合法的に許可されていることを、ここに保証します。

AMG技術と、AMGデータの各項目は、貴殿に「現状有姿」での使用が許諾されます。Macrovisionは、AMGデータとAMGサーバーの正確性について、明示と黙示とを問わず、いかなる確認も保証もしません。Macrovisionは、黙示の市場価値の保証、特定の目的への適合性、権原及び非侵害性等を含め、全ての明示又は黙示の保証を否認します。Macrovisionは、AMG技術、あるいはAMGサーバーを、貴殿が使用することにより得られる結果を、保証するものではありません。Macrovisionは、貴殿、若しくは第三者に対し、貴殿がAMGデータ、AMG技術その他を使用することにより発生する、いかなる重大な、あるいは付随的な損害、あるいはいかなる逸失利益または収益の減少についても、責任を負いません。

AppleおよびiPodは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の登録商標です。

iTunesは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の登録商標です。

Supremeは、株式会社ケンウッドの商標です。

SDHC ロゴは商標です。

Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、® マークは明記していません。

定格

本体部（RD-UDE77）

[アンプ部]

実用最大出力………… 20 W + 20 W（JEITA 6 Ω）
全高調波歪率…………………………………… 0.020 %
（1kHz、10W、6 Ω、30 k Hz　LPF時)
グラフィックイコライザ特性
調整中心周波数
…… 63/160/400/1 k /2.5 k /6.3 k /16 k (Hz)
可変範囲 ……………………………………… ±6.0 dB
D.BASS(+10)　………………… +9.0 dB (50 Hz)
入力端子（感度／インピーダンス）
LINE (AUX：INPUT LEVEL +3のとき)
…………………………………… 350 mV / 27 kΩ
LINE (iPod/D.AUDIO：INPUT LEVEL +3のとき)
…………………………………… 350 mV / 27 kΩ
出力端子（レベル／インピーダンス）
録音出力 (HIGHのとき) ……… 950m V / 10 kΩ
録音出力 (LOWのとき) ……… 600m V / 10 kΩ
サブウーファープリアウト……… 2.0 V / 10 kΩ

[チューナー部]

FMチューナー部
受信周波数範囲 ……………… 76 MHz ～ 90 MHz
アンテナインピーダンス……………… 75 Ω不平衡
AMチューナー部
受信周波数範囲 ………… 531 kHz ～ 1,629 kHz

[CDプレーヤー部]

読み取り方式
………… 非接触光学式読み取り（半導体レーザー）
D/Aコンバーター　…………………………… 1 ビット
オーバーサンプリング…………… 8 fs (352.8 kHz)
周波数特性 (JEITA)　…………… 20 Hz ～ 20 kHz
ワウ＆フラッター (JEITA)……………… 測定限界以下
対応ディスクフォーマット
…………… ISO9660 Level1/2, Juliet/Romeo
再生フォーマット／形式
MP3
MPEG1 Audio Layer3
サンプリング周波数 … 32k/44.1k/48 kHz
ビットレート………………… 32k～320 kbps
MPEG2 Audio Layer3
サンプリング周波数 … 16k/22.05k/24 kHz
ビットレート…………………… 8k～160 kbps
MPEG2.5
サンプリング周波数 … 8k/11.025k/12 kHz
ビットレート…………………… 8k～160 kbps
WMA（WMA9準拠、DRM非対応）
サンプリング周波数 … 32k/44.1k/48 kHz
ビットレート(CBR/VBR*)
……………………………… 48k～192 kbps
AAC（iTunes™ 4.1～7.7で作成された
MPEG-4 AAC：.m4a）
サンプリング周波数
16k/22.05k/24k/32k/44.1k/48 kHz
ビットレート(CBR/VBR*)
………………………………32k～320 kbps
ID3タグ …………… ver.1.0/1.1/2.2/2.3/2.4対応
最大フォルダ数……………………………255フォルダ
(1フォルダ内の最大ファイル数は255ファイル)
最大ファイル数……………………………512ファイル
(フォルダ/ファイル合計：512)

[SDカード部]

形式… SD Memory Card (プレーヤー /レコーダー)
対応SDカード
… SD/SDHC、miniSD、microSD/SDHCカード
mini SD/micro SDは専用アダプタが必要です。
マルチメディアカードMMCは使用できません。
対応容量…………………………… 128 MB～32 GB
対応ファイルフォーマット……………… FAT 16/32
録音フォーマット／形式
WMA SLQ ………… 96 kbps/44.1 kHz Stereo
WMA SQ ………… 128 kbps/44.1 kHz Stereo
WMA HQ ………… 192 kbps/44.1 kHz Stereo
WAV PCM
…… 1411 kbps/44.1 kHz Stereo/16bit
再生フォーマット／形式
MP3 サンプリング周波数 …………… 8k～48 kHz
ビットレート(CBR/VBR*)
………………………………32k～320 kbps
WMA（WMA9準拠、DRM非対応）
サンプリング周波数 …………… 8k～48 kHz
ビットレート(CBR/VBR*)
………………………………64k～384 kbps
AAC（iTunes™ 4.1～7.7で作成された
MPEG-4 AAC：.m4a）
サンプリング周波数
16k/22.05k/24k/32k/44.1k/48 kHz
ビットレート(CBR/VBR*)
………………………………32k～320 kbps
PCM
サンプリング周波数 ……… 44.1k/48 kHz
ビットレート……………………… 1411 kbps
ID3タグ …………… ver.1.0/1.1/2.2/2.3/2.4対応
最大フォルダ数……………………………200フォルダ
(1フォルダ内の最大ファイル数は255ファイル)
最大ファイル数………………………… 1000ファイル
最大フォルダ階層数…………………………… 10階層

[USB部]

形式……………USB Host (プレーヤー /レコーダー)
対応USB機器 ……… USBマスストレージクラスデバイス
インターフェイス… USB 2.0 (Full speed) USB 1.1互換
対応ファイルシステム…………………… FAT 16/32
録音フォーマット／形式
WMA SLQ ………… 96 kbps/44.1 kHz Stereo
WMA SQ ………… 128 kbps/44.1 kHz Stereo
WMA HQ ………… 192 kbps/44.1 kHz Stereo
WAV PCM
…… 1411 kbps/44.1 kHz Stereo/16bit
再生フォーマット／形式
MP3 サンプリング周波数 …………… 8k〜48 kHz
ビットレート(CBR/VBR*)
……………………………… 32k〜320 kbps
WMA（WMA9準拠、DRM非対応）
サンプリング周波数 …………… 8k〜48 kHz
ビットレート(CBR/VBR*)
……………………………… 64k〜384 kbps
AAC（iTunes™ 4.1〜7.7で作成された
MPEG-4 AAC：.m4a）
サンプリング周波数
16k/22.05k/24k/32k/44.1k/48 kHz
ビットレート(CBR/VBR*)
……………………………… 32k〜320 kbps
PCM
サンプリング周波数 ……… 44.1k/48 kHz
ビットレート ……………………… 1411 kbps
ID3タグ …………… ver.1.0/1.1/2.2/2.3/2.4対応
最大フォルダ数……………………………200フォルダ
(1フォルダ内の最大ファイル数は255ファイル)
最大ファイル数………………………… 1000ファイル
最大フォルダ階層数…………………………… 10階層
供給電流………………………………… 最大500 mA

[電源部・その他]

電源電圧・電源周波数
………………………… AC 100 V、50 Hz/60 Hz
定格消費電力（電気用品安全法に基づく表示）… 67 W
待機時消費電力………………………………0.2 W以下
最大外形寸法……………………………… 幅 240 mm
高さ 122 mm
奥行 337 mm
奥行 362 mm（突起部含む）
質量（重量）………………………………5.0 kg(正味)

※VBRのオーディオデータは、上記のビットレートの範囲外になる場合があり、再生できないことがあります。

スピーカー部（LS-UDE77）

エンクロージャー……………………………… バスレフ方式
スピーカー構成
ウーファー ……………………… 120 mm コーン型
ツィーター ……………… 25 mm バランスドーム型
インピーダンス……………………………………… 6 Ω
最大入力…………………………………………… 30 W
最大外形寸法……………………………… 幅 152 mm
高さ 265 mm
奥行 202 mm
奥行 212 mm（グリル含む）
質量（重量）………………………2.7 kg/1本（正味）

本製品は「JIS C61000-3-2適合品」です。

- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

お電話による使いかた・商品に関するご相談

カスタマーサポートセンター

受付時間　月曜日～金曜日　**9:30 ～ 18:00**
　　　　　土曜日　　　　　**9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30**
　　　　　※日曜、祝日及び当社休日を除く

0570-010-114

※一般電話･公衆電話からは､市内通話料金でご利用いただけます。

- 携帯電話、PHS、IP 電話からは **045-933-5133**
- FAX　**045-933-5553**

ホームページのサポート情報について

製品に関する一般的なご質問などをホームページにて、情報提供しています。ご活用ください。

http://www.kenwood.co.jp/faq/

修理などアフターサービスについて

お買い上げの販売店か、「**ケンウッド全国サービス網**」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3